

資料編

目次

概況

1 人口及び人口動態	
(1) 人口・世帯・面積	P. 1
(2) 人口動態・平均寿命	P. 4
2 医療施設及び医療関係施設等の状況	
(1) 診療所	P. 7
(2) 病院	P. 10
(3) 保健医療関連施設	P. 16
3 保健医療従事者の動向	
(1) 医師	P. 17
(2) 歯科医師	P. 19
(3) その他の保健医療従事者	P. 19
4 患者の受療動向	
(1) 入院患者数の推移	P. 20
(2) 病床別患者流入流出の状況	P. 21
5 健康状態、生活習慣等の現状	
(1) 身体に関する状況	P. 23
(2) 栄養摂取状況調査	P. 35
(3) 生活習慣調査	P. 46

主要な医療事業の現状

1 リハビリテーション体制	P. 87
2 小児医療	P. 88
3 周産期医療	P. 91
4 救急医療	P. 94
5 災害医療	P. 99
6 へき地医療	P. 104
7 在宅医療	P. 105

主要5疾病の現状

1 がん	P. 107
2 脳卒中	P. 120
3 急性心筋梗塞	P. 123
4 糖尿病	P. 126
5 精神疾患	P. 128

概況

1 人口及び人口動態

(1) 人口・世帯・面積

① 総人口の推移

平成24年10月1日現在の京都府の総人口は、2,627,313人で、性別では、男性1,259,961人、女性1,367,352人で、女性が男性を107,391人上回っており、性比（女性100人に対する男性の数）は、92.1と、全国国の性比94.7（平成24年10月1日現在）をやや下回っています。

人口の推移をみると、昭和30年代後半から昭和40年代後半にかけて増加傾向を強めてきましたが、昭和47年を頂点にそれ以降伸びが鈍化しています。この伸びの鈍化の原因は、従来の人口増加要因が高度経済成長を背景とした社会増加によるものであったのに対し、近年は社会増加が減少し、出生と死亡による自然増加が人口増要因の主要因となっていることによるものと考えられます。

また、平成19年（平成20年京都府保健医療計画策定時の直近数値。以下同じ。）と比較すると、総人口は、14,966人の減少、増加率は0.6%の減少にとどまっています。性別にみると、男性は9,544人、女性は5,422人減少しています。

（単位：人、％）

年	総人口	5年前の総人口に対する増加	
		実数	率
昭和45年	2,250,087	147,279	7.0
50	2,424,856	174,769	7.8
55	2,527,330	102,474	4.2
60	2,586,574	59,244	2.3
平成2年	2,602,460	15,866	0.6
7	2,629,592	27,132	1.0
10	2,639,557	32,075	1.2
12	2,644,391	14,799	0.6
14	2,646,555	2,145	0.1
18	2,644,075	-2,480	△0.1
19	2,642,279	-1,796	△0.2
24	2,627,313	-14,966	△0.6

資料：国勢調査、総務省推計人口、京都府推計人口（各年10月1日現在）

② 年齢3階層別人口の推移

平成23年10月1日現在の年齢3階層別推計人口は、年少人口（0～14歳）333,000人、生産年齢人口（15～64歳）1,674,000人、老年人口（65歳以上）624,000人で、その構成比は、それぞれ12.7%、63.6%、23.7%となっていますが、平成18年に比べて総人口は0.4%減少、老年人口は13.0%増加しており、少子高齢人口化が進行しています。

（単位：人、％）

年	実 数				構 成 割 合			
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
昭和45年	2,250,087	484,024	1,588,876	177,987	100.0	21.5	70.6	7.9
50	2,424,856	559,934	1,464,671	217,137	100.0	23.1	67.9	9.0
55	2,527,330	575,948	1,693,183	257,836	100.0	22.8	67.0	10.2
60	2,586,574	538,628	1,757,517	289,629	100.0	20.8	67.9	11.2
平成2年	2,602,460	448,900	1,816,015	327,429	100.0	17.2	69.8	12.6
7	2,629,592	390,138	1,842,467	386,976	100.0	14.8	70.1	14.7
12	2,644,391	360,531	1,810,233	459,273	100.0	13.6	68.5	17.4
14	2,642,000	358,000	1,789,000	495,000	100.0	13.6	67.7	18.7
17	2,647,660	345,071	1,755,447	530,350	100.0	13.0	66.3	20.0
18	2,643,000	348,000	1,743,000	552,000	100.0	13.2	65.9	20.9
23	2,632,000	333,000	1,674,000	624,000	100.0	12.7	63.6	23.7

資料：国勢調査、総務省推計人口（各年10月1日現在）

（注）総数には、年齢不詳を含むため、合計は必ずしも一致しない。

③ 世帯

平成23年10月1日現在の世帯数は、1,130,118世帯で平成18年に比べ37,831世帯（3.5%）増加しています。

④ 将来人口の見通し

京都府の人口は、近年、人口増加がピークを迎え、平成18年には減少に転じており、今後もこの減少傾向が続くと予測されています。

（単位：人、％）

	平成23年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
実 数	2,632,000	2,590,000	2,533,000	2,459,000	2,372,000
指 数	100.0	98.4	96.2	93.4	90.1

資料：国立社会保障・人口問題研究所

ただし、平成23年については総務省統計局（推計人口）

（注）指数は平成23年を100とした場合の指数

⑤ 二次医療圏別の人口、世帯及び面積

（単位：人、世帯、km²）

	人 口	世 帯	面 積
丹後	102,012	38,322	840.20
中丹	201,332	80,651	1,242.03
南丹	141,728	53,085	1,144.28
京都・乙訓	1,621,085	747,416	860.72
山城北	445,107	174,790	257.74
山城南	116,049	41,225	263.43
京都府計	2,627,313	1,135,489	4,613.21

資料：京都府調査統計課推計人口（平成24年10月1日現在）、平成22年国勢調査面積

（注）京都府計面積には阿蘇海（4.81km²）を含む。

⑥ 二次医療圏別の年齢三区分別人口構成割合

(単位：%)

	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
丹後	100.0	13.2 (-1.3)	55.0 (-1.6)	31.7 (2.8)
中丹	100.0	13.9 (-0.5)	58.5 (-1.8)	27.4 (2.3)
南丹	100.0	13.1 (-0.8)	62.0 (-2.4)	24.4 (3.2)
京都・乙訓	100.0	11.9 (-0.3)	63.4 (-3.8)	22.3 (2.7)
山城北	100.0	13.9 (-0.2)	64.0 (-4.6)	21.7 (4.4)
山城南	100.0	16.6 (0.6)	63.9 (-3.5)	19.3 (2.7)
京都府計	100.0	13.1 (-0.1)	63.6 (-2.3)	23.3 (2.4)

資料：平成22年国勢調査

(注1) ()内は平成17年時点の構成比と比較したポイント数の増減

(注2) 総数には年齢不詳を含むため、合計は必ずしも一致しない

(注3) 平成22年10月1日現在(ただし、京都府計のみ平成23年10月1日現在)

⑦ 二次医療圏別の将来人口見通し

(単位：人、%)

		平成24年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
丹後	実数	102,012	99,276	92,376	85,541	78,987
	指数	100.0	97.3	90.6	83.9	77.4
中丹	実数	201,332	197,322	188,491	179,125	169,571
	指数	100.0	98.0	93.6	89.0	84.2
南丹	実数	141,728	139,953	134,773	128,959	122,586
	指数	100.0	98.7	95.1	91.0	86.5
京都・乙訓	実数	1,621,085	1,595,836	1,566,582	1,526,254	1,477,567
	指数	100.0	98.4	96.6	94.2	91.1
山城北	実数	445,107	440,117	431,676	418,688	402,092
	指数	100.0	98.9	97.0	94.1	90.3
山城南	実数	116,049	117,213	119,540	120,756	121,002
	指数	100.0	101.0	103.0	104.1	104.3
京都府計	実数	2,627,313	2,590,000	2,533,000	2,459,000	2,372,000
	指数	100.0	98.6	96.4	93.6	90.3

資料：国立社会保障・人口問題研究所(ただし、平成24年については京都府推計人口)

(注) 指数は平成24年を100とした場合の指数

(2) 人口動態・平均寿命

① 出生及び死亡の推移

出生及び死亡の動向をみると、出生率は中長期的に減少傾向にあり、死亡率は増加傾向にあります。これを全国と比較すると、出生率・死亡率ともに全国より低い状況にあります。

また、乳児死亡率及び新生児死亡率は中長期的に減少傾向にあり、平成23年においては、乳児死亡率、新生児死亡率ともに、全国よりも低くなっています。

(単位：人、%)

		出生		死亡		乳児死亡		新生児死亡		死産		周産期死亡	
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
年次推移	昭和50年	3,9921	16.8 (17.1)	15,460	6.5 (6.3)	353	8.8 (10.0)	232	5.8 (6.8)	2,192	52.1 (50.8)	671	16.8 (16.0)
	55	32,139	12.9 (13.6)	16,059	6.5 (6.2)	209	6.5 (7.5)	141	4.4 (4.9)	1,622	48.0 (46.8)	353	11.0 (11.7)
	60	28,479	11.2 (11.9)	16,942	6.7 (6.3)	143	5.0 (5.5)	88	3.1 (3.4)	1,360	45.6 (46.0)	215	7.5 (8.0)
	平成2年	24,209	9.5 (10.0)	18,031	7.1 (6.7)	118	4.9 (4.6)	81	3.3 (2.6)	1,039	41.2 (42.3)	154	6.4 (5.7)
	7	23,219	9.0 (9.6)	19,321	7.5 (7.4)	97	4.2 (4.3)	49	2.1 (2.2)	777	32.4 (32.1)	180	7.7 (7.0)
	9	23,595	9.1 (9.5)	19,239	7.4 (7.3)	91	3.9 (3.7)	51	2.2 (1.9)	701	28.9 (32.1)	152	6.4 (6.4)
	12	23,997	9.2 (9.5)	20,233	7.8 (7.7)	78	3.3 (3.2)	46	1.9 (1.8)	694	28.1 (31.2)	137	5.7 (5.8)
	14	22,859	8.8 (9.2)	20,320	7.8 (7.8)	68	3.0 (3.0)	34	1.5 (1.7)	702	29.8 (31.1)	104	4.5 (5.5)
	17	21,560	8.3 (8.4)	22,134	8.5 (8.6)	54	2.5 (2.8)	36	1.7 (1.4)	600	27.1 (29.1)	108	5.0 (4.8)
	18	22,100	8.5 (8.7)	22,419	8.6 (8.6)	48	2.2 (2.6)	29	1.3 (1.3)	559	24.7 (27.5)	90	4.1 (4.7)
	22	21,234	8.2 (8.5)	23,714	9.1 (9.5)	52	2.4 (2.3)	28	1.3 (1.1)	482	22.2 (24.2)	97	4.6 (4.2)
	23	20,707	8.0 (8.3)	24,733	9.5 (9.9)	40	1.9 (2.3)	16	0.8 (1.1)	476	22.5 (23.9)	83	4.0 (4.1)

資料：平成23年人口動態統計

※()欄は、全国の数値。率は、出生、死亡が人口千対、乳児死亡、新生児死亡が出生千対、死産は出産(出生数+妊娠満12週以降の死産数)千対、周産期死亡が出産(出生数+妊娠満22週以降の死産数)千対の比率

② 二次医療圏別の出生及び死亡

(単位：％、‰、人)

	丹 後	中 丹	南 丹	京都乙訓	山城北	山城南	京都府計
高 齢 化 率	31.7	27.4	24.4	22.3	21.2	19.3	23.4
出 生 率(人口千対)	6.3	8.8	7.2	7.8	8.1	9.2	8.0
死 亡 率(人口千対)	14.2	12.5	10.2	9.1	8.1	7.5	9.5
乳 児 死 亡 率(出生千対)	3.1	0.6	1.0	2.1	1.4	4.7	1.9
新生児死亡率(出生千対)	1.5	0.0	0.0	0.9	0.8	0.9	0.8
死 産 率(出産千対)	16.7	29.4	27.6	22.1	21.2	18.4	22.5
周産期死亡率(出産千対)	3.1	6.1	2.9	4.2	3.3	1.9	4.0

資料：平成22年国勢調査、平成23年人口動態統計

※ 高齢化率は平成22年10月1日現在、その他は平成23年の数値

※ 死産は出産（出生数+妊娠満12週以後の死産数）千対、周産期死亡は出産（出生数+妊娠満22週以後の死産数）千対の比率

③ 死因

死因順位をみると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3死因が昭和37年から上位3位を占めていましたが、平成20年から悪性新生物、心疾患、肺炎の3死因になっています。

なお、悪性新生物は昭和62年以降上昇傾向が続いており、近年、心疾患も上昇傾向にあります。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
年次推移	昭和45年	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	老衰	不慮の事故
	50	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	老衰	肺炎等
	55	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	老衰	肺炎等
	60	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎等	老衰
	平成2年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎等	不慮の事故
	7	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	不慮の事故
	12	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
	14	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
	17	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
18	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	
23	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰	

資料：平成23年人口動態統計

④ 二次医療圏別主要死因の死亡率

	丹 後	中 丹	南 丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
悪性新生物	390.5	326.5	298.1	279.4	256.2	220.4	286.5
心疾患	284.2	226.9	154.3	156.8	140.0	137.4	166.1
脳血管疾患	126.6	132.7	95.4	73.2	70.0	77.0	82.0
肺炎	133.4	132.7	108.0	96.2	78.3	64.0	98.2
不慮の事故	44.5	33.5	42.1	19.8	13.7	18.2	21.4
自殺	24.2	21.2	26.0	20.2	16.4	12.1	20.1

資料：平成23年人口動態統計

(注) ()内は人口10万対死亡率

⑤ 平均寿命の推移

平成17年の平均寿命は、男性79.34年、女性85.92年で徐々に伸びており、全国と比べると、男女ともに長くなっています。

男女の平均寿命の差は、6.58年で、平成12年の6.66年に比べ、0.08年短縮しています。

(単位：年)

	京都府		全 国		京都府と全国の差	
	男	女	男	女	男	女
昭和40年	69.18	73.75	67.74	72.92	1.44	0.83
45	71.08	75.66	69.31	74.66	1.77	1.00
50	72.63	77.30	71.73	76.89	0.90	0.41
55	74.20	79.19	73.35	78.76	0.85	0.43
60	75.39	80.68	74.78	80.48	0.61	0.20
平成2年	76.39	82.07	75.92	81.90	0.47	0.17
7	77.14	83.44	76.38	82.85	0.76	0.59
12	78.15	84.81	77.72	84.60	0.43	0.21
17	79.34	85.92	78.79	85.75	0.55	0.17

資料：完全生命表、都道府県生命表

2 医療施設及び医療関係施設等の状況

(1) 診療所

① 診療所数の推移

平成23年10月1日現在の一般診療所数は2,481施設で、平成18年と比較すると25施設減少しています。

人口10万対の一般診療所数は94.3施設で、全国の77.9施設を上回っており、府、全国ともに昭和60年以降増加傾向を示しています。一般診療所のうち、有床診療所の施設数、病床数をみると、いずれも昭和50年代以降減少しており、病床数を全国と比較すると、人口10万対病床数は43.4床で全国の101.2床を大きく下回っています。

平成23年10月1日現在の歯科診療所数は1,313施設で、平成18年と比較すると4施設減少しており、年々増加しています。人口10万対の歯科診療所数は、49.9施設で全国の53.3施設を下回っています

(単位：数)

	一般診療所							歯科診療所数		
	施設数				病床数			実数	人口10万対	
	実数	(有床)	人口10万対		実数	人口10万対			京都府	全国
			京都府	全国		京都府	全国			
昭和45年	2,164	(528)	96.2	66.5	2,781	123.6	240.7	770	34.2	28.8
50	2,169	(509)	89.4	65.3	2,821	116.3	235.9	816	33.7	29.1
55	2,246	(504)	88.9	66.3	2,779	110.0	245.9	919	36.4	33.2
60	2,221	(403)	85.9	65.2	2,391	92.4	234.2	1,021	39.5	37.6
平成2年	2,245	(383)	86.3	65.4	2,201	84.6	220.4	1,091	42.0	42.2
3	2,273	(373)	87.3	66.2	2,154	82.7	219.1	1,112	42.7	43.2
7	2,321	(335)	88.3	69.3	1,981	75.3	206.5	1,178	44.8	46.5
9	2,378	(313)	90.4	70.8	1,977	75.1	190.0	1,208	45.9	48.0
14	2,492	(250)	94.3	74.4	1,730	65.5	154.3	1,294	49.0	51.1
18	2,506	(187)	94.8	77.2	1,402	53.0	125.1	1,317	49.8	52.7
23	2,481	(148)	94.3	77.9	1,142	43.4	101.2	1,313	49.9	53.13

資料：医療施設調査

(注) 休止中及び1年以上休診中の施設を除く。

② 二次医療圏別の診療所数

(単位：施設)

	一般診療所		歯科診療所	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対
丹後	75	72.5	36	34.8
中丹	167	82.4	86	42.4
南丹	105	73.6	53	37.2
京都・乙訓	1,744	107.6	910	56.1
山城北	301	67.6	181	40.6
山城南	89	76.7	47	40.6
京都府計	2,481	94.2	1,313	49.9

資料：平成23年医療施設調査

③ 診療科目別診療所数

平成23年10月1日現在で、一般診療所を診療科目別にみると、内科の1,514施設が最も多く、次いで小児科430施設、外科380施設、消化器内科376施設、整形外科321施設の順となっています。一方、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科などを標榜する一般診療所はいずれも10施設未満にとどまっています。

これを平成18年調査と比べると、小児科、産婦人科、婦人科を標榜する診療所は減少傾向にあり、精神科、アレルギー科等を標榜する診療所は増加傾向にあります。

歯科診療所については、歯科を標榜する診療所が1,283施設、矯正歯科を標榜する診療所が304施設、小児歯科を標榜する診療所が597施設、歯科口腔外科を標榜する診療所が332施設と、平成18年調査と比べてそれぞれ増加しています。

(単位：数)

	診療科目	診療所数	診療科目	診療所数
一 般 診 療 所	内科	1,514	泌尿器科	92
	呼吸器内科	108	肛門外科	65
	循環器内科	246	脳神経外科	23
	消化器内科(胃腸内科)	376	整形外科	321
	腎臓内科	26	形成外科	26
	神経内科	74	美容外科	11
	糖尿病内科(代謝内科)	55	眼科	190
	血液内科	8	耳鼻いんこう科	166
	皮膚科	280	小児外科	3
	アレルギー科	137	産婦人科	76
	リウマチ科	85	産科	2
	感染症内科	11	婦人科	38
	小児科	430	リハビリテーション科	225
	精神科	152	放射線科	110
	心療内科	78	麻酔科	45
	外科	380	病理診断科	3
	呼吸器外科	7	臨床検査科	1
	心臓血管外科	7	救急科	-
	乳腺外科	10	歯科	19
	気管食道外科	8	矯正歯科	1
消化器外科(胃腸外科)	21	小児歯科	1	
		歯科口腔外科	3	
歯 科 診 療 所	歯科	1,283	小児歯科	597
	矯正歯科	304	歯科口腔外科	332

資料：平成23年医療施設調査

(注)重複計上である。

④ 二次医療圏別の診療科目別診療所数

(単位：施設)

	診療科目	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
一般診療所	内科	66	127	73	1,136	189	61	1,652
	呼吸器内科	3	9	7	90	14	1	124
	消化器内科(胃腸内科)	16	35	8	342	59	12	472
	循環器内科	1	12	2	92	12	4	123
	腎臓内科	0	1	1	8	6	0	16
	神経内科	1	5	1	76	7	2	92
	糖尿病内科(代謝内科)	0	6	1	32	8	1	48
	血液内科	0	1	1	6	2	0	10
	皮膚科	7	17	12	271	48	8	363
	アレルギー科	4	7	6	112	14	9	152
	リウマチ科	1	8	2	74	15	5	105
	感染症内科	0	1	0	15	2	1	19
	小児科	24	41	26	378	80	26	575
	精神科	1	6	7	121	12	3	150
	心療内科	1	7	2	67	7	0	84
	外科	23	45	16	312	56	16	468
	呼吸器外科	0	2	0	1	0	0	3
	循環器外科(心臓・血管外科)	0	1	0	6	2	0	9
	乳腺外科	0	4	0	6	4	0	14
	気管食道外科	0	3	0	13	2	0	18
	消化器外科(胃腸外科)	1	4	0	14	3	0	22
	泌尿器科	3	5	3	83	9	2	105
	肛門外科	3	8	1	62	15	2	91
	脳神経外科	1	6	0	15	3	0	25
	整形外科	12	28	14	246	51	12	363
	形成外科	1	0	0	34	2	1	38
	美容外科	0	1	0	17	0	0	18
	眼科	6	12	6	145	19	6	194
	耳鼻いんこう科	2	8	9	131	21	7	178
	小児外科	0	2	1	3	0	0	6
	産婦人科	2	7	5	54	7	4	79
	産科	0	0	0	5	2	0	7
	婦人科	1	3	1	47	7	0	59
	リハビリテーション科	6	27	7	217	37	14	308
	放射線科	4	12	2	136	19	9	182
	麻酔科	2	4	0	39	8	3	56
	病理診断科	0	0	0	0	1	0	1
	臨床検査科	0	0	1	1	1	0	3
	救急科	0	0	0	0	0	0	0
	歯科	2	3	1	13	5	0	24
	矯正歯科	0	0	0	1	1	0	2
	小児歯科	0	0	0	0	1	0	1
歯科口腔外科	2	0	0	0	0	0	2	
歯科診療所	歯科	37	90	52	898	176	46	1,299
	矯正歯科	12	17	14	209	49	17	318
	小児歯科	18	40	24	378	102	32	594
	歯科口腔外科	8	18	18	209	39	20	312

資料：平成20年医療施設静態調査

(注)重複計上である。

(2) 病院

① 病院数の推移

平成23年10月1日現在の病院数は175病院で、その内訳は一般病院163病院、精神科病院12病院となっており、結核病床のみの病院はありません。病院数は、昭和63年に231病院とピークに達しましたが、それ以降減少しており、平成23年は、平成18年から比べると2病院減少しています。

精神科病院は、平成11年に1病院増となっています。

人口10万対の病院数は6.6病院で、平成18年調査時と比較すると0.1病院減少し、全国平均6.7病院とほぼ同水準となっています。精神科病院は人口10万対0.5病院となっています。

(単位：数)

	総数		一般病院		精神科病院		結核診療所	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
昭和45年	198	8.8 (7.7)	184	8.2 (6.6)	13	0.6 (0.9)	1	0.0 (0.2)
50	201	8.3 (7.4)	190	7.8 (6.5)	11	0.5 (0.8)	0	0.0 (0.1)
55	215	8.5 (7.7)	204	8.1 (6.8)	11	0.4 (0.8)	0	0.0 (0.0)
60	220	8.5 (7.9)	209	8.1 (7.0)	11	0.4 (0.8)	0	0.0 (0.0)
平成2年	227	8.7 (8.2)	216	8.3 (7.3)	11	0.4 (0.8)	0	0.0 (0.0)
7	203	7.7 (7.7)	192	7.3 (6.8)	11	0.4 (0.8)	0	0.0 (0.0)
9	192	7.3 (7.5)	181	6.9 (6.6)	11	0.4 (0.8)	0	0.0 (0.0)
14	181	6.9 (7.2)	169	6.4 (6.4)	12	0.5 (0.8)	0	0.0 (0.0)
18	177	6.7 (7.0)	165	6.2 (6.2)	12	0.5 (0.8)	0	0.0 (0.0)
23	175	6.6 (6.7)	163	6.2 (5.9)	12	0.5 (0.8)	0	0.0 (0.0)

資料：医療施設調査

(注1) 45～55年は各年の12月末現在、60年以降は10月1日現在

(注2) ()は、全国値

(注3) 精神病院とは、精神病床のみを有する病院である。

(注4) 結核療養所とは、結核病床のみを有する病院である。

② 二次医療圏別の病院数

(単位：施設)

	総数			一般			精神		
	実数	人口10万対		実数	人口10万対		実数	人口10万対	
		平成23年	平成18年		平成23年	平成18年		平成23年	平成18年
丹後	6	5.8	5.4	6	5.8	5.2	-	-	-
中丹	17	8.4	8.6	15	7.4	7.6	2	1.0	1.0
南丹	10	7.0	6.8	10	7.0	6.8	-	-	-
京都乙訓	116	7.2	7.2	108	6.7	6.7	8	0.5	0.5
山城北	23	5.2	5.2	21	4.7	4.7	2	0.4	0.4
山城南	3	2.6	2.7	3	2.6	2.7	-	-	-
京都府	175	6.6	6.7	163	6.2	6.2	12	0.5	0.5

資料：平成23年医療施設調査

③ 診療科目別病院数

平成23年10月1日現在で、病院数を診療科目別にみると、内科の160病院が最も多く、次いで整形外科病院127、外科127病院、リハビリテーション科116病院、消化器内科（胃腸内科）113病院の順となっています。

平成18年調査時と比較すると内科、皮膚科、小児科、整形外科、産婦人科などの標榜が減少し、循環器内科、リウマチ科、心臓血管外科、麻酔科などが増加しています。産科、気管食道外科を標榜する病院などは10病院未満となっています。

（単位：施設）

診療科目	病院数	診療科目	病院数
内科	160	肛門外科	40
呼吸器内科	78	脳神経外科	67
循環器内科	104	整形外科	127
消化器内科（胃腸内科）	113	形成外科	25
腎臓内科	24	美容外科	2
神経内科	89	眼科	71
糖尿病内科（代謝内科）	31	耳鼻いんこう科	57
血液内科	15	小児外科	12
皮膚科	97	産婦人科	28
アレルギー科	14	産科	6
リウマチ科	41	婦人科	29
感染症内科	3	リハビリテーション科	116
小児科	71	放射線科	101
精神科	52	麻酔科	65
心療内科	21	病理診断科	12
外科	127	臨床検査科	5
呼吸器外科	26	救急科	10
心臓血管外科	27	歯科	33
乳腺外科	19	矯正歯科	6
気管食道外科	2	小児歯科	3
消化器外科（胃腸外科）	25	歯科口腔外科	21
泌尿器科	92		

資料：平成23年医療施設調査

（注）重複計上である。

④ 二次医療圏別の診療科目別病院数

(単位：施設)

診療科目	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
内科	6	16	10	107	20	3	162
呼吸器内科	3	8	4	46	10	1	72
循環器内科	5	9	6	68	11	2	101
消化器内科(胃腸内科)	5	11	7	72	11	2	108
腎臓内科	0	1	2	11	3	0	17
神経内科	4	6	5	60	10	2	87
糖尿病内科(代謝内科)	0	0	1	13	4	0	18
血液内科	0	0	1	6	0	0	7
皮膚科	6	8	9	58	14	3	98
アレルギー科	0	0	0	12	1	0	13
リウマチ科	3	1	2	25	5	2	38
感染症内科	0	0	0	1	0	0	1
小児科	4	9	4	37	14	2	70
精神科	2	6	2	33	7	0	50
心療内科	1	2	0	15	2	0	20
外科	6	10	9	82	17	3	127
呼吸器外科	0	3	1	16	4	0	24
心臓血管外科	0	5	1	17	2	0	25
乳腺外科	1	1	0	6	2	0	10
気管食道外科	0	0	0	2	0	0	2
消化器外科(胃腸外科)	1	2	0	15	2	0	20
泌尿器科	5	8	5	56	15	3	92
肛門外科	3	0	0	25	10	0	38
脳神経外科	2	7	4	40	12	2	67
整形外科	6	11	10	81	18	3	129
形成外科	0	2	0	21	2	0	25
美容外科	0	1	0	1	0	0	2
眼科	5	8	6	38	11	2	70
耳鼻いんこう科	5	6	3	28	11	2	55
小児外科	0	2	1	5	3	0	11
産婦人科	3	4	1	17	5	1	31
産科	0	0	0	6	0	0	6
婦人科	2	0	1	19	4	0	26
リハビリテーション科	4	14	6	72	14	2	112
放射線科	3	12	7	62	14	2	100
麻酔科	5	7	3	38	8	2	63
病理診断科	1	0	0	7	1	0	9
臨床検査科	0	0	0	2	1	0	3
救急科	0	0	0	6	0	0	6
歯科	2	5	3	18	5	1	34
矯正歯科	0	0	0	5	0	1	6
小児歯科	0	0	0	2	0	1	3
歯科口腔外科	2	3	1	12	2	1	21

資料：平成22年医療施設動態調査

(注)重複計上である。

⑤ 病院病床数

平成23年10月1日現在の病院病床数は36,187床で、内訳は一般病床23,098床、療養病床6,225床、精神病床6,480床、結核病床348床、感染症病床36床であり、一般病床、療養病床が全体の81.0%を占めています。

人口10万対の病院病床数は、総数1,374.9床で全国の1,238.7床を136.2床上回っています。これを病床の種類別で見ると、一般病床と結核病床は全国値を上回っていますが、療養病床と精神病床はこれを下回っています。人口10万対病院病床数を平成18年の調査時と比較すると、総数で0.7%、精神病床で0.08%減少しています。

人口10万対病院病床数の年次推移では、昭和45年から平成23年にかけて、京都府で19.8%増加したのに対して、全国では20.9%の増加となっており、京都府は全国より増加割合が少なくなっています。

－病院病床数の推移－

(単位：床)

	総数		旧その他の病床等		療養病床		精神病床		感染症病床		結核病床	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
昭和45年	25,815	1147.3 (1024.4)	15,484	688.2 (580.4)	-	- (-)	5,145	228.7 (238.4)	442	19.6 (22.3)	4,744	210.8 (170.6)
50	28,279	1166.2 (1039.9)	16,930	698.2 (644.9)	-	- (-)	6,998	288.6 (248.5)	397	16.4 (18.8)	3,954	163.1 (115.3)
55	32,228	1275.2 (1127.1)	22,036	871.9 (765.0)	-	- (-)	7,129	282.1 (263.6)	332	13.1 (15.6)	2,731	108.1 (72.5)
60	35,572	1375.3 (1235.5)	25,757	995.8 (892.7)	-	- (-)	7,383	285.4 (276.5)	357	13.8 (12.1)	2,075	80.2 (45.6)
平成2年	39,333	1511.4 (1356.5)	30,767	1182.2 (1014.4)	-	- (-)	6,971	267.9 (290.5)	315	12.1 (9.9)	1,280	49.2 (34.1)
7	38,155	1451.1 (1329.9)	30,302	1152.4 (1000.6)	-	- (-)	6,816	259.2 (288.1)	128	4.9 (7.9)	909	34.6 (26.4)
11	37,593	1427.8 (1289.0)	29,871	1134.5 (709.2)	-	- (-)	6,841	259.8 (279.3)	30	1.1 (2.6)	851	32.3 (13.8)
14	36,936	1398.0 (1289.0)	29,761	1126.5 (994.4)	-	- (-)	6,756	255.7 (279.3)	30	1.1 (1.5)	389	14.7 (13.8)
			一般病床									
18	36,624	1385.1 (1273.1)	22,899	866.0 (713.0)	6,822	258.0 (274.1)	6,516	246.4 (275.8)	36	1.4 (1.4)	351	13.3 (8.7)
23	36,187	1374.9 (1238.7)	23,098	877.6 (703.7)	6,225	236.5 (258.3)	6,480	246.2 (269.2)	36	1.4 (1.4)	348	13.2 (6.0)

資料：医療施設調査

(注1)45～55年は各12月末現在、60年以降は10月1日現在

(注2) ()は全国値

(注3)その他の病床とは、療養病床、一般病床及び経過的其他の病床(経過的其他の療養型病床群を含む)である

※「医療法の一部を改正する法律(平成12年12月6日法律第141号)」により平成13年3月の法施行から平成15年8月までの経過措置として、「経過的其他の病床」及び「経過的其他の療養型病床群」は「一般病床」と「療養病床」に区別された。

⑥ 二次医療圏別の病床数

(単位：床)

		総数	一般	療養	精神病床	結核病床	感染症病床
丹 後	実 数	1,125	888	218	-	15	4
	人口10万対	1087.5	858.4	210.7	-	14.5	3.7
中 丹	実 数	3,186	2,000	372	800	10	4
	人口10万対	1,571.2	986.3	183.5	394.5	4.9	2.0
南 丹	実 数	1,461	1,130	317	-	10	4
	人口10万対	1,024.7	792.5	222.3	-	7.0	2.8
京都・乙訓	実 数	24,923	15,553	4,517	4,638	207	8
	人口10万対	1,536.4	958.8	278.5	285.9	12.8	0.5
山城北	実 数	4,921	3,016	751	1,042	106	6
	人口10万対	1,103.8	676.5	168.5	233.7	23.8	1.3
山城南	実 数	571	511	50	-	-	10
	人口10万対	493.6	441.7	43.2	-	-	8.6
京都府	人口10万対	1,374.9	877.6	236.5	246.2	13.2	1.4

資料：平成23年医療施設調査

⑦ 病床規模別病院数

病床規模別病院数をみると、100～199床の中規模病院が56病院（構成比32.0%）と最も多く、次いで50～99床の45病院（同25.7%）、300床以上の37病院（同21.1%）、200～299床の21病院（同12.0%）、20～49床の16病院（同9.1%）となっています。

平成18年の調査時と比較すると、200～299床の病院が1病院増加しているものの、20～49床の病院が2病院、300床以上の病院が1病院減少しています。

(京 都 府)

(単位：施設)

	55	60	平成2年	7	9	14	18	23
総数	215 (100.0)	220 (100.0)	227 (100.0)	203 (100.0)	192 (100.0)	181 (100.0)	177 (100.0)	175 (100.0)
20～49床	81 (37.7)	65 (29.5)	58 (25.6)	41 (20.0)	31 (16.1)	24 (13.3)	18 (10.2)	16 (9.1)
50～99床	47 (21.9)	52 (23.6)	54 (23.8)	45 (22.2)	44 (22.9)	45 (24.9)	45 (25.4)	45 (25.7)
100～199床	42 (19.5)	52 (23.6)	49 (21.6)	54 (26.6)	52 (27.1)	53 (29.3)	56 (31.6)	56 (32.0)
200～299床	17 (7.9)	22 (10.0)	31 (13.6)	27 (13.3)	27 (14.6)	22 (12.1)	20 (11.3)	21 (12.0)
300床以上	28 (13.0)	29 (13.2)	35 (15.4)	36 (17.7)	37 (19.3)	37 (20.4)	38 (21.5)	37 (21.1)

(全 国)

	55	60	平成2年	7	9	14	18	23
総数	9,055 (100.0)	9,608 (100.0)	10,096 (100.0)	96,06 (100.0)	9,413 (100.0)	9,187 (100.0)	8,943 (100.0)	8,605 (100.0)
20～49床	2,598 (28.7)	2,296 (23.9)	2,015 (20.0)	1,608 (16.7)	1,475 (15.7)	1,327 (14.4)	1,150 (12.9)	992 (11.5)
50～99床	2,291 (25.3)	2,467 (25.7)	2,524 (25.0)	2,478 (25.8)	2,438 (25.9)	2,399 (26.1)	2,332 (26.1)	2,190 (25.5)
100～199床	1,999 (22.1)	2,331 (24.3)	2,634 (26.0)	2,623 (27.3)	2,614 (27.8)	2,697 (29.4)	2,709 (30.3)	2,769 (32.2)
200～299床	1,003 (11.1)	1,182 (12.3)	1,361 (13.4)	1,295 (13.5)	1,274 (13.5)	1,165 (12.7)	1,153 (12.9)	1,108 (12.9)
300床以上	1,164 (12.9)	1,332 (13.9)	1,562 (15.5)	1,602 (16.7)	1,612 (17.1)	1,599 (17.4)	1,599 (17.9)	1,546 (18.0)

資料：医療施設調査

(注1) 45～55年は各年12月末現在、60年以降は10月1日現在

(注2) ()は構成比率

⑧ 病床利用率の推移

京都府の病床利用率は全国に比べ、一般病床、療養病床が高く、精神病床、結核病床、感染症病床で低い状況となっています。

(単位：%)

	昭和55年	60	61	平成2年	7	9	14	18	23
総数	77.1 (83.3)	81.4 (85.8)	81.9 (85.7)	80.1 (83.6)	81.7 (83.6)	82.7 (83.9)	84.1 (85.0)	83.2 (83.5)	81.4 (81.9)
その他の病床	74.2 (81.4)	80.4 (83.7)	81.6 (83.8)	79.1 (81.9)	80.9 (82.4)	81.7 (82.7)	83.6 (83.4)	一般 78.3 (78.0)	77.0 (76.2)
療養病床	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	93.9 (91.9)	95.8 (91.2)
精神病床	100.3 (102.4)	98.2 (101.9)	96.7 (100.6)	94.5 (97.3)	92.4 (94.3)	93.8 (93.7)	90.3 (93.1)	92.1 (91.1)	86.8 (89.1)
結核病床	49.5 (55.4)	46.6 (55.8)	46.7 (55.9)	47.9 (48.4)	42.3 (43.0)	35.8 (42.5)	30.4 (45.3)	26.0 (39.8)	21.2 (36.6)
感染症病床	2.3 (2.0)	1.5 (1.3)	0.8 (1.4)	0.4 (1.0)	1.3 (1.3)	1.4 (1.3)	0.6 (2.5)	0.2 (2.2)	0.3 (2.5)

資料：病院報告

(注) ()は全国値

⑨ 平均在院日数の推移

京都府の平均在院日数は、一般病床、療養病床、精神病床及び感染症病床で全国に比べて長くなっています。

(単位：%)

	昭和55年	60	61	平成2年	7	9	14	18	23
総数	50.3 (55.9)	51.7 (54.2)	51.9 (54.0)	50.1 (50.5)	44.6 (44.2)	42.7 (42.5)	38.5 (37.5)	35.2 (34.7)	32.5 (32.0)
その他の病床	34.0 (38.3)	38.2 (39.4)	39.3 (39.7)	39.9 (38.1)	36.0 (33.7)	34.4 (32.8)	31.4 (29.2)	一般 21.5 (19.2)	20.5 (17.9)
療養病床	- (-)	174.8 (171.4)	204.6 (175.1)						
精神病床	583.2 (534.8)	600.1 (536.3)	561.7 (532.6)	510.0 (489.6)	478.4 (454.4)	460.5 (423.7)	406.5 (363.7)	349.8 (320.3)	323.1 (298.1)
結核病床	187.3 (252.6)	170.2 (207.2)	151.1 (200.3)	100.4 (150.2)	66.3 (119.0)	83.2 (112.5)	62.7 (88.0)	52.1 (70.5)	54.8 (71.0)
感染症病床	17.3 (17.8)	15.0 (18.3)	15.4 (18.9)	15.2 (15.6)	13.8 (14.8)	12.7 (12.6)	11.0 (8.7)	2.5 (9.2)	12.3 (10.0)

資料：病院報告

(注) ()は全国値

(3) 保健医療関連施設

① 薬局数の推移

平成23年度末の薬局数は、893施設で、平成18年度末と比較すると22施設増加しています。人口10万対の薬局数は、33.9施設となっています。

また、平成23年10月1日現在の病院・診療所数は3,969施設であり、1薬局当たりの病院・診療所数は、4.4施設となっています。

(単位：施設)

	京 都 府	全 国
昭和 4 5 年	628	24,005
5 0 年	642	26,920
5 5 年	671	31,346
6 0 年	695	35,264
平成 2 年	704	36,981
7 年	694	39,433
9 年	743	42,412
1 2 年	806	46,763
1 4 年	828	49,332
1 7 年	856	51,233
1 8 年	871	51,952
2 3 年	893	54,780

資料：京都府薬務課、衛生行政報告例

(注)平成7年以前は各年12月末現在、平成9年以降は各年度末現在

② 介護保険施設、事業所数

平成23年10月1日現在の介護保険施設の状況は、介護老人保健施設は54施設、定員は5,345人、介護療養型医療施設は37施設、定員数(病床数)は3,138人(床)となっています。居宅サービス事業所については、訪問看護ステーション125施設、居宅介護支援事業所485施設などとなっています。

(単位：施設)

	施設数	定員数 (病床数)	65歳以上 人口10万対 施設数 (京都府)	65歳以上 人口10万対 施設数 (全国)
介護老人保健施設	54	5,345	8.9	11.6
介護療養型医療施設	37	3,138	6.1	6.1
訪問看護ステーション	125	—	20.6	17.5
認知症対応型共同生活介護	95	—	15.7	30.6
居宅介護支援事業所	485	—	80.1	92.9
通所リハビリテーション	115	—	19.0	20.1

資料：平成23年介護サービス施設・事業所調査

③ 市町村保健センター

市町村保健センターは、幅広い世代を対象に健康相談や健康診査等の多様な保健事業を行う施設であり、市町村が身近で頻度の高い保健サービスを実施する拠点です。

京都府内では、類似施設も含めると、26市町村全てで整備されています。

3 保健医療従事者の動向

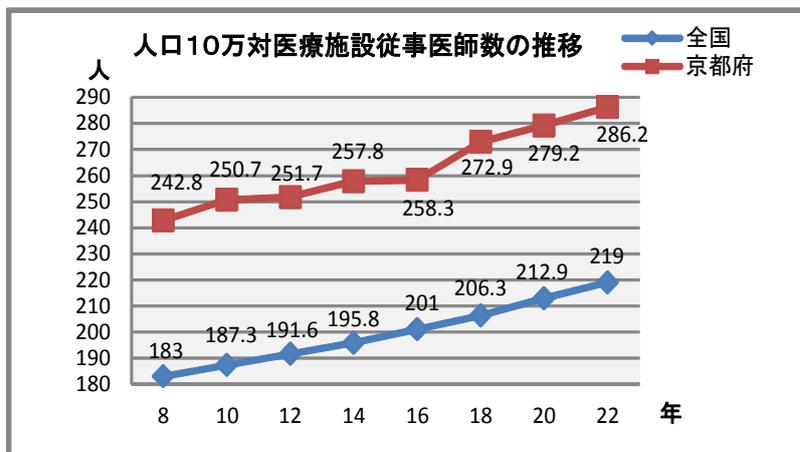
(1) 医師

① 医師数の年次推移

人口10万対医療施設従事医師数は、増加傾向にあり、平成22年では全国で最も多くなっています。

② 医師の二次医療圏別状況

医師数全体では、全国的には多いですが、二次医療圏別に見た場合、京都・乙訓地域に偏在しています。



資料：平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査

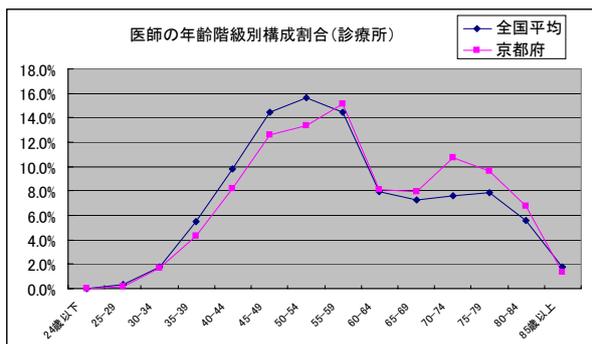
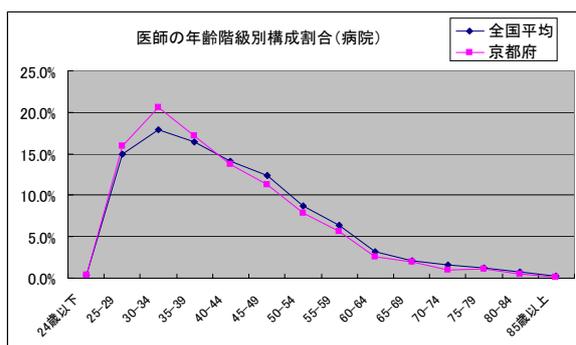
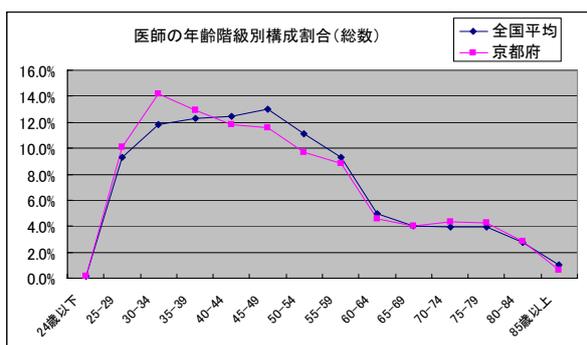
—人口10万対医療施設従事医師数—

丹後	152.6	中丹	209.2
南丹	170.2	京都・乙訓	359.2
山城北	164.9	山城南	129.2
京都府計	286.2		

資料：平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査を基に京都府独自計算

③ 医師の年齢構成

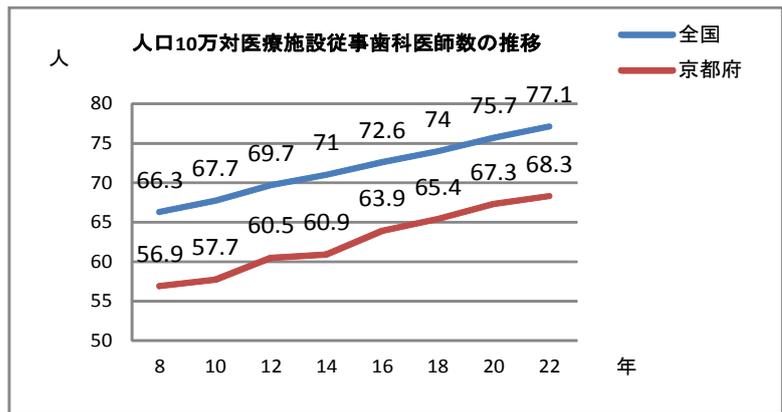
医師の年齢構成を全国と比較した場合、30歳代の病院勤務医が多く、高齢の診療所勤務医が多くなっています。



資料：平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査

① 歯科医師数の年次推移

人口10万対医療施設従事歯科医師数は、増加傾向にあります、全国平均より低い水準で推移しています。



資料：平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査

② 歯科医師の二次医療圏別状況

医師数全体では、全国的には多い状況ですが、二次医療圏別に見た場合、京都・乙訓地域に偏在しています。

－人口10万対医療施設従事歯科医師数－

丹後	44.8	中丹	55.3
南丹	48.1	京都・乙訓	79.2
山城北	50.2	山城南	53.2
京都府計	68.3		

資料：平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査を基に京都府独自計算

③ 人口10万対医療施設従事医師数（診療科別）

(単位：人)

	歯科	矯正歯科	小児歯科	歯科口腔外科
京都府計	60.8	2.2	0.6	3.1
丹後	35.3	1.0	-	7.6
中丹	50.9	2.4	-	1.5
南丹	42.6	2.1	2.1	1.4
京都・乙訓	70.5	2.5	0.6	3.7
山城北	44.0	1.8	0.7	1.8
山城南	51.5	-	1.7	-

資料：平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査を基に京都府独自計算

(3) その他の保健医療従事者

－人口10万対医療従事者数－

(単位：人)

	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計	全国
就業保健師	63.9	45.1	53.7	31.8	36.6	45.4	36.7	35.2
就業助産師	24.8	34.3	9.1	34.2	13.9	20.1	28.4	23.2
就業看護師	693.4	954.7	655.8	952.6	593.5	481.8	845.1	744.0
就業准看護師	353.8	383.5	226.7	239.1	223.8	100.4	245.6	287.5
薬剤師(薬局・医療施設従事)	84.9	128.3	94.2	159.8	123.0	112.6	142.5	154.3

－ 病院病床100床対医療従事者数(常勤換算)－

(単位：人)

理学療法士(病院勤務)	4.1	2.3	2.5	3.1	3.8	5.1	3.1	1.9
作業療法士(病院勤務)	1.7	1.3	1.5	1.6	2.0	1.8	1.6	1.2
言語聴覚士(病院勤務)	0.4	0.4	0.8	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4

資料：平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査、衛生行政報告例、業務従事者届、病院報告

(注1) 医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、准看護師薬剤師は平成22年末現在

(注2) 理学療法士・作業療法士、言語聴覚士は平成23年10月現在

4 患者の受療動向

平成20年の「患者調査」に基づく患者の受療動向は、以下のとおりです。

(1) 入院患者数の推移

- 京都府内に所在する病院の入院患者総数は、30,007人（うち京都府内に住所を有する入院患者は29,654人）です。
- 性別に見た入院患者数は、男性が12,749人、女性が17,258人で、構成比はそれぞれ42.5%、57.5%であり、これまでの調査結果と同じく女性の方が多くなっています。対前回調査比では、男性が0.4%増、女性が0.4%減となっています。
- 年齢階層別の入院患者数は、0～14歳が607人、15～64歳が7,777人、65歳以上が21,281人、年齢不詳が340人でした。
- 疾病（大分類）別にみた入院患者数は、第1位が循環器系の疾患で5,732人、第2位が精神及び行動の障害で5,669人、第3位が悪性新生物で3,614人です。

(単位：人)

項目		平成2年	平成8年	平成14年	平成17年	平成20年
入院患者総数		31,870	31,801	31,336	31,303	30,007
性別	男性	14,404	13,860	13,316	13,194	12,749
	女性	17,466	17,941	18,020	18,109	17,258
年齢	0～14歳	1,083	989	789	667	607
	15～64歳	13,712	12,173	9,837	9,047	7,777
	65歳以上	17,059	18,630	20,687	21,554	21,281
	年齢不詳	16	9	23	35	340
入院理由	疾病の診断、治療	30,153	28,908	28,385	28,471	27,004
	外傷の診断、治療	1,223	2,500	2,645	2,527	2,547
	正常な妊娠、分娩、産褥の管理	334	218	225	215	178
	健康者に対する検査、健康診断、管理その他の保健サービス	160	175	101	90	278
傷病	①循環器系の疾患	8,506	7,103	6,528	7,018	5,732
	②精神及び行動の障害	5,778	6,501	6,022	6,437	5,669
	③新生物	3,591	3,968	3,702	4,102	3,614

資料：平成20年患者調査

(2) 病床別患者流入流出の状況

①一般病床

入院患者がその住所地の属する地域内の病院で入院医療を受療している地元依存の状況は、下表のとおりであり、地元依存率は京都・乙訓地域が最も高く90%を超え、次いで中丹地域が高くなっています。丹後地域、南丹地域、山城北地域も60%を超えていますが、山城南地域は山城北地域、他府県への流出患者が多く、地元依存率は40%未満となっています。

また、京都・乙訓地域は山城北地域、南丹地域からの流入患者が多く、南部の拠点的作用を果たしています。

一般病床（単位：人）

患者所在地 施設所在地		府内住所の患者数							他府県住所の患者数	合計
		丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	計		
府内病院に入院する患者数	丹 後	636	12	0	2	0	0	650	18	668
	中 丹	112	1,154	16	7	5	0	1,294	119	1,413
	南 丹	6	18	772	48	4	0	848	18	866
	京 都・乙 訓	15	101	216	9,999	643	63	11,037	991	12,028
	山 城 北	6	6	9	366	1,830	96	2,313	253	2,566
	山 城 南	0	0	2	10	53	254	319	30	349
府内病院への入院患者数計		775	1,291	1,015	10,432	2,535	413	16,461	1,429	17,890
他府県病院への入院患者数		71	92	36	383	258	225	1,065	-	1,065
合計		846	1,383	1,051	10,815	2,793	638	17,526	1,429	18,955
地元依存率*		75.2%	83.4%	73.5%	92.5%	65.5%	39.8%	-	-	-

* 地元依存率 = (圏域内の病院に入院する患者数) / (圏域内全患者数)

②療養病床

入院患者がその住所地の属する地域内の病院で入院医療を受療している地元依存の状況は、下表のとおりであり、地元依存率は京都・乙訓地域、南丹地域が90%を超え、次いで丹後地域が高くなっています。中丹地域、山城北地域も60%を超えていますが、山城南地域は山城北地域、他府県への流出患者が多く、地元依存率は約20%となっています。

療養病床（単位：人）

患者所在地 施設所在地		府内住所の患者数							他府県住所の患者数	合計
		丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	計		
府内病院に入院する患者数	丹 後	223	2	0	0	0	0	225	13	238
	中 丹	9	289	0	0	2	0	300	7	307
	南 丹	4	3	277	31	4	0	319	8	327
	京 都・乙 訓	35	13	19	4,222	203	3	4,495	270	4,765
	山 城 北	4	2	0	78	503	25	612	30	642
	山 城 南	2	0	0	12	6	24	44	12	56
府内病院への入院患者数計		277	309	296	4,343	718	52	5,995	340	6,335
他府県病院への入院患者数		41	116	8	141	79	60	445	-	445
合計		318	425	304	4,484	797	112	6,440	340	6,780
地元依存率*		70.1%	68.0%	91.1%	94.2%	63.1%	21.4%	-	-	-

* 地元依存率 = (圏域内の病院に入院する患者数) / (圏域内全患者数)

③精神病床

入院患者が京都府内の病院で入院医療を受療している状況は、下表のとおりである。90%以上の患者が府内病院へ入院し、8%程度の患者が他府県病院へ入院している状況です。

精神病床（単位：人）

患者所在地 施設所在地	府内住所の患者数	他府県住所の患者数	合計
府内病院への入院患者数計	5,186	514	5,700
他府県病院への入院患者数	421	-	421
合計	5,607	514	6,121

5 健康状態、生活習慣等の現状

(1) 身体に関する状況

(I) 肥満及びやせの状況について

肥満者（BMI \geq 25）の割合は、男性24.4%、女性18.9%であった。

男性では40歳代が最も高く29.0%であった。女性では高齢になるにつれ高くなる傾向であった。

やせの者（BMI $<$ 18.5）の割合は、男性4.1%、女性11.3%であった。

男性では15～19歳、女性では20歳代が最も高かった。

図-1-1 肥満者（BMI \geq 25）の割合（性・年齢階級別）

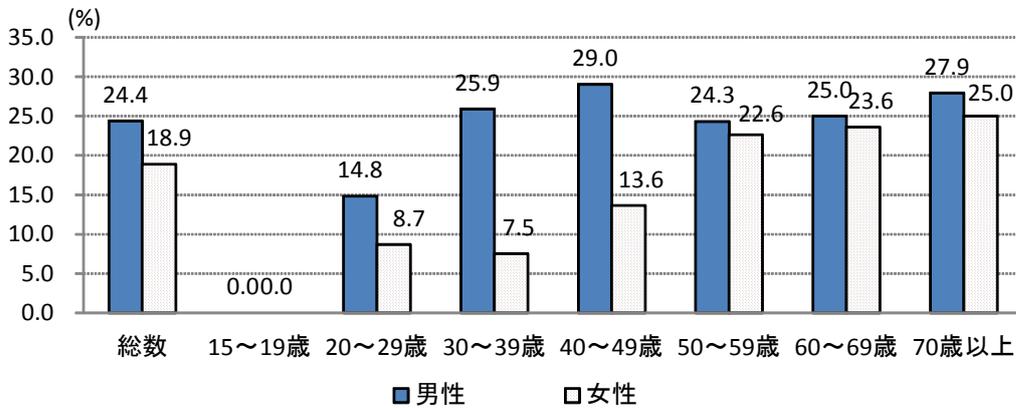


図-1-2 やせの者（BMI $<$ 18.5）の割合（性・年齢階級別）

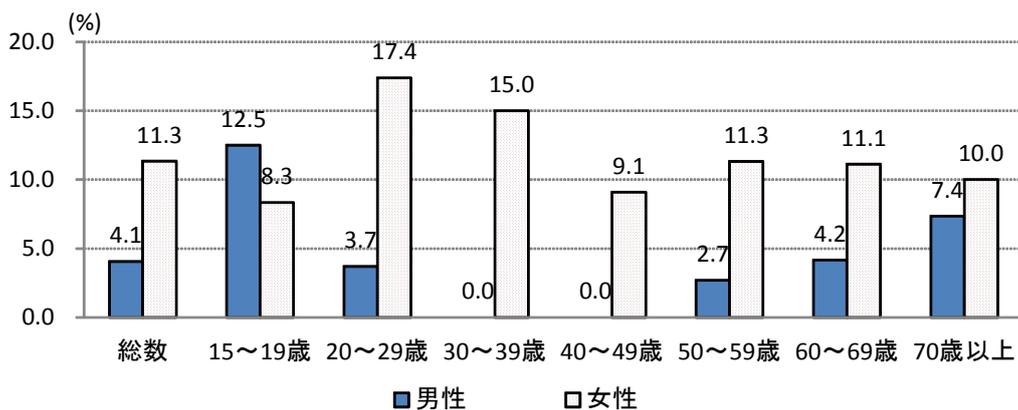


表-1-1肥満・やせの者の割合（性・年齢階級別）

性別	年齢	やせ	普通	肥満	無回答	合計
男性	15～19歳	1	7	0	0	8
		12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	20～29歳	1	21	4	1	27
		3.7%	77.8%	14.8%	3.7%	100.0%
	30～39歳	0	15	7	5	27
		0.0%	55.6%	25.9%	18.5%	100.0%
	40～49歳	0	20	9	2	31
		0.0%	64.5%	29.0%	6.5%	100.0%
50～59歳	1	26	9	1	37	
	2.7%	70.3%	24.3%	2.7%	100.0%	
60～69歳	2	32	12	2	48	
	4.2%	66.7%	25.0%	4.2%	100.0%	
70歳以上	5	42	19	2	68	
	7.4%	61.8%	27.9%	2.9%	100.0%	
計	10	163	60	13	246	
	4.1%	66.3%	24.4%	5.3%	100.0%	
女性	15～19歳	1	11	0	0	12
		8.3%	91.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	20～29歳	4	15	2	2	23
		17.4%	65.2%	8.7%	8.7%	100.0%
	30～39歳	6	30	3	1	40
		15.0%	75.0%	7.5%	2.5%	100.0%
	40～49歳	4	33	6	1	44
		9.1%	75.0%	13.6%	2.3%	100.0%
50～59歳	6	35	12	0	53	
	11.3%	66.0%	22.6%	0.0%	100.0%	
60～69歳	8	46	17	1	72	
	11.1%	63.9%	23.6%	1.4%	100.0%	
70歳以上	10	60	25	5	100	
	10.0%	60.0%	25.0%	5.0%	100.0%	
計	39	230	65	10	344	
	11.3%	66.9%	18.9%	2.9%	100.0%	

肥満・やせの判定は、BMI（Body Mass Index，次式）を用いて判定した。

$$BMI = \text{体重 (kg)} / (\text{身長m})^2$$

男女ともBMI = 22を標準として、肥満の判定基準は下記のとおりである。

判定	低体重（やせ）	普通	肥満
BMI	18.5未満	18.5以上25.0未満	25.0以上

（「日本肥満学会（2000年）による肥満の判定基準」より）

(Ⅱ) メタボリックシンドロームの該当者または予備群と考えられる者について

メタボリックシンドロームの該当者または予備群と考えられる者をあせた者の割合は、40～74歳の男性では39.3%、女性では16.2%であった。

男性では60歳代が最も高く52.1%で、女性では高齢になるにつれ高くなる傾向であった。

図 メタボリックシンドロームの状況（性・年齢階級別）

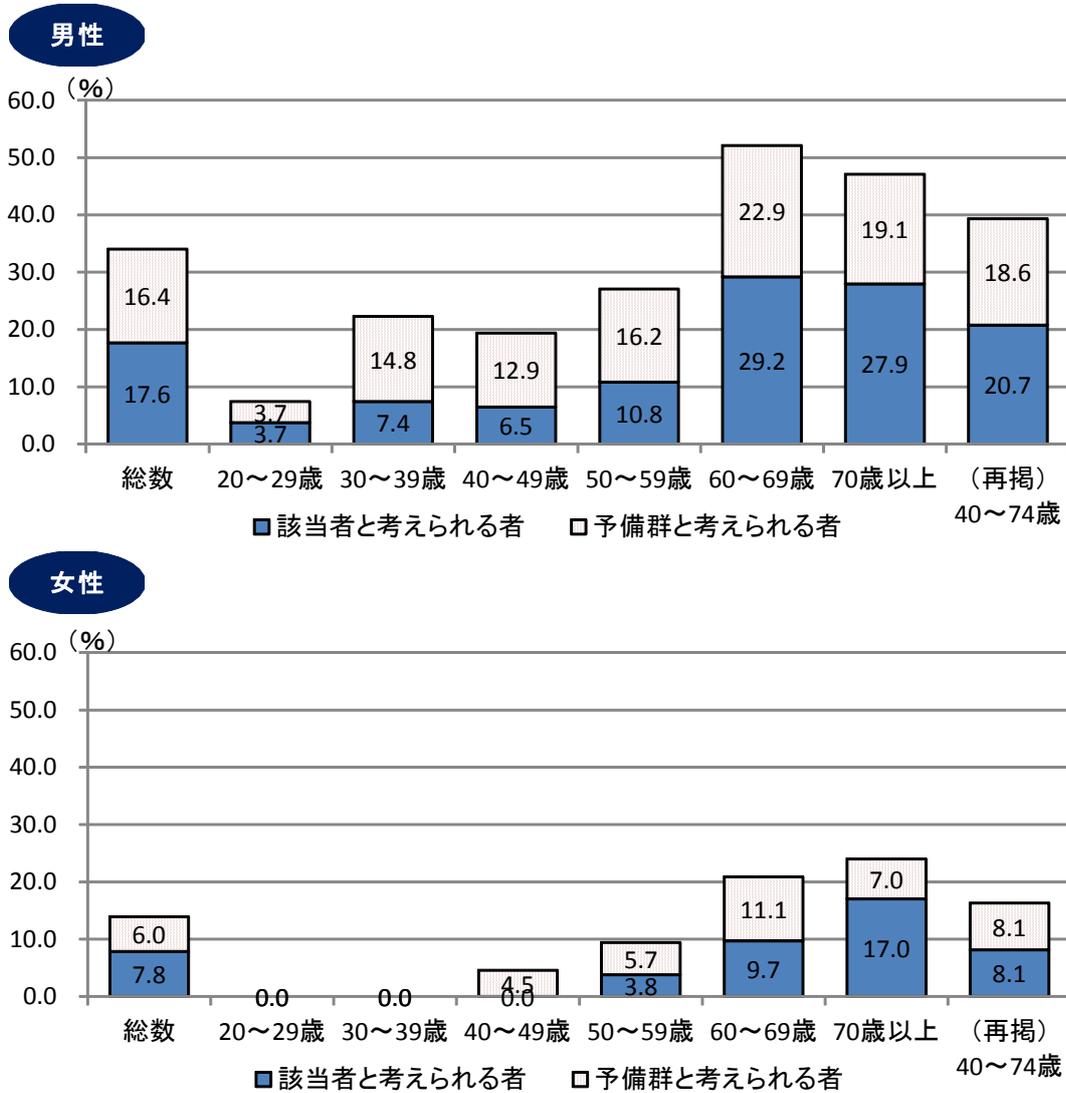


図 メタボリックシンドロームの状況（性・年齢階級別）

年齢	男性				女性			
	腹囲:85cm以上		上記以外	母数	腹囲:90cm以上		上記以外	母数
	+項目2つ以上該当	+項目1つ以上該当			+項目2つ以上該当	+項目1つ以上該当		
20～29歳	1	1	25	27	0	0	23	23
	3.7%	3.7%	92.6%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
30～39歳	2	4	21	27	0	0	40	40
	7.4%	14.8%	77.8%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
40～49歳	2	4	25	31	0	2	42	44
	6.5%	12.9%	80.6%	100.0%	0.0%	4.5%	95.5%	100.0%
50～59歳	4	6	27	37	2	3	48	53
	10.8%	16.2%	73.0%	100.0%	3.8%	5.7%	90.6%	100.0%
60～69歳	14	11	23	48	7	8	57	72
	29.2%	22.9%	47.9%	100.0%	9.7%	11.1%	79.2%	100.0%
70歳以上	19	13	36	68	17	7	76	100
	27.9%	19.1%	52.9%	100.0%	17.0%	7.0%	76.0%	100.0%
計	42	39	157	238	26	20	286	332
	17.6%	16.4%	66.0%	100.0%	7.8%	6.0%	86.1%	100.0%
再掲 40～74歳	29	26	85	140	17	17	175	209
	20.7%	18.6%	60.7%	100.0%	8.1%	8.1%	83.7%	100.0%

【内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の判定】

今回の調査では、空腹時の採血が困難であるため、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定することが不可能であることに伴い、本報告における判定は以下のとおりとした。

◇ メタボリックシンドロームの該当者と考えられる者

腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち、2つ以上の項目に該当する者

◇ メタボリックシンドロームの予備群と考えられる者

腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち、1つの項目に該当する者

※ “項目に該当する” とは、「基準を満たす」、かつ/または「服薬がある」場合をいう。

項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	・HDL-コレステロール値40mg/dl未満 ・LDL-コレステロール値140mg/dl以上	・収縮期血圧値130mmHg以上 ・拡張期血圧値85mmHg以上	・ヘモグロビンA1c値5.5%以上
服薬	・コレステロールを下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖値を下げる薬服用 ・インスリン注射使用

(Ⅲ) 血圧の状況について

日本高血圧学会(2009年)による「血圧の分類」における高血圧の者の割合は、男性41.6%、女性36.4%であった。男女とも、高齢になるにつれ増加傾向であり、70歳以上では、それぞれ64.7%、55.0%であった。

図 高血圧の者の割合

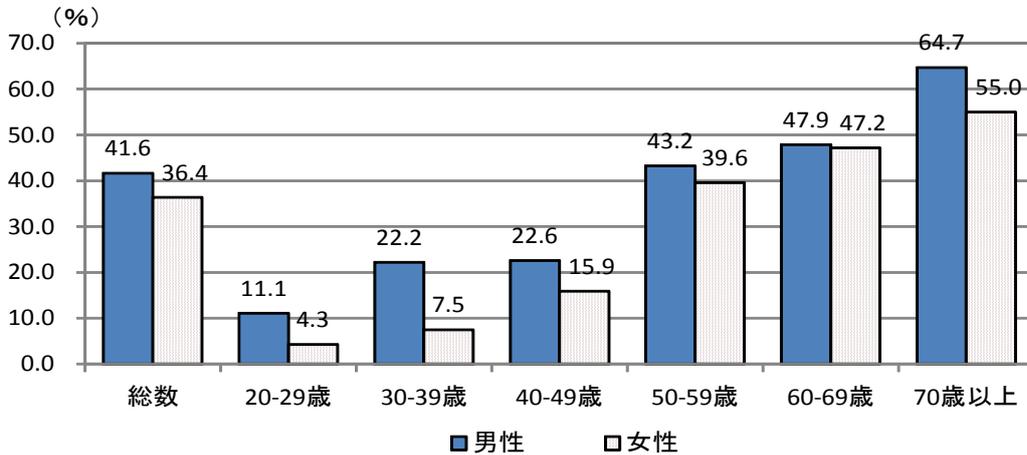
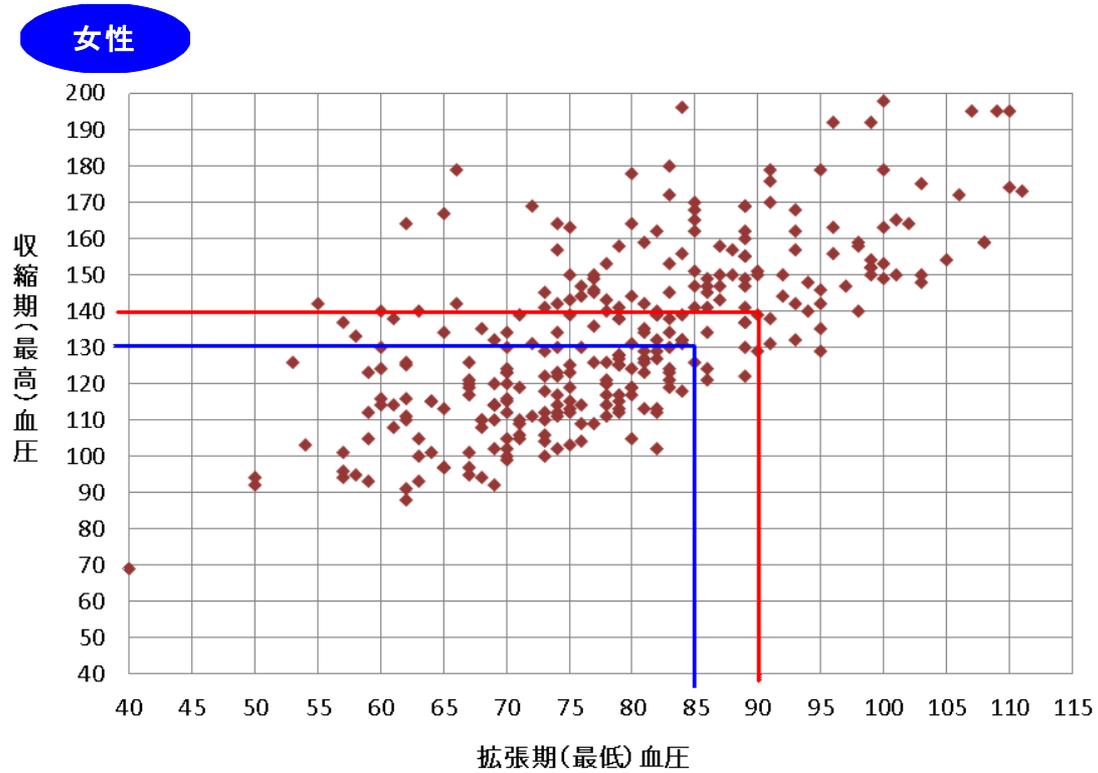
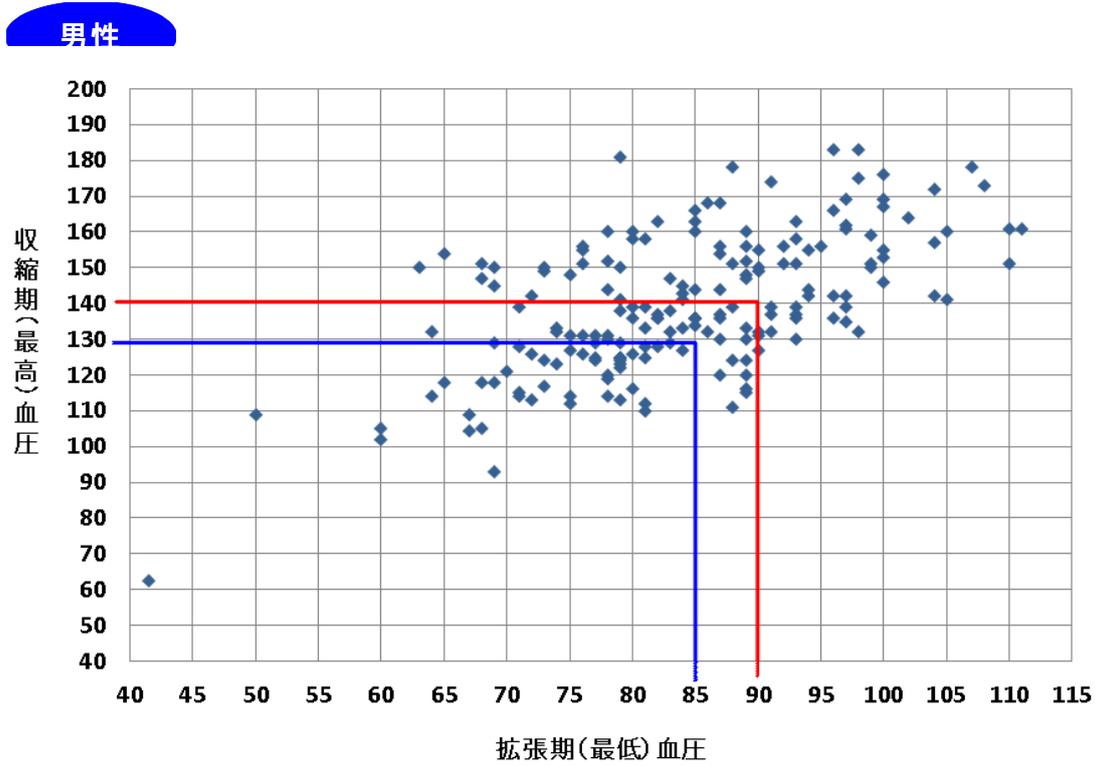


表 血圧の状況

※ 2回測定値の平均値

性別	年齢	至適血圧	正常血圧	正常高血圧	高血圧			無回答	合計	
					軽症高血圧	中等症高血圧	重症高血圧			
男性	20~29歳	7	5	4	3	2	0	1	8	27
		25.9%	18.5%	14.8%	11.1%	7.4%	0.0%	3.7%	29.6%	100.0%
	30~39歳	3	4	4	6	4	1	1	10	27
		11.1%	14.8%	14.8%	22.2%	14.8%	3.7%	3.7%	37.0%	100.0%
	40~49歳	6	1	5	7	6	1	0	12	31
		19.4%	3.2%	16.1%	22.6%	19.4%	3.2%	0.0%	38.7%	100.0%
	50~59歳	1	6	4	16	9	6	1	10	37
		2.7%	16.2%	10.8%	43.2%	24.3%	16.2%	2.7%	27.0%	100.0%
60~69歳	1	8	10	23	13	8	2	6	48	
	2.1%	16.7%	20.8%	47.9%	27.1%	16.7%	4.2%	12.5%	100.0%	
70歳以上	3	3	11	44	28	15	1	7	68	
	4.4%	4.4%	16.2%	64.7%	41.2%	22.1%	1.5%	10.3%	100.0%	
総数	21	27	38	99	62	31	6	53	238	
	8.8%	11.3%	16.0%	41.6%	26.1%	13.0%	2.5%	22.3%	100.0%	
女性	20~29歳	11	3	1	1	1	0	0	7	23
		47.8%	13.0%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	30.4%	100.0%
	30~39歳	26	5	2	3	3	0	0	4	40
		65.0%	12.5%	5.0%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
	40~49歳	19	7	4	7	5	2	0	7	44
		43.2%	15.9%	9.1%	15.9%	11.4%	4.5%	0.0%	15.9%	100.0%
	50~59歳	12	8	5	21	12	8	1	7	53
		22.6%	15.1%	9.4%	39.6%	22.6%	15.1%	1.9%	13.2%	100.0%
60~69歳	11	10	13	34	22	8	4	4	72	
	15.3%	13.9%	18.1%	47.2%	30.6%	11.1%	5.6%	5.6%	100.0%	
70歳以上	6	16	14	55	29	21	5	9	100	
	6.0%	16.0%	14.0%	55.0%	29.0%	21.0%	5.0%	9.0%	100.0%	
総数	85	49	39	121	72	39	10	38	332	
	25.6%	14.8%	11.7%	36.4%	21.7%	11.7%	3.0%	11.4%	100.0%	

図 血圧の分布について



(IV) 血液検査について

20歳以上の男女を対象として実施した血液検査の主な項目はの結果は、次のとおりであった。

① 総コレステロール

総コレステロールの平均値は、男性198.6mg/dl、209.4mg/dlであった。

なお、220mg/dl以上の者の割合は、男性24.9%、女性35.6%であった。

図 コレステロール値の分布

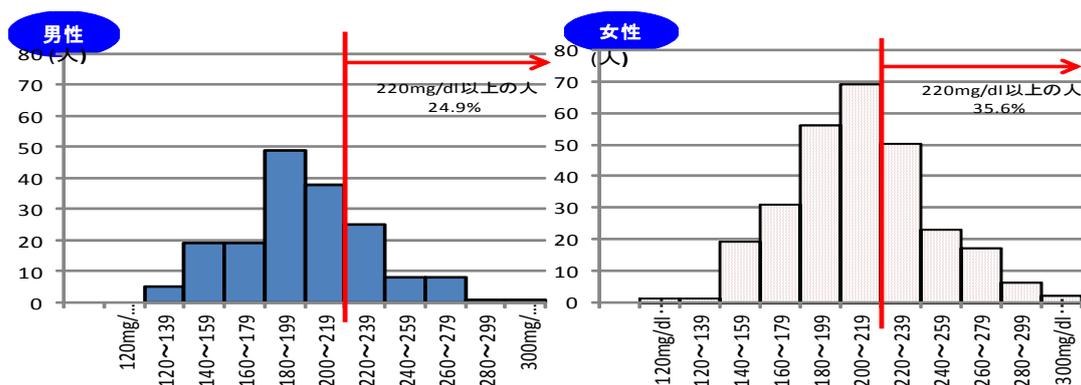


表 コレステロール値の分布

性別	年齢	120mg/dl未満	120~139	140~159	160~179	180~199	200~219	220~239	240~259	260~279	280~299	300mg/dl以上	合計	平均値 mg/dl	標準 偏差
男性	20~29歳	0	0	3	3	2	6	1	1	1	0	0	17	195.9	33.1
		0.0%	0.0%	17.6%	17.6%	11.8%	35.3%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	1	3	1	3	3	1	1	2	0	0	15	195.7	43.8
		0.0%	6.7%	20.0%	6.7%	20.0%	20.0%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	0	0	1	4	5	4	3	1	0	1	0	19	200.9	33.1
		0.0%	0.0%	5.3%	21.1%	26.3%	21.1%	15.8%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	0	1	0	12	6	4	2	1	0	0	26	207.3	25.4
	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	46.2%	23.1%	15.4%	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%			
60~69歳	0	2	3	4	5	8	12	1	2	0	1	38	206.9	38.1	
	0.0%	5.3%	7.9%	10.5%	13.2%	21.1%	31.6%	2.6%	5.3%	0.0%	2.6%	100.0%			
70歳以上	0	2	8	7	22	11	4	2	2	0	0	58	189.9	29.0	
	0.0%	3.4%	13.8%	12.1%	37.9%	19.0%	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	100.0%			
計	0	5	19	19	49	38	25	8	8	1	1	173	198.6	33.3	
	0.0%	2.9%	11.0%	11.0%	28.3%	22.0%	14.5%	4.6%	4.6%	0.6%	0.6%	100.0%			
女性	20~29歳	0	0	3	4	3	5	0	1	0	0	0	16	187.1	26.2
		0.0%	0.0%	18.8%	25.0%	18.8%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	1	4	8	9	8	3	1	1	0	0	35	191.1	29.8
		0.0%	2.9%	11.4%	22.9%	25.7%	22.9%	8.6%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	0	0	3	4	9	8	7	5	0	0	0	36	205.9	30.1
		0.0%	0.0%	8.3%	11.1%	25.0%	22.2%	19.4%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	0	2	1	7	8	12	6	6	3	1	46	228.5	35.3
	0.0%	0.0%	4.3%	2.2%	15.2%	17.4%	26.1%	13.0%	13.0%	6.5%	2.2%	100.0%			
60~69歳	0	0	2	3	11	22	10	5	8	3	0	64	219.4	33.2	
	0.0%	0.0%	3.1%	4.7%	17.2%	34.4%	15.6%	7.8%	12.5%	4.7%	0.0%	100.0%			
70歳以上	1	0	5	11	17	18	18	5	2	0	1	78	204.4	31.5	
	1.3%	0.0%	6.4%	14.1%	21.8%	23.1%	23.1%	6.4%	2.6%	0.0%	1.3%	100.0%			
計	1	1	19	31	56	69	50	23	17	6	2	275	209.4	34.1	
	0.4%	0.4%	6.9%	11.3%	20.4%	25.1%	18.2%	8.4%	6.2%	2.2%	0.7%	100.0%			

②HDL-コレステロール

HDL-コレステロールの平均値は、男性56.9mg/dl、女性64.1mg/dlであった。
 なお、40mg/dl以下の者の割合は、男性11.6%、女性4.4%であった。

図 HDL-コレステロール値の分布

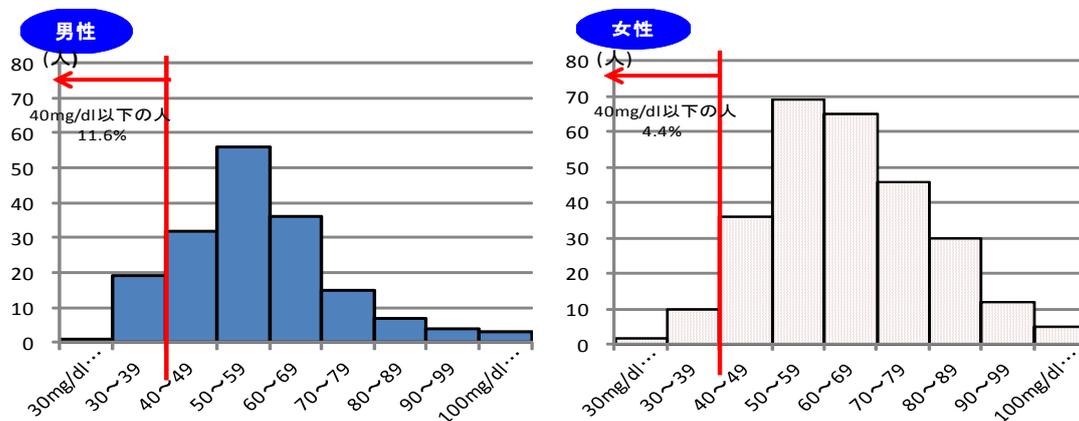


表 HDL-コレステロール値の分布

性別	年齢	30mg/dl未満	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100mg/dl以上	合計	平均値 mg/dl	標準 偏差
男性	20~29歳	0	2	3	3	6	2	1	0	0	17	57.4	14.3
		0.0%	11.8%	17.6%	17.6%	35.3%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	2	5	4	3	0	1	0	0	15	53.3	13.2
		0.0%	13.3%	33.3%	26.7%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	0	3	2	9	3	2	0	0	0	19	53.7	11.4
		0.0%	15.8%	10.5%	47.4%	15.8%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	3	2	10	5	3	2	0	1	26	60.2	15.2
		0.0%	11.5%	7.7%	38.5%	19.2%	11.5%	7.7%	0.0%	3.8%	100.0%		
60~69歳	1	5	8	9	7	2	1	3	2	38	58.6	21.1	
	2.6%	13.2%	21.1%	23.7%	18.4%	5.3%	2.6%	7.9%	5.3%	100.0%			
70歳以上	0	4	12	21	12	6	2	1	0	58	56.3	12.9	
	0.0%	6.9%	20.7%	36.2%	20.7%	10.3%	3.4%	1.7%	0.0%	100.0%			
計	1	19	32	56	36	15	7	4	3	173	56.9	15.3	
	0.6%	11.0%	18.5%	32.4%	20.8%	8.7%	4.0%	2.3%	1.7%	100.0%			
女性	20~29歳	1	1	1	6	3	1	2	1	0	16	59.2	17.4
		6.3%	6.3%	6.3%	37.5%	18.8%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	0	2	9	10	6	4	3	1	35	68.7	15.0
		0.0%	0.0%	5.7%	25.7%	28.6%	17.1%	11.4%	8.6%	2.9%	100.0%		
	40~49歳	0	0	4	5	8	10	4	4	1	36	71.0	15.8
		0.0%	0.0%	11.1%	13.9%	22.2%	27.8%	11.1%	11.1%	2.8%	100.0%		
	50~59歳	0	0	5	9	9	13	8	1	1	46	68.3	15.6
		0.0%	0.0%	10.9%	19.6%	19.6%	28.3%	17.4%	2.2%	2.2%	100.0%		
60~69歳	1	4	12	18	16	7	3	1	2	64	59.4	16.9	
	1.6%	6.3%	18.8%	28.1%	25.0%	10.9%	4.7%	1.6%	3.1%	100.0%			
70歳以上	0	5	12	22	19	9	9	2	0	78	61.2	14.3	
	0.0%	6.4%	15.4%	28.2%	24.4%	11.5%	11.5%	2.6%	0.0%	100.0%			
計	2	10	36	69	65	46	30	12	5	275	64.1	16.1	
	0.7%	3.6%	13.1%	25.1%	23.6%	16.7%	10.9%	4.4%	1.8%	100.0%			

③ LDL-コレステロール

LDL-コレステロールの平均値は、男性116.3mg/dl、女性121.1mg/dlであった。
 なお、140mg/dl以上の者の割合は、男性21.4%、女性23.6%であった。

図 LDL-コレステロール値の分布

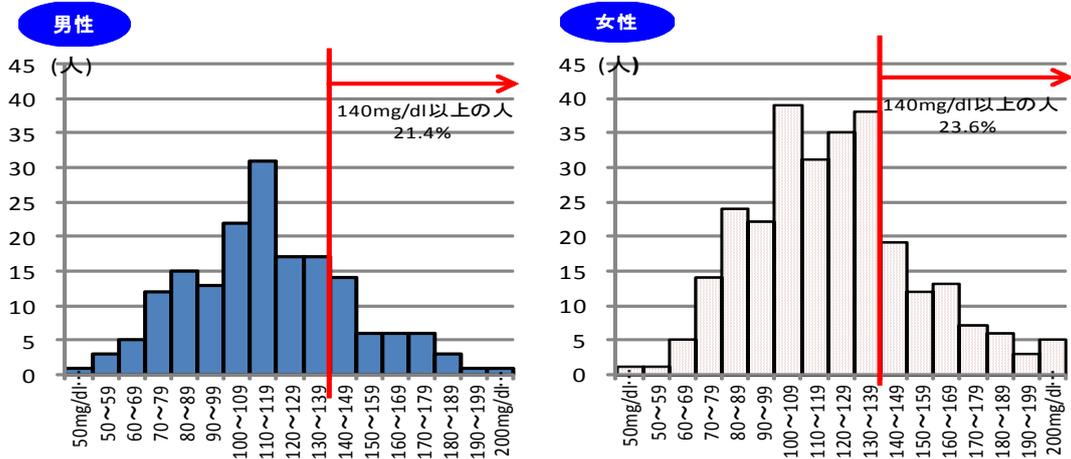


表 LDL-コレステロール値の分布

性別	年齢	40	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	合計	平均値 mg/dl	標準 偏差
		mg/dl 未満	～ 49	～ 59	～ 69	～ 79	～ 89	～ 99	～ 109	～ 119	～ 129	～ 139	～ 149	～ 159	～ 169	～ 179	～ 189	～ 199	mg/dl 以上			
男性	20～29歳	0	0	0	0	1	1	1	1	3	3	4	1	1	0	0	1	0	0	17	122.8	27.7
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	17.6%	17.6%	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30～39歳	0	0	0	1	2	2	1	0	1	3	1	1	1	0	1	1	0	0	15	117.9	37.5
		0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40～49歳	0	0	0	0	0	4	1	4	3	3	0	0	2	1	1	0	0	0	19	117.1	27.8
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%	5.3%	21.1%	15.8%	15.8%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50～59歳	1	0	0	0	0	1	2	7	4	2	2	4	0	0	2	0	1	0	26	120.5	31.3
		3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	7.7%	26.9%	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%		
60～69歳	0	0	0	2	3	2	2	4	9	2	2	5	2	2	1	1	0	1	38	120.4	33.7	
	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	7.9%	5.3%	5.3%	10.5%	23.7%	5.3%	5.3%	13.2%	5.3%	5.3%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%	100.0%			
70歳以上	0	0	3	2	6	5	6	6	11	4	8	3	0	3	1	0	0	0	58	109.2	28.7	
	0.0%	0.0%	5.2%	3.4%	10.3%	8.6%	10.3%	10.3%	19.0%	6.9%	13.8%	5.2%	0.0%	5.2%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
計	1	0	3	5	12	15	13	22	31	17	17	14	6	6	6	3	1	1	173	116.3	30.9	
		0.6%	0.0%	1.7%	2.9%	6.9%	8.7%	7.5%	12.7%	17.9%	9.8%	9.8%	8.1%	3.5%	3.5%	3.5%	1.7%	0.6%	0.6%	100.0%		
女性	20～29歳	0	0	0	1	1	2	2	2	2	2	3	1	0	0	0	0	0	0	16	108.0	24.7
		0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30～39歳	0	0	1	1	3	5	5	6	3	4	2	3	0	1	1	0	0	0	35	107.1	27.1
		0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	8.6%	14.3%	14.3%	17.1%	8.6%	11.4%	5.7%	8.6%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40～49歳	0	0	0	0	3	4	3	5	5	4	3	3	2	3	1	0	0	0	36	117.6	28.0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	11.1%	8.3%	13.9%	13.9%	11.1%	8.3%	8.3%	5.6%	8.3%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50～59歳	0	0	0	1	1	2	2	5	2	7	7	5	4	3	2	1	2	2	46	135.8	33.5
		0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	4.3%	4.3%	10.9%	4.3%	15.2%	15.2%	10.9%	8.7%	6.5%	4.3%	2.2%	4.3%	4.3%	100.0%		
60～69歳	0	0	0	0	2	2	4	9	10	8	12	1	3	3	3	4	1	2	64	130.3	31.0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	6.3%	14.1%	15.6%	12.5%	18.8%	1.6%	4.7%	4.7%	4.7%	6.3%	1.6%	3.1%	100.0%			
70歳以上	1	0	0	2	4	9	6	12	9	10	11	6	3	3	0	1	0	1	78	115.6	29.8	
	1.3%	0.0%	0.0%	2.6%	5.1%	11.5%	7.7%	15.4%	11.5%	12.8%	14.1%	7.7%	3.8%	3.8%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	100.0%			
計	1	0	1	5	14	24	22	39	31	35	38	19	12	13	7	6	3	5	275	121.1	31.3	
		0.4%	0.0%	0.4%	1.8%	5.1%	8.7%	8.0%	14.2%	11.3%	12.7%	13.8%	6.9%	4.4%	4.7%	2.5%	2.2%	1.1%	1.8%	100.0%		

④ ヘモグロビンA1C (HbA1C)

ヘモグロビンA1Cの平均値は、男性5.3%、女性5.4%であった。

なお、糖尿病を強く疑われる者(6.1%以上の者)の割合は、男性24.99.3%、女性8.1%であった。

図 ヘモグロビンA1C値の分布

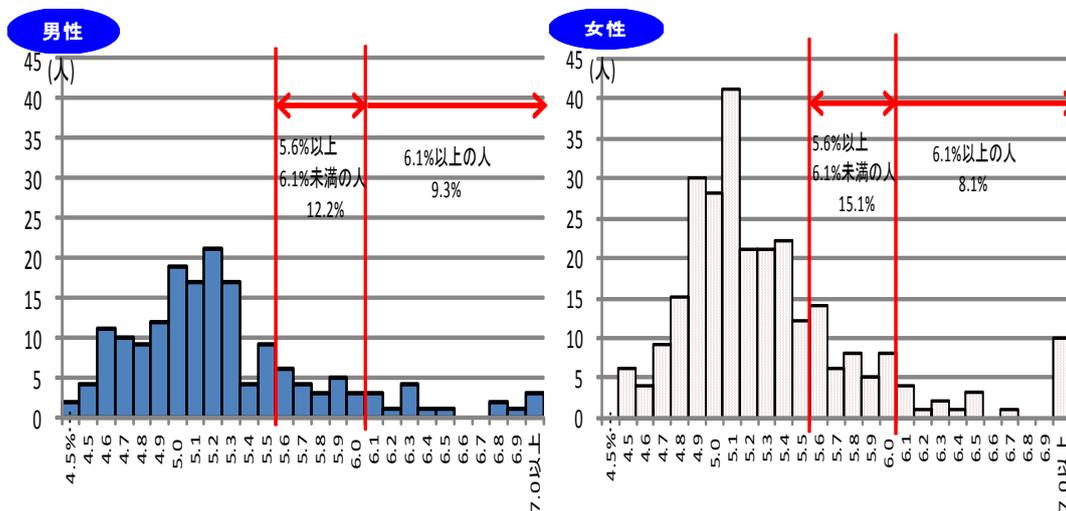


表 ヘモグロビンA1Cの分布

性別	年齢	HbA1C (%)																				合計	平均値 %	標準偏差								
		4.5%未満	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9	5.0	5.1	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	6.3				6.4	6.5	6.6	6.7	6.8	6.9	7.0%以上	
男性	20~29歳	1	2	2	1	2	2	3	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	4.9	0.3
		5.9%	11.8%	11.8%	5.9%	11.8%	11.8%	17.6%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	0	1	3	1	0	2	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	5.1	0.3
		0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	6.7%	0.0%	13.3%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	1	0	0	1	3	2	2	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	5.0	0.3
		5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	15.8%	10.5%	10.5%	15.8%	26.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	1	1	3	2	2	3	3	3	3	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	5.2	0.6
		0.0%	3.8%	3.8%	11.5%	7.7%	7.7%	11.5%	11.5%	11.5%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%	
60~69歳	0	0	2	0	1	4	7	4	1	4	1	3	3	2	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	38	5.3	0.5	
	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	2.6%	10.5%	18.4%	10.5%	2.6%	10.5%	2.6%	7.9%	7.9%	5.3%	5.3%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%		
70歳以上	0	1	5	2	0	2	2	4	9	6	0	5	2	2	0	3	1	3	1	4	0	1	0	0	0	1	1	2	57	5.6	1.0	
	0.0%	1.8%	8.8%	3.5%	0.0%	3.5%	3.5%	7.0%	15.8%	10.5%	0.0%	8.8%	3.5%	3.5%	0.0%	5.3%	1.8%	5.3%	1.8%	7.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	3.5%	100.0%			
計	2	4	11	10	9	12	19	17	21	17	4	9	6	4	3	5	3	3	1	4	1	1	0	0	2	1	3	172	5.3	0.7		
	1.2%	2.3%	6.4%	5.8%	5.2%	7.0%	11.0%	9.9%	12.2%	9.9%	2.3%	5.2%	3.5%	2.3%	1.7%	2.9%	1.7%	1.7%	0.6%	2.3%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%	0.6%	1.7%	100.0%				
女性	20~29歳	0	2	1	2	0	2	2	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5.2	0.8	
		0.0%	12.5%	6.3%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%		
	30~39歳	0	0	2	2	1	5	3	10	3	2	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	34	5.2	0.6	
		0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	2.9%	14.7%	8.8%	29.4%	8.8%	5.9%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	100.0%			
	40~49歳	0	1	1	1	6	7	5	2	7	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	36	5.1	0.4	
		0.0%	2.8%	2.8%	2.8%	16.7%	19.4%	13.9%	5.6%	19.4%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	2	0	1	2	7	6	10	2	1	3	2	3	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	46	5.4	1.1	
		0.0%	4.3%	0.0%	2.2%	4.3%	15.2%	13.0%	21.7%	4.3%	2.2%	6.5%	4.3%	6.5%	0.0%	2.2%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	100.0%			
60~69歳	0	0	0	1	2	2	8	6	3	4	9	5	6	3	4	2	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	64	5.5	0.6	
	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.1%	3.1%	12.5%	9.4%	4.7%	6.3%	14.1%	7.8%	9.4%	4.7%	6.3%	3.1%	3.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	4.7%	100.0%			
70歳以上	0	1	0	2	4	7	4	9	6	12	6	3	5	3	1	2	3	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	76	5.4	0.7	
	0.0%	1.3%	0.0%	2.6%	5.3%	9.2%	5.3%	11.8%	7.9%	15.8%	7.9%	3.9%	6.6%	3.9%	1.3%	2.6%	3.9%	2.6%	0.0%	0.0%	1.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	100.0%			
計	0	6	4	9	15	30	28	41	21	21	22	12	14	6	8	5	8	4	1	2	1	3	0	1	0	0	10	272	5.4	0.7		
	0.0%	2.2%	1.5%	3.3%	5.5%	11.0%	10.3%	15.1%	7.7%	7.7%	8.1%	4.4%	5.1%	2.2%	2.9%	1.8%	2.9%	1.5%	0.4%	0.7%	0.4%	1.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%				

⑤ クレアチニン

クレアチニンの平均値は、男性0.83mg/dl、0.62mg/dlであった。

なお、基準の上限値を超える者の割合は、男性3.5%、女性5.5%であり、下限値より低い者の割合は、男性6.9%、女性2.2%であった。

図 クレアチニン値の分布

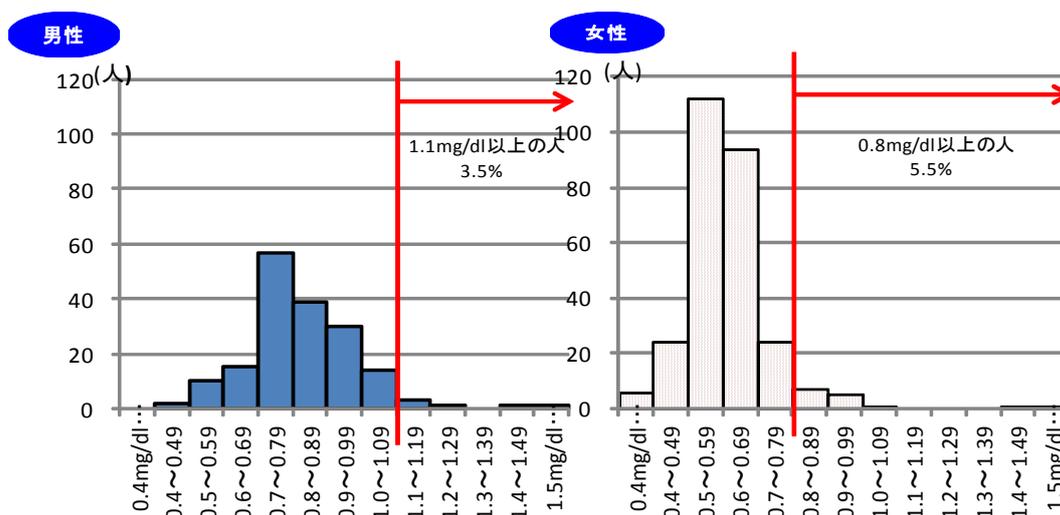


表 クレアチニン値の分布

性別	年齢	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	合計	平均値 mg/dl	標準 偏差
		mg/dl 未満	~ 0.49	~ 0.59	~ 0.69	~ 0.79	~ 0.89	~ 0.99	~ 1.09	~ 1.19	~ 1.29	~ 1.39	~ 1.49	mg/dl 以上			
男性	20~29歳	0	0	0	0	8	6	3	0	0	0	0	0	0	17	0.82	0.10
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	35.3%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	0	1	2	5	6	0	1	0	0	0	0	0	15	0.79	0.13
		0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	33.3%	40.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	0	1	2	0	6	3	4	3	0	0	0	0	0	19	0.82	0.18
		0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	31.6%	15.8%	21.1%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	0	1	2	7	8	7	1	0	0	0	0	0	26	0.83	0.11
		0.0%	0.0%	3.8%	7.7%	26.9%	30.8%	26.9%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
60~69歳	0	1	3	4	15	6	7	0	2	0	0	0	0	38	0.79	0.15	
	0.0%	2.6%	7.9%	10.5%	39.5%	15.8%	18.4%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
70歳以上	0	0	3	7	16	10	9	9	1	1	0	1	1	58	0.88	0.25	
	0.0%	0.0%	5.2%	12.1%	27.6%	17.2%	15.5%	15.5%	1.7%	1.7%	0.0%	1.7%	1.7%	100.0%			
計	0	2	10	15	57	39	30	14	3	1	0	1	1	173	0.83	0.18	
	0.0%	1.2%	5.8%	8.7%	32.9%	22.5%	17.3%	8.1%	1.7%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%	100.0%			
女性	20~29歳	0	1	7	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0.62	0.10
		0.0%	6.3%	43.8%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	3	5	13	12	1	0	1	0	0	0	0	0	0	35	0.57	0.12
		8.6%	14.3%	37.1%	34.3%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	0	3	16	14	3	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0.59	0.07
		0.0%	8.3%	44.4%	38.9%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	2	1	23	15	3	2	0	0	0	0	0	0	0	46	0.60	0.09
		4.3%	2.2%	50.0%	32.6%	6.5%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
60~69歳	0	6	26	26	1	1	3	0	0	0	0	1	0	64	0.61	0.15	
	0.0%	9.4%	40.6%	40.6%	1.6%	1.6%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%			
70歳以上	1	8	27	23	12	4	1	1	0	0	0	0	1	78	0.67	0.40	
	1.3%	10.3%	34.6%	29.5%	15.4%	5.1%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%			
計	6	24	112	94	24	7	5	1	0	0	0	1	1	275	0.62	0.24	
	2.2%	8.7%	40.7%	34.2%	8.7%	2.5%	1.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	100.0%			

⑥ 尿酸

尿酸の平均値は、男性5.8mg/dl、4.4mg/dlであった。

なお、高尿酸血症が強く疑われる者（7.0mg/dl以上の者）の割合は、男性18.7%、女性1.4%であった。

図 尿酸値の分布

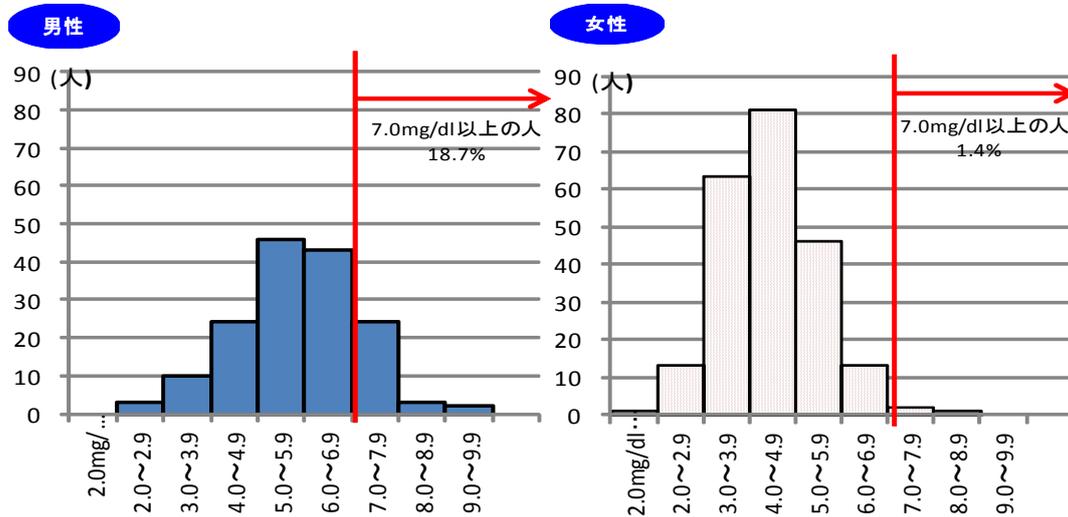


表 尿酸値の分布

性別	年齢	2.0mg/dl未満	2.0~2.9	3.0~3.9	4.0~4.9	5.0~5.9	6.0~6.9	7.0~7.9	8.0~8.9	9.0~9.9	10mg/dl以上	合計	平均値 mg/dl	標準 偏差
男性	20~29歳	0	0	0	1	5	4	4	0	0	0	14	6.1	0.9
		0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	35.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	1	1	1	4	7	1	0	0	0	15	5.6	1.4
		0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	26.7%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	0	0	0	3	3	6	2	1	0	0	15	6.0	1.2
		0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	0	1	3	9	5	4	0	0	0	22	5.8	1.1
		0.0%	0.0%	4.5%	13.6%	40.9%	22.7%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
60~69歳	0	2	5	9	11	5	5	0	0	0	37	5.2	1.4	
	0.0%	5.4%	13.5%	24.3%	29.7%	13.5%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
70歳以上	0	0	3	7	14	16	8	2	2	0	52	6.0	1.3	
	0.0%	0.0%	5.8%	13.5%	26.9%	30.8%	15.4%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%			
計	0	3	10	24	46	43	24	3	2	0	155	5.8	1.3	
		0.0%	1.9%	6.5%	15.5%	29.7%	27.7%	15.5%	1.9%	1.3%	0.0%	100.0%		
女性	20~29歳	0	0	5	8	2	0	0	0	0	0	15	4.3	0.8
		0.0%	0.0%	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	30~39歳	0	2	12	5	4	1	0	0	0	0	24	4.0	1.0
		0.0%	8.3%	50.0%	20.8%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	40~49歳	1	1	7	14	2	0	0	1	0	0	26	4.2	1.2
		3.8%	3.8%	26.9%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
	50~59歳	0	2	15	11	10	3	0	0	0	0	41	4.4	1.0
		0.0%	4.9%	36.6%	26.8%	24.4%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
60~69歳	0	2	14	24	11	3	0	0	0	0	54	4.5	0.9	
	0.0%	3.7%	25.9%	44.4%	20.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
70歳以上	0	6	10	19	17	6	2	0	0	0	60	4.7	1.2	
	0.0%	10.0%	16.7%	31.7%	28.3%	10.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
計	1	13	63	81	46	13	2	1	0	0	220	4.4	1.1	
	0.5%	5.9%	28.6%	36.8%	20.9%	5.9%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%			

(2) 栄養摂取状況調査

(I) 食塩摂取量について

成人（20歳以上）の1人1日当たり食塩摂取量の平均値は、おおよそ10.2gであった。最も多く摂取しているのは、男性では50歳代の12.0g、女性では60歳代の10.3gであった。

なお、日本人の食事摂取基準（2010年版）における成人1人1日あたりの目標量は、男性9.0g未満、女性7.5g未満であり、男女とも超えている。

図-1 食塩摂取量（性・年齢階級別）

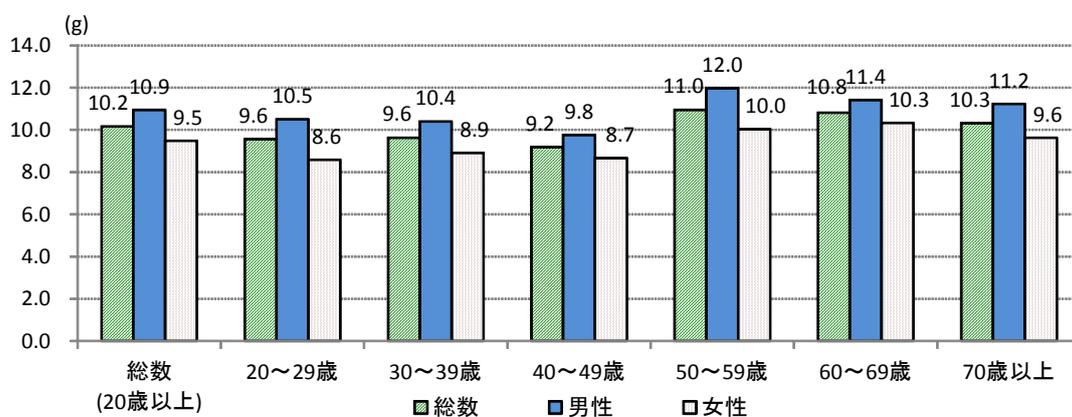


表-1 食塩摂取量（性・年齢階級別）

		総数 (20歳以上)	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査 人員	総数	772	84	101	122	124	144	197
	男性	359	43	49	58	59	65	85
	女性	413	41	52	64	65	79	112
食塩 摂取 量	総数	10.2	9.6	9.6	9.2	11.0	10.8	10.3
	男性	10.9	10.5	10.4	9.8	12.0	11.4	11.2
	女性	9.5	8.6	8.9	8.7	10.0	10.3	9.6

(Ⅱ) 脂肪エネルギー比率について

1日当たりの総摂取エネルギーに占める脂肪からのエネルギー摂取量の割合が30%以上の者の割合は、成人（20歳以上）において男性では23.1%、女性で32.2%であった。

なお、日本人の食事摂取基準(2010年版)における成人1人1日あたりの目標量の範囲は、男女とも20歳代は20～30%エネルギー、30歳以上は20～25%エネルギーであり、目標量の上限値を超えている者の割合が最も高いのは、男性では30歳代の59.2%、女性では40歳代の70.3%であった。

図-2 脂肪エネルギー比率の分布（性・年齢階級別）

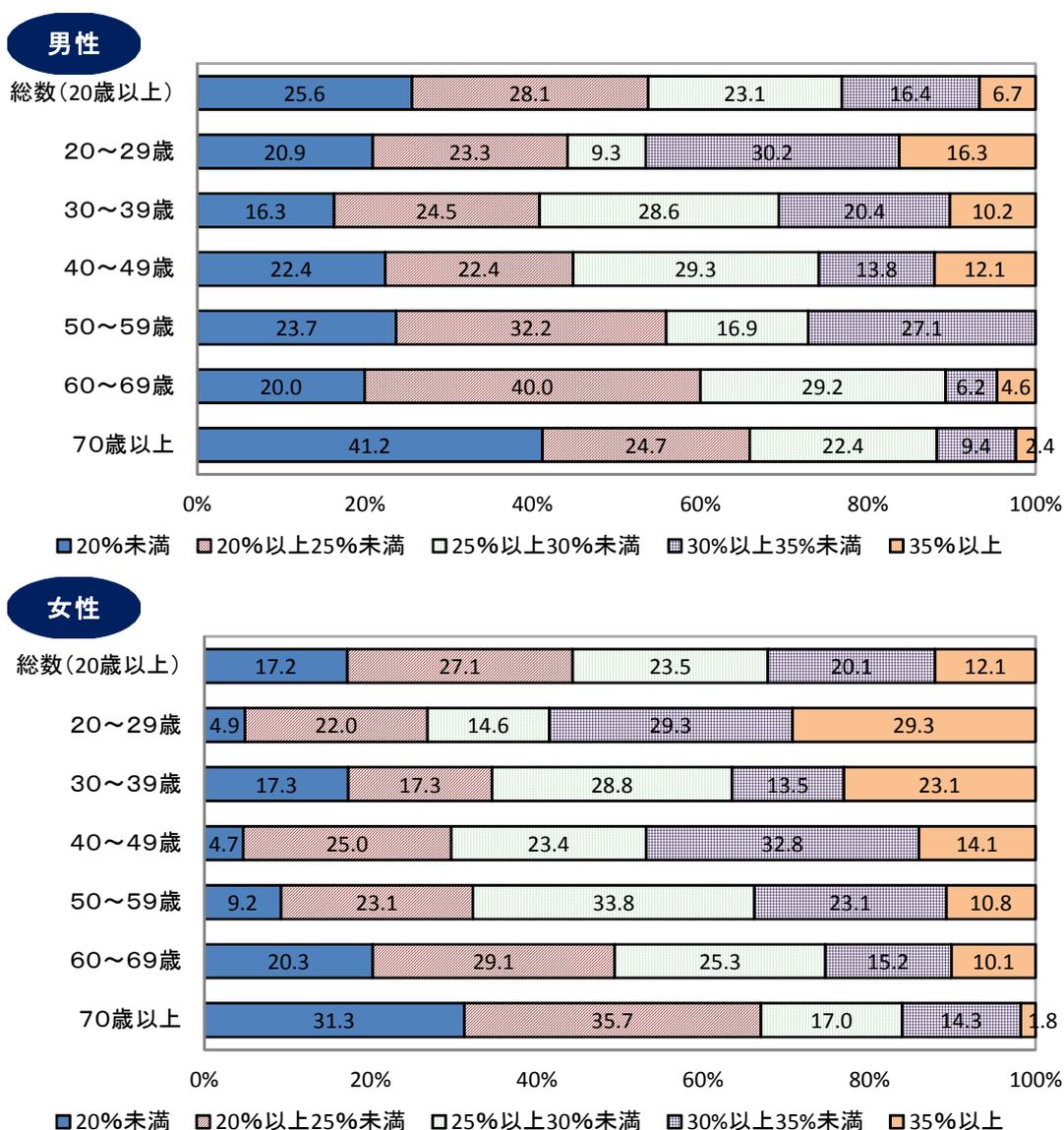


表-2 脂肪エネルギー比率の分布（性・年齢階級別）

性	年齢階級	20%未満	20%以上 25%未満	25%以上 30%未満	30%以上 35%未満	35%以上	合計
男性	20～29歳	9	10	4	13	7	43
		20.9%	23.3%	9.3%	30.2%	16.3%	100.0%
	30～39歳	8	12	14	10	5	49
		16.3%	24.5%	28.6%	20.4%	10.2%	100.0%
	40～49歳	13	13	17	8	7	58
		22.4%	22.4%	29.3%	13.8%	12.1%	100.0%
	50～59歳	14	19	10	16	0	59
		23.7%	32.2%	16.9%	27.1%	0.0%	100.0%
60～69歳	13	26	19	4	3	65	
	20.0%	40.0%	29.2%	6.2%	4.6%	100.0%	
70歳以上	35	21	19	8	2	85	
	41.2%	24.7%	22.4%	9.4%	2.4%	100.0%	
総数 (20歳以上)		92	101	83	59	24	359
		25.6%	28.1%	23.1%	16.4%	6.7%	100.0%
女性	20～29歳	2	9	6	12	12	41
		4.9%	22.0%	14.6%	29.3%	29.3%	100.0%
	30～39歳	9	9	15	7	12	52
		17.3%	17.3%	28.8%	13.5%	23.1%	100.0%
	40～49歳	3	16	15	21	9	64
		4.7%	25.0%	23.4%	32.8%	14.1%	100.0%
	50～59歳	6	15	22	15	7	65
		9.2%	23.1%	33.8%	23.1%	10.8%	100.0%
60～69歳	16	23	20	12	8	79	
	20.3%	29.1%	25.3%	15.2%	10.1%	100.0%	
70歳以上	35	40	19	16	2	112	
	31.3%	35.7%	17.0%	14.3%	1.8%	100.0%	
総数 (20歳以上)		71	112	97	83	50	413
		17.2%	27.1%	23.5%	20.1%	12.1%	100.0%

(Ⅲ) カルシウム摂取量について

成人（20歳以上）の1人1日当たりカルシウム摂取量の平均値は、男性では523.5mg、女性で520.4mgあった。

最も多く摂取しているのは、男性は70歳代の629.0mg、女性では60歳代の587.8mgであった。

なお、日本人の食事摂取基準(2010年版)における推奨量よりは、すべての性・年齢階級において少なかった。

図-3-1 カルシウム摂取量（性・年齢階級別）

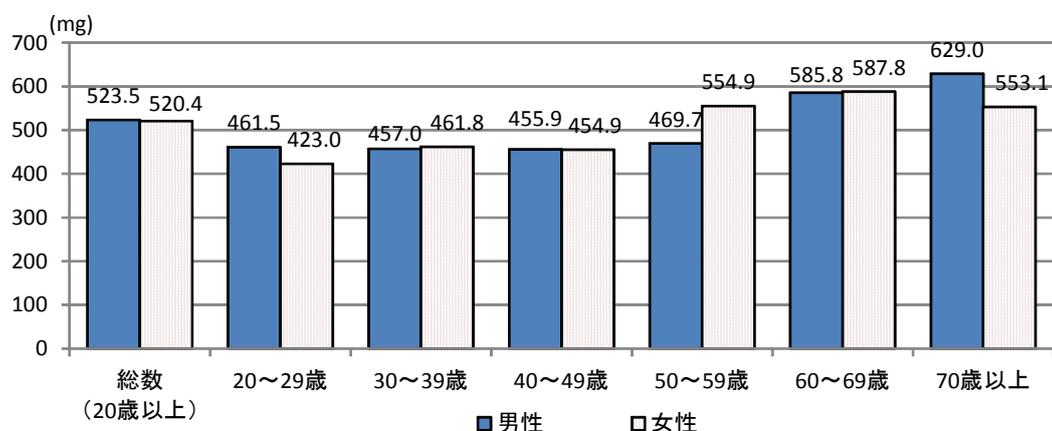


表-3-1 カルシウム摂取量（性・年齢階級別）

		総数 (20歳以上)	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査人員	男性	359	43	49	58	59	65	85
	女性	413	41	52	64	65	79	112
カルシウム 摂取量	男性	523.5	461.5	457.0	455.9	469.7	585.8	629.0
	女性	520.4	423.0	461.8	454.9	554.9	587.8	553.1

【参考：日本人の食事摂取基準（2010年版）におけるカルシウム摂取推奨量(mg)】

	18～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳以上
男性	800	650	700	700
女性	650	650	650	600

図-3-2 カルシウム摂取量の分布（性別）

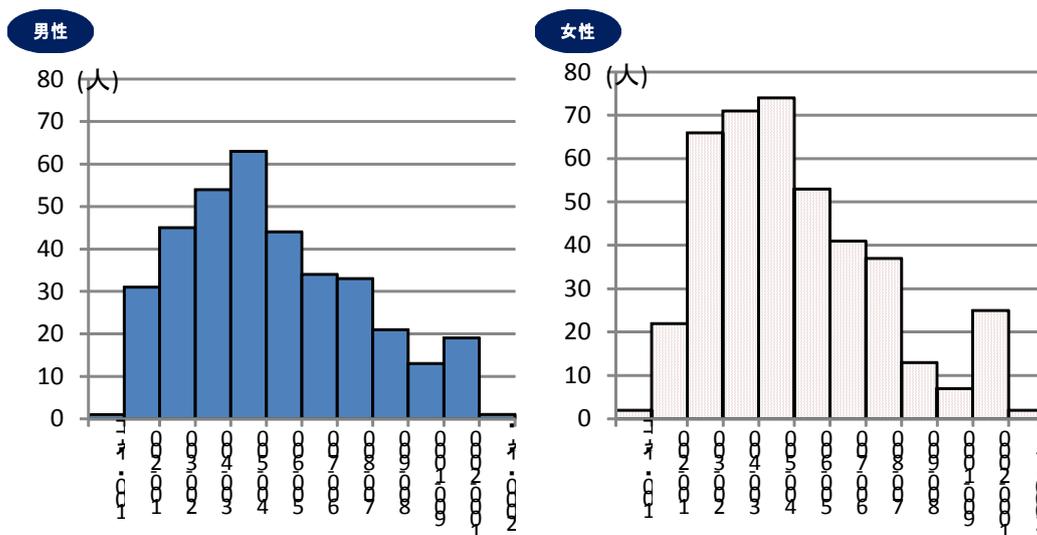


図-3-2 カルシウム摂取量の分布（性別）

	100以下	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-700	700-800	800-900	900-1000	1000-2000	2000以上	総計
男性	1	31	45	54	63	44	34	33	21	13	19	1	359
	0.3%	8.6%	12.5%	15.0%	17.5%	12.3%	9.5%	9.2%	5.8%	3.6%	5.3%	0.3%	100.0%
女性	2	22	66	71	74	53	41	37	13	7	25	2	413
	0.5%	5.3%	16.0%	17.2%	17.9%	12.8%	9.9%	9.0%	3.1%	1.7%	6.1%	0.5%	100.0%

(IV) 野菜摂取量について

成人（20歳以上）の1人1日当たり野菜摂取量の平均値は、男女とも300.0g以下であった。

最も多く摂取しているのは、男女とも60歳代で、それぞれ301.7g、300.5gであった。

なお、きょうと健やか21における野菜摂取量の目標量は、1日当たりの平均摂取量350.0g以上であり、男女とも不足していた。

図-4-1 野菜摂取量（性・年齢階級別）

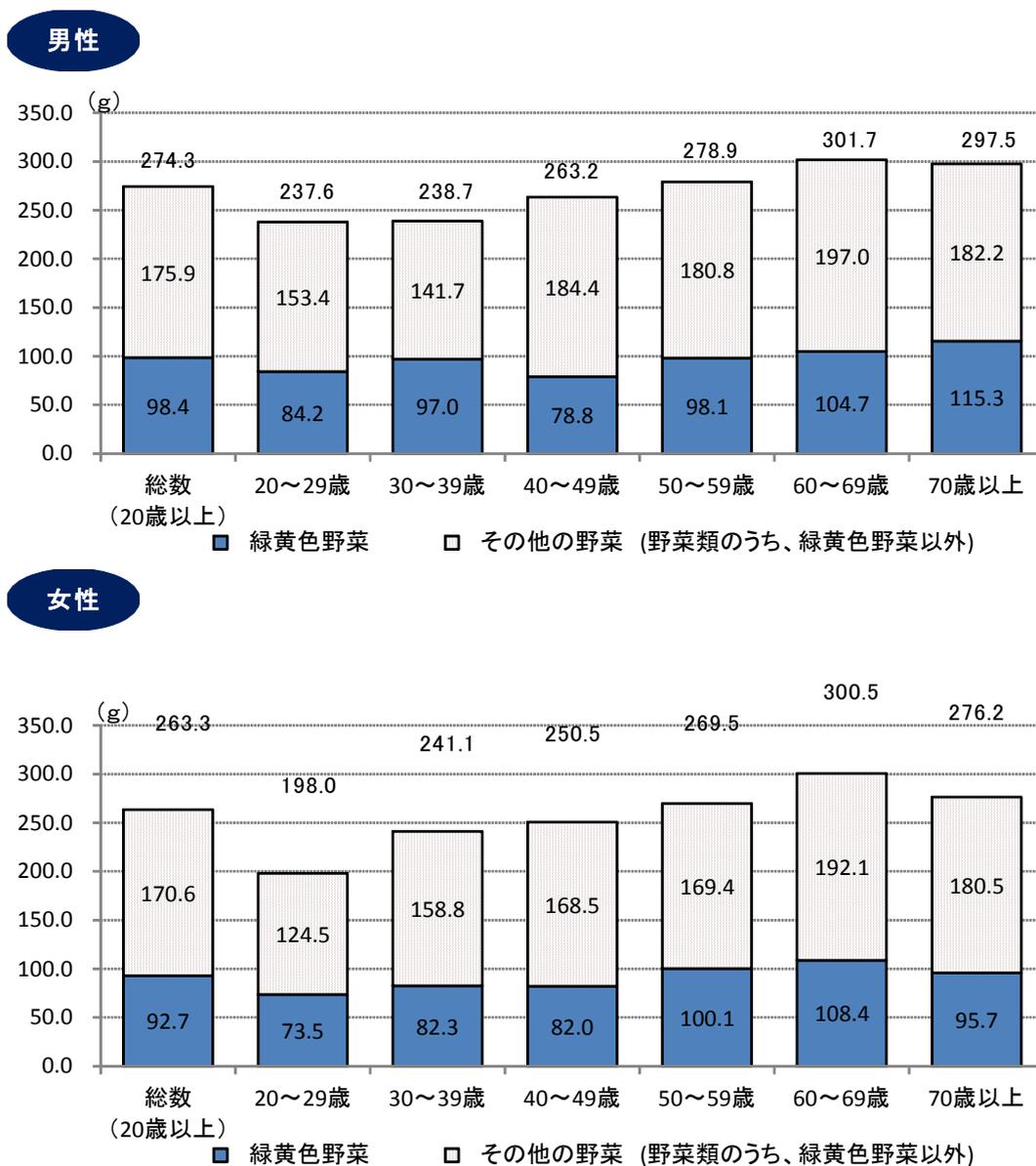


表-4-1 野菜摂取量（性・年齢階級別）

		総数 (20歳以上)	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査人員	総数	772	84	101	122	124	144	197
	男性	359	43	49	58	59	65	85
	女性	413	41	52	64	65	79	112
男性	野菜類	274.3	237.6	238.7	263.2	278.9	301.7	297.5
	緑黄色野菜	98.4	84.2	97.0	78.8	98.1	104.7	115.3
	その他の野菜 (野菜類のうち、緑黄色野菜以外)	175.9	153.4	141.7	184.4	180.8	197.0	182.2
	その他の野菜	153.3	141.0	123.6	163.9	157.1	161.2	161.0
	野菜ジュース	10.5	3.6	11.3	15.1	8.9	17.3	6.3
	漬け物	12.1	8.8	6.8	5.4	14.8	18.5	14.9
女性	野菜類	263.3	198.0	241.1	250.5	269.5	300.5	276.2
	緑黄色野菜	92.7	73.5	82.3	82.0	100.1	108.4	95.7
	その他の野菜 (野菜類のうち、緑黄色野菜以外)	170.6	124.5	158.8	168.5	169.4	192.1	180.5
	その他の野菜	150.1	116.0	144.2	139.8	159.3	161.8	158.3
	野菜ジュース	10.2	4.7	9.8	22.3	2.5	13.7	7.4
	漬け物	10.3	3.8	4.8	6.4	7.6	16.6	14.8

【参考】

アンケート調査における「野菜をたっぷり使った料理の摂取頻度」は、下記のとおりであった。

図-4-2 野菜たっぷり使った料理の摂取頻度（性・年齢階級別）

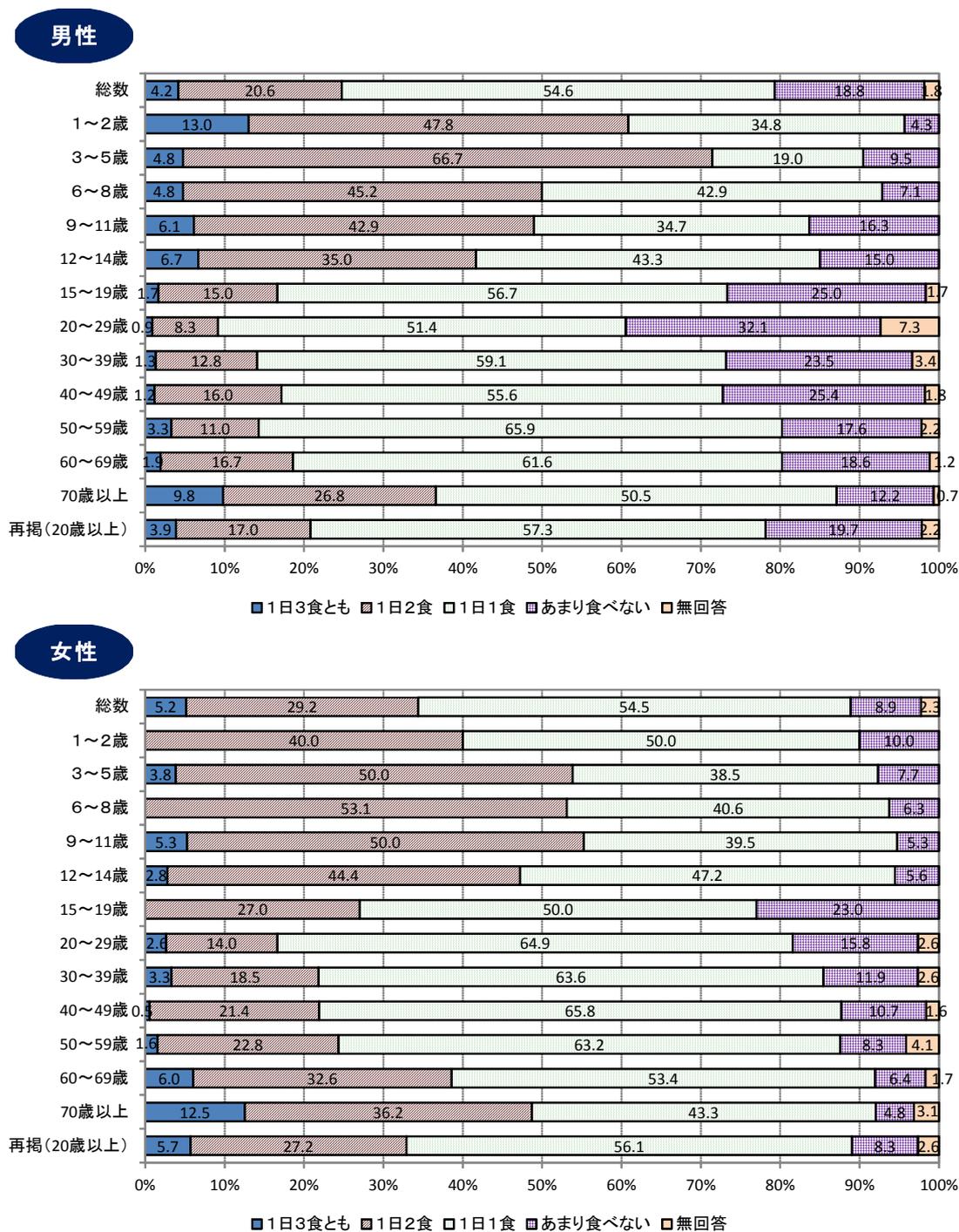


表-4-2 野菜たっぷり使った料理の摂取頻度（性・年齢階級別）

性	年齢階級	1日3食とも	1日2食	1日1食	あまり 食べない	無回答	合計	
男性	1～2歳	3 13.0%	11 47.8%	8 34.8%	1 4.3%	0 0.0%	23 100.0%	
	3～5歳	1 4.8%	14 66.7%	4 19.0%	2 9.5%	0 0.0%	21 100.0%	
	6～8歳	2 4.8%	19 45.2%	18 42.9%	3 7.1%	0 0.0%	42 100.0%	
	9～11歳	3 6.1%	21 42.9%	17 34.7%	8 16.3%	0 0.0%	49 100.0%	
	12～14歳	4 6.7%	21 35.0%	26 43.3%	9 15.0%	0 0.0%	60 100.0%	
	15～19歳	1 1.7%	9 15.0%	34 56.7%	15 25.0%	1 1.7%	60 100.0%	
	20～29歳	1 0.9%	9 8.3%	56 51.4%	35 32.1%	8 7.3%	109 100.0%	
	30～39歳	2 1.3%	19 12.8%	88 59.1%	35 23.5%	5 3.4%	149 100.0%	
	40～49歳	2 1.2%	27 16.0%	94 55.6%	43 25.4%	3 1.8%	169 100.0%	
	50～59歳	6 3.3%	20 11.0%	120 65.9%	32 17.6%	4 2.2%	182 100.0%	
	60～69歳	5 1.9%	43 16.7%	159 61.6%	48 18.6%	3 1.2%	258 100.0%	
	70歳以上	29 9.8%	79 26.8%	149 50.5%	36 12.2%	2 0.7%	295 100.0%	
	総数	59 4.2%	292 20.6%	773 54.6%	267 18.8%	26 1.8%	1,417 100.0%	
	再掲 (20歳以上)	45 3.9%	197 17.0%	666 57.3%	229 19.7%	25 2.2%	1,162 100.0%	
	女性	1～2歳	0 0.0%	4 40.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%
		3～5歳	1 3.8%	13 50.0%	10 38.5%	2 7.7%	0 0.0%	26 100.0%
6～8歳		0 0.0%	17 53.1%	13 40.6%	2 6.3%	0 0.0%	32 100.0%	
9～11歳		2 5.3%	19 50.0%	15 39.5%	2 5.3%	0 0.0%	38 100.0%	
12～14歳		1 2.8%	16 44.4%	17 47.2%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%	
15～19歳		0 0.0%	20 27.0%	37 50.0%	17 23.0%	0 0.0%	74 100.0%	
20～29歳		3 2.6%	16 14.0%	74 64.9%	18 15.8%	3 2.6%	114 100.0%	
30～39歳		5 3.3%	28 18.5%	96 63.6%	18 11.9%	4 2.6%	151 100.0%	
40～49歳		1 0.5%	40 21.4%	123 65.8%	20 10.7%	3 1.6%	187 100.0%	
50～59歳		3 1.6%	44 22.8%	122 63.2%	16 8.3%	8 4.1%	193 100.0%	
60～69歳		18 6.0%	97 32.6%	159 53.4%	19 6.4%	5 1.7%	298 100.0%	
70歳以上		44 12.5%	127 36.2%	152 43.3%	17 4.8%	11 3.1%	351 100.0%	
総数		78 5.2%	441 29.2%	823 54.5%	134 8.9%	34 2.3%	1,510 100.0%	
再掲 (20歳以上)		74 5.7%	352 27.2%	726 56.1%	108 8.3%	34 2.6%	1,294 100.0%	

(V) 果物類の摂取量について

成人（20歳以上）の1人1日当たり果物類摂取量の平均値は、男性96.3g、女性121.6gであった。

最も多く摂取しているのは、男女とも60歳代で、それぞれ140.6g、171.3gであった。
 なお、全く摂取していない者の割合が、男性40.6%、女性28.3%であった。

図-5-1 果物類摂取量（性・年齢階級別）

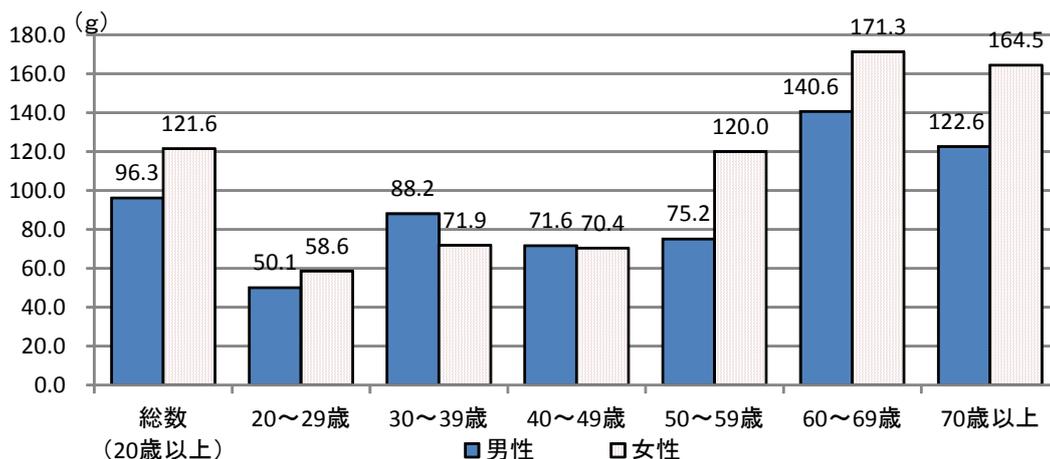


表-5-1 果物類摂取量（性・年齢階級別）

		総数 (20歳以上)	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
調査人員	男性	359	43	49	58	59	65	85
	女性	413	41	52	64	65	79	112
果物類 摂取量	男性	96.3	50.1	88.2	71.6	75.2	140.6	122.6
	女性	121.6	58.6	71.9	70.4	120.0	171.3	164.5

図-5-2 果物類摂取量の分布（性別）

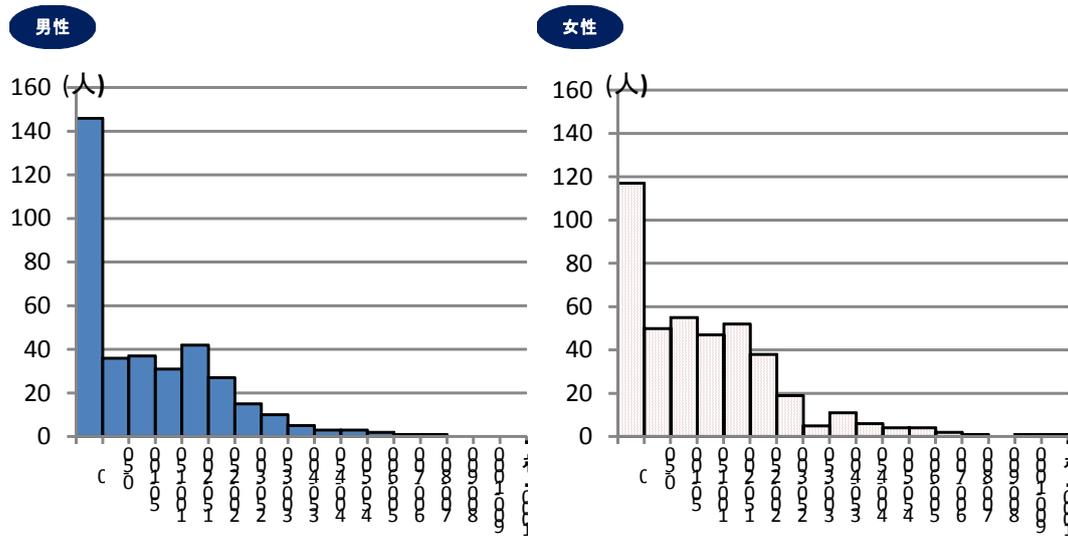


表-5-2 果物類摂取量の分布（性別）

	0g	0-50	50-100	100-150	150-200	200-250	250-300	300-350	350-400	400-450	450-500	500-600	600-700	700-800	800-900	900-1000	1000以上	総計
男性	146	36	37	31	42	27	15	10	5	3	3	2	1	1	0			359
	40.7%	10.0%	10.3%	8.6%	11.7%	7.5%	4.2%	2.8%	1.4%	0.8%	0.8%	0.6%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性	117	50	55	47	52	38	19	5	11	6	4	4	2	1	0	1	1	413
	28.3%	12.1%	13.3%	11.4%	12.6%	9.2%	4.6%	1.2%	2.7%	1.5%	1.0%	1.0%	0.5%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	100.0%

(3) 生活習慣調査

(I) 朝食の欠食について

朝食の欠食率については、男性11.8%、女性8.8%であった。

最も欠食率が高いのは、女性の15～19歳で36.8%であった。また、男性では、20～40歳代で高く、それぞれ28.6%、21.2%、23.0%であった。

※「朝食の欠食」とは

食物摂取状況調査において、調査日の朝食の食事構成の状況が次の3つの場合の合計とした。

- ①菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合
- ②錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンクのみの場合
- ③食事をしなかった場合

図-1-1 朝食の欠食者の割合（性・年齢階級別）

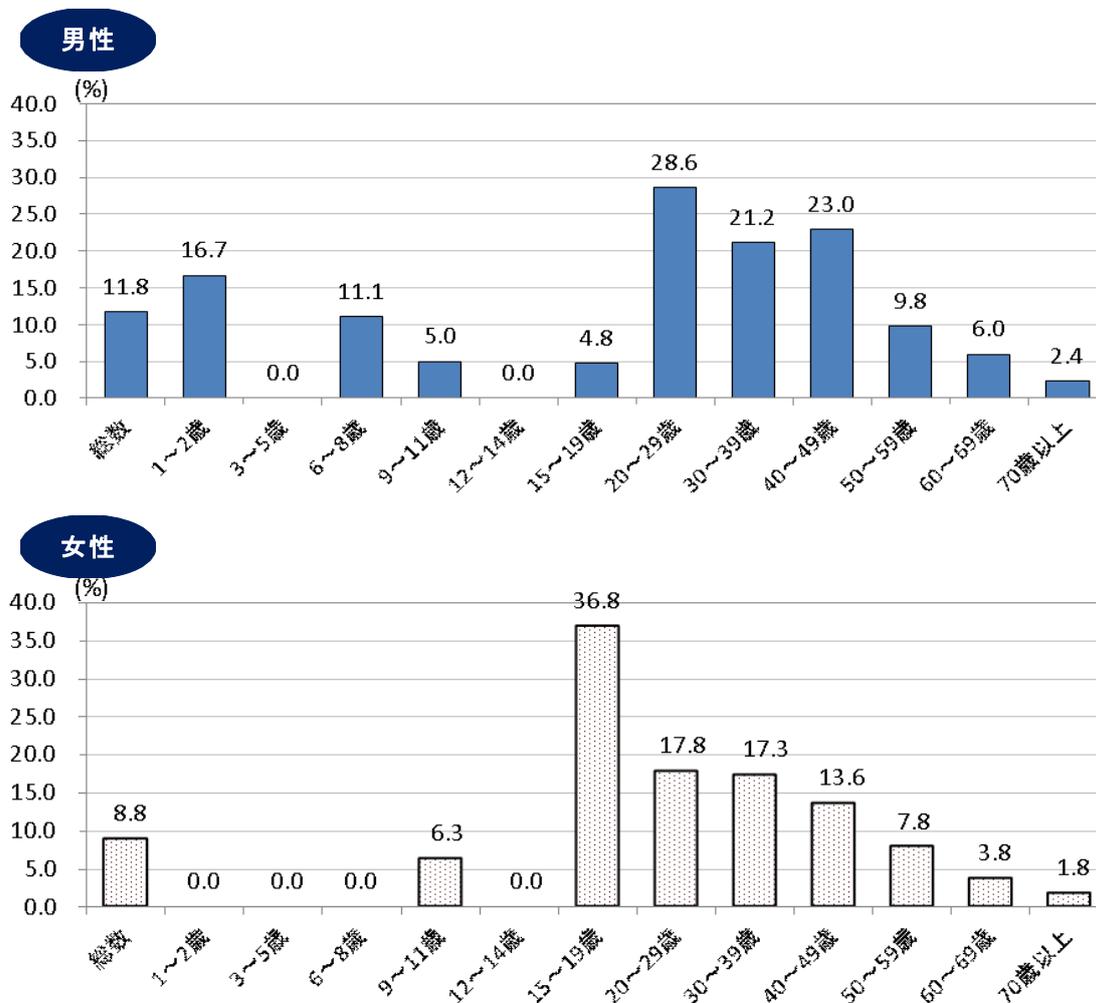


表-1-1 食事構成でみた朝食の喫食状況（性・年齢階級別）

性	年齢	外食・給食	調理済み食	家庭食	欠食				無回答	合計
						菓子・果物 などのみ	錠剤などのみ	何も食べない		
男性	1～2歳	0	1	4	1	1	0	0	0	6
		0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	3～5歳	0	0	8	0	0	0	0	0	8
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	6～8歳	0	1	6	1	1	0	0	1	9
		0.0%	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
	9～11歳	0	3	16	1	1	0	0	0	20
		0.0%	15.0%	80.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	12～14歳	0	0	20	0	0	0	0	0	20
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	15～19歳	0	0	17	1	1	0	0	3	21
		0.0%	0.0%	81.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%
	20～29歳	0	5	24	12	5	1	6	1	42
		0.0%	11.9%	57.1%	28.6%	11.9%	2.4%	14.3%	2.4%	100.0%
30～39歳	0	4	34	11	3	0	8	3	52	
	0.0%	7.7%	65.4%	21.2%	5.8%	0.0%	15.4%	5.8%	100.0%	
40～49歳	2	4	36	14	9	0	5	5	61	
	3.3%	6.6%	59.0%	23.0%	14.8%	0.0%	8.2%	8.2%	100.0%	
50～59歳	4	4	46	6	2	0	4	1	61	
	6.6%	6.6%	75.4%	9.8%	3.3%	0.0%	6.6%	1.6%	100.0%	
60～69歳	1	1	58	4	3	0	1	3	67	
	1.5%	1.5%	86.6%	6.0%	4.5%	0.0%	1.5%	4.5%	100.0%	
70歳以上	2	6	72	2	2	0	0	2	84	
	2.4%	7.1%	85.7%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	100.0%	
総数	9	29	341	53	28	1	24	19	451	
	2.0%	6.4%	75.6%	11.8%	6.2%	0.2%	5.3%	4.2%	100.0%	
女性	1～2歳	0	1	8	0	0	0	0	0	9
		0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	3～5歳	0	3	8	0	0	0	0	0	11
		0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	6～8歳	0	3	14	0	0	0	0	0	17
		0.0%	17.6%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	9～11歳	0	2	13	1	1	0	0	0	16
		0.0%	12.5%	81.3%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	12～14歳	0	1	7	0	0	0	0	1	9
		0.0%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
	15～19歳	0	0	11	7	2	0	5	1	19
		0.0%	0.0%	57.9%	36.8%	10.5%	0.0%	26.3%	5.3%	100.0%
	20～29歳	2	3	27	8	5	0	3	5	45
		4.4%	6.7%	60.0%	17.8%	11.1%	0.0%	6.7%	11.1%	100.0%
30～39歳	1	6	36	9	6	1	2	0	52	
	1.9%	11.5%	69.2%	17.3%	11.5%	1.9%	3.8%	0.0%	100.0%	
40～49歳	2	3	50	9	7	0	2	2	66	
	3.0%	4.5%	75.8%	13.6%	10.6%	0.0%	3.0%	3.0%	100.0%	
50～59歳	3	9	46	5	5	0	0	1	64	
	4.7%	14.1%	71.9%	7.8%	7.8%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%	
60～69歳	2	2	73	3	3	0	0	0	80	
	2.5%	2.5%	91.3%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
70歳以上	1	5	103	2	1	0	1	1	112	
	0.9%	4.5%	92.0%	1.8%	0.9%	0.0%	0.9%	0.9%	100.0%	
総数	11	38	396	44	30	1	13	11	500	
	2.2%	7.6%	79.2%	8.8%	6.0%	0.2%	2.6%	2.2%	100.0%	

【参考】

きょうと健やか21における指標における「毎日朝食喫食者」は、アンケート調査において、「朝食をとっていますか」の問いに「毎日」と回答した者とし、その割合は、男性81.0%、女性88.7%であった。最も低かったのは、男女とも20歳代で、それぞれ44.0%、66.7%であった。

図-1-2 朝食の喫食状況（性・年齢階級別）

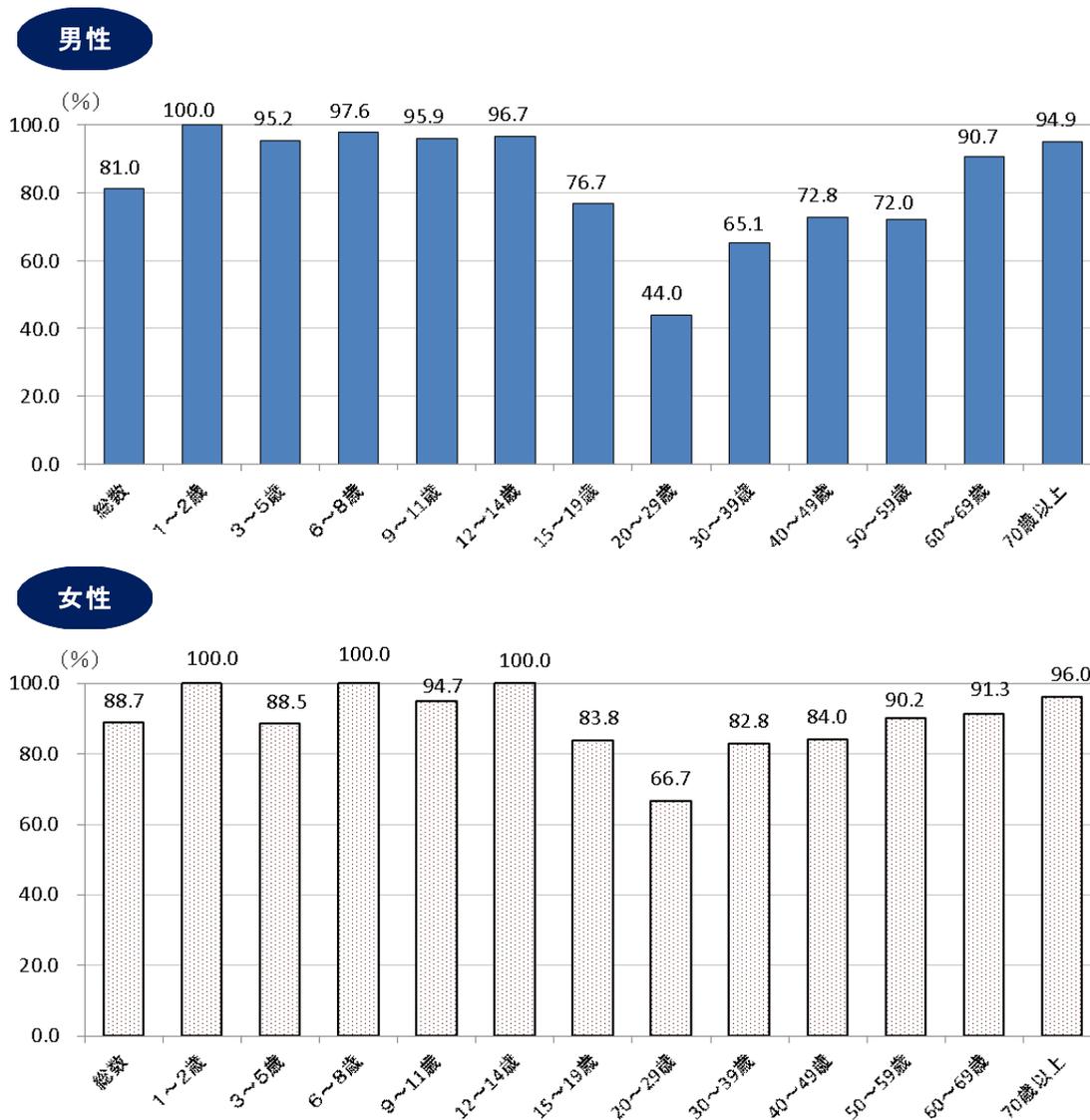


表-1-2 朝食の喫食状況（性・年齢階級別）

性	年齢階級	毎日	週に3~5回	週に1~2回	ほとんど食べない	食べない	無回答	合計
男性	1~2歳	23	0	0	0	0	0	23
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	3~5歳	20	0	0	0	0	1	21
		95.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
	6~8歳	41	0	0	1	0	0	42
		97.6%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
	9~11歳	47	1	0	1	0	0	49
		95.9%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	12~14歳	58	2	0	0	0	0	60
		96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	15~19歳	46	5	2	6	1	0	60
		76.7%	8.3%	3.3%	10.0%	1.7%	0.0%	100.0%
	20~29歳	48	28	5	17	11	0	109
		44.0%	25.7%	4.6%	15.6%	10.1%	0.0%	100.0%
	30~39歳	97	24	6	9	9	4	149
65.1%		16.1%	4.0%	6.0%	6.0%	2.7%	100.0%	
40~49歳	123	16	6	11	12	1	169	
	72.8%	9.5%	3.6%	6.5%	7.1%	0.6%	100.0%	
50~59歳	131	12	9	17	11	2	182	
	72.0%	6.6%	4.9%	9.3%	6.0%	1.1%	100.0%	
60~69歳	234	10	4	6	4	0	258	
	90.7%	3.9%	1.6%	2.3%	1.6%	0.0%	100.0%	
70歳以上	280	3	5	1	4	2	295	
	94.9%	1.0%	1.7%	0.3%	1.4%	0.7%	100.0%	
合計	1,148	101	37	69	52	10	1,417	
		81.0%	7.1%	2.6%	4.9%	3.7%	0.7%	100.0%
女性	1~2歳	10	0	0	0	0	0	10
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	3~5歳	23	1	0	1	0	1	26
		88.5%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	100.0%
	6~8歳	32	0	0	0	0	0	32
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	9~11歳	36	2	0	0	0	0	38
		94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	12~14歳	36	0	0	0	0	0	36
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	15~19歳	62	6	0	4	2	0	74
		83.8%	8.1%	0.0%	5.4%	2.7%	0.0%	100.0%
	20~29歳	76	16	7	10	5	0	114
		66.7%	14.0%	6.1%	8.8%	4.4%	0.0%	100.0%
	30~39歳	125	14	5	6	1	0	151
82.8%		9.3%	3.3%	4.0%	0.7%	0.0%	100.0%	
40~49歳	157	14	7	6	2	1	187	
	84.0%	7.5%	3.7%	3.2%	1.1%	0.5%	100.0%	
50~59歳	174	12	1	6	0	0	193	
	90.2%	6.2%	0.5%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
60~69歳	272	12	1	5	4	4	298	
	91.3%	4.0%	0.3%	1.7%	1.3%	1.3%	100.0%	
70歳以上	337	2	1	1	2	8	351	
	96.0%	0.6%	0.3%	0.3%	0.6%	2.3%	100.0%	
合計	1,340	79	22	39	16	14	1,510	
		88.7%	5.2%	1.5%	2.6%	1.1%	0.9%	100.0%

(Ⅱ)睡眠による休養について

睡眠による休養が不足している者の割合は、男性22.2%、女性22.6%であった。
最も割合が高いのは、男性では40歳代の39.6%、女性では15～19歳の36.4%であった。

※「睡眠による休養が不足している者」とは

アンケート調査において、「最近1ヶ月間に睡眠で休養が十分とれていますか」の問いに「あまりとれていない」、「まったくとれていない」と回答した者とした。

図-2-1 睡眠による休養が不足している者の割合（性・年齢階級別）

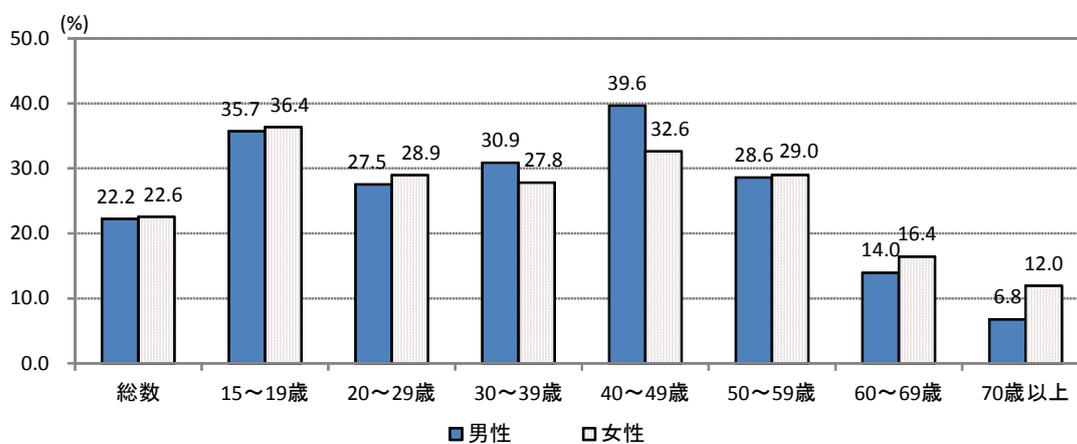
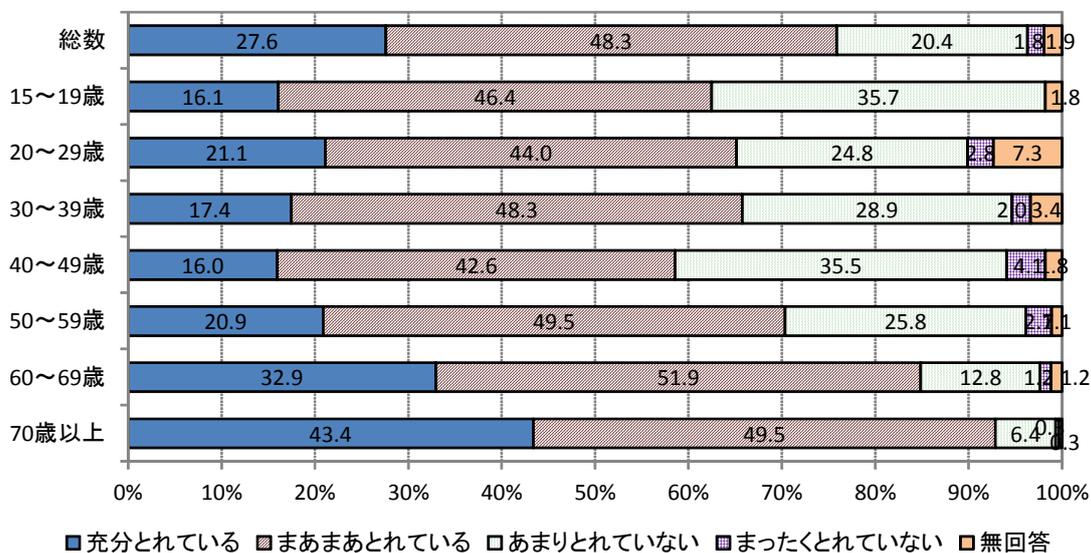


表-2-1 睡眠による休養の状況（性・年齢階級別）

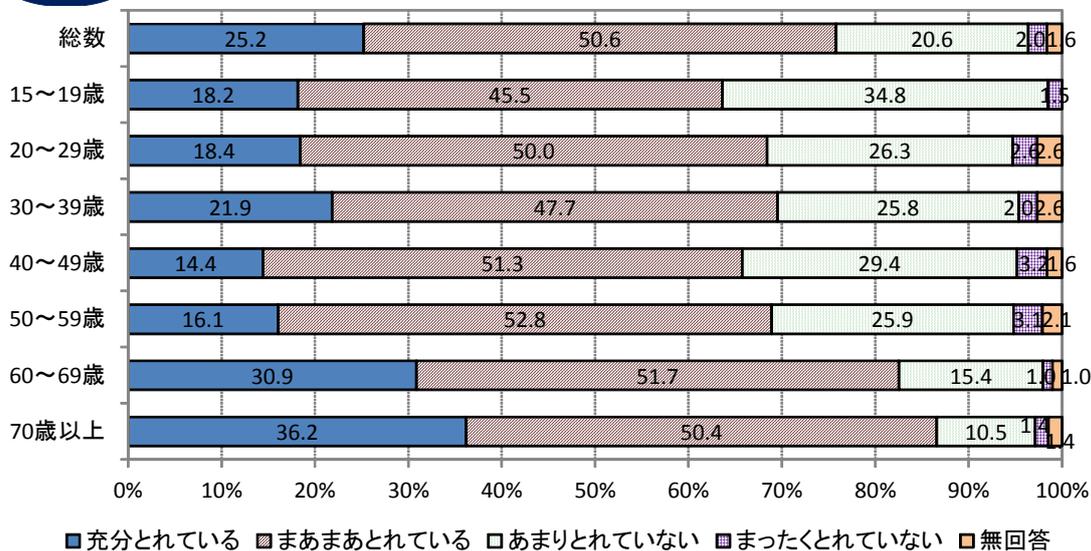
性	年齢階級	充分とれている	まあまあとれている	睡眠による休養が不足している者			無回答	合計
					あまりとれていない	まったくとれていない		
男性	15～19歳	9	26	20	20	0	1	56
		16.1%	46.4%	35.7%	35.7%	0.0%	1.8%	100.0%
	20～29歳	23	48	30	27	3	8	109
		21.1%	44.0%	27.5%	24.8%	2.8%	7.3%	100.0%
	30～39歳	26	72	46	43	3	5	149
		17.4%	48.3%	30.9%	28.9%	2.0%	3.4%	100.0%
	40～49歳	27	72	67	60	7	3	169
		16.0%	42.6%	39.6%	35.5%	4.1%	1.8%	100.0%
	50～59歳	38	90	52	47	5	2	182
20.9%		49.5%	28.6%	25.8%	2.7%	1.1%	100.0%	
60～69歳	85	134	36	33	3	3	258	
	32.9%	51.9%	14.0%	12.8%	1.2%	1.2%	100.0%	
70歳以上	128	146	20	19	1	1	295	
	43.4%	49.5%	6.8%	6.4%	0.3%	0.3%	100.0%	
合計	336	588	271	249	22	23	1,218	
	27.6%	48.3%	22.2%	20.4%	1.8%	1.9%	100.0%	
女性	15～19歳	12	30	24	23	1	0	66
		18.2%	45.5%	36.4%	34.8%	1.5%	0.0%	100.0%
	20～29歳	21	57	33	30	3	3	114
		18.4%	50.0%	28.9%	26.3%	2.6%	2.6%	100.0%
	30～39歳	33	72	42	39	3	4	151
		21.9%	47.7%	27.8%	25.8%	2.0%	2.6%	100.0%
	40～49歳	27	96	61	55	6	3	187
		14.4%	51.3%	32.6%	29.4%	3.2%	1.6%	100.0%
	50～59歳	31	102	56	50	6	4	193
16.1%		52.8%	29.0%	25.9%	3.1%	2.1%	100.0%	
60～69歳	92	154	49	46	3	3	298	
	30.9%	51.7%	16.4%	15.4%	1.0%	1.0%	100.0%	
70歳以上	127	177	42	37	5	5	351	
	36.2%	50.4%	12.0%	10.5%	1.4%	1.4%	100.0%	
合計	343	688	307	280	27	22	1,360	
	25.2%	50.6%	22.6%	20.6%	2.0%	1.6%	100.0%	

図-2-2 睡眠による休養の状況（性・年齢階級別）

男性



女性



(Ⅲ)睡眠の質について

眠れないことが頻繁にあった者の割合は、男性8.0%、女性10.1%であった。

※「眠れないことが頻繁にあった者」とは

アンケート調査において、「最近1ヶ月間に寢床に入っても寝つきが悪い、途中で目が覚める、熟睡できないなど、眠れないことがありましたか」の問いに「頻繁にある」と回答した者とした。

図-3-1 眠れないことが頻繁にあった者の割合（性・年齢階級別）

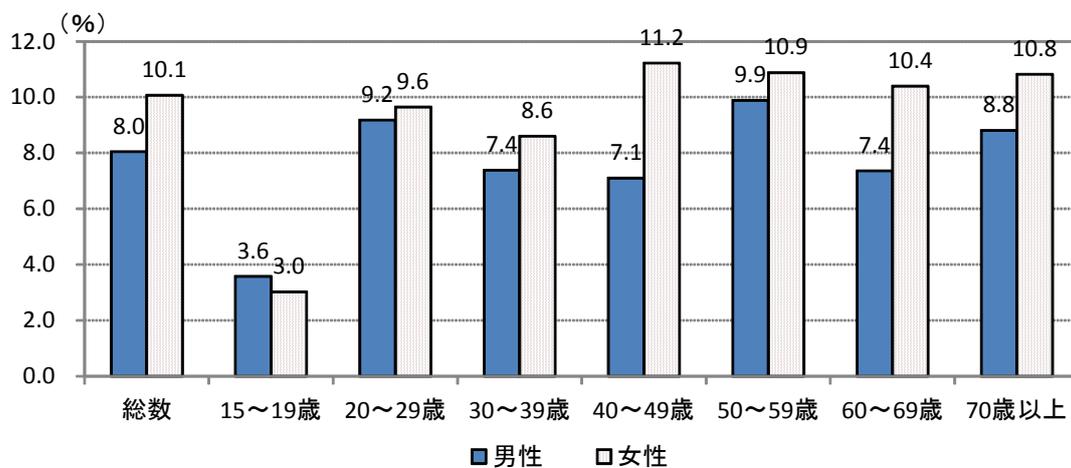
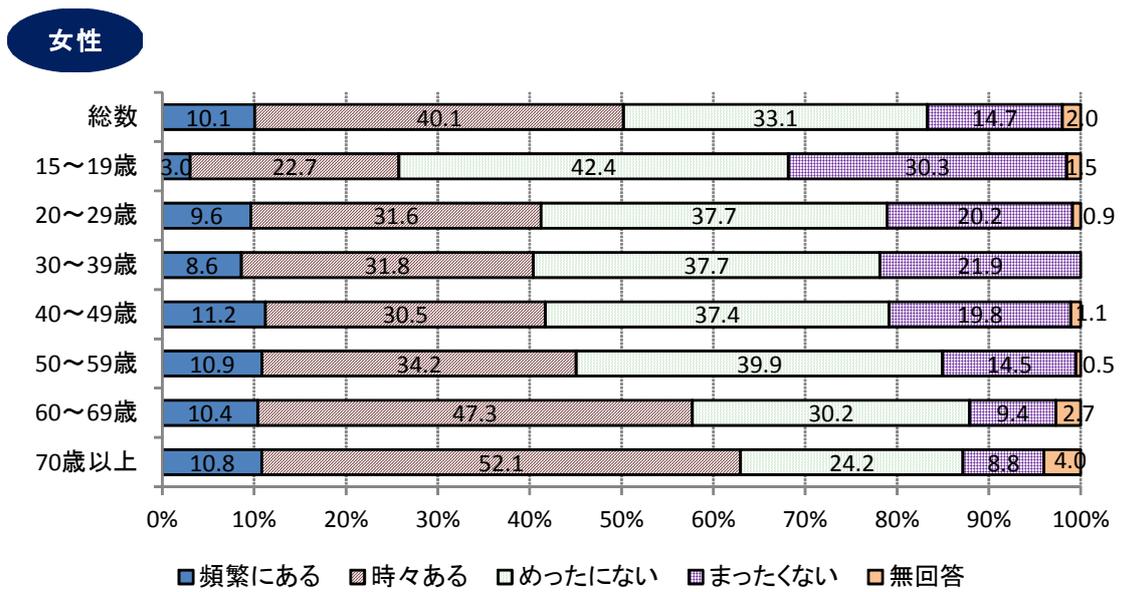
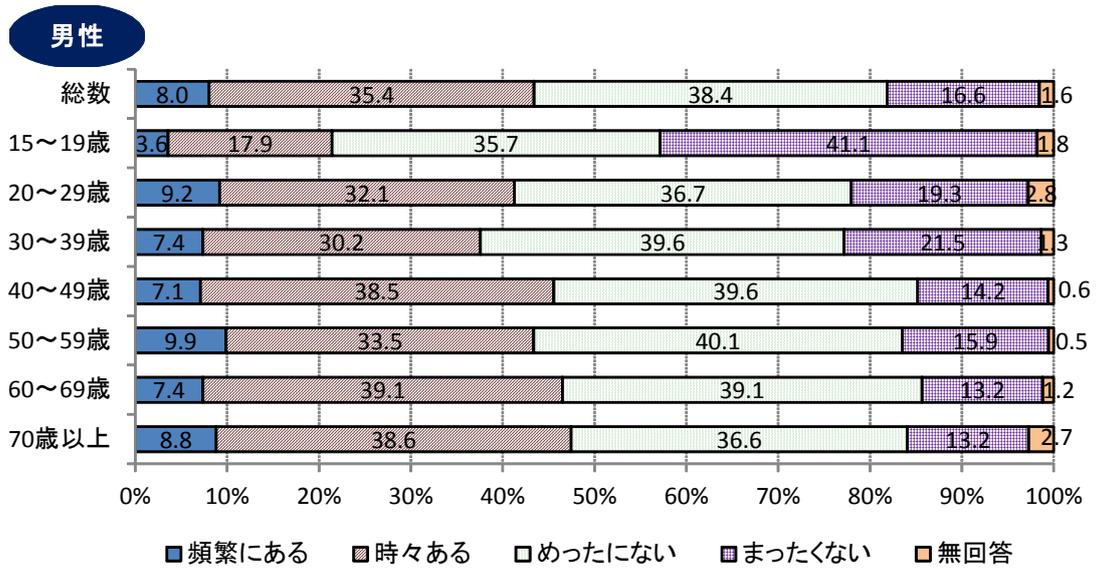


表-3-1 睡眠による休養の状況（性・年齢階級別）

性	年齢階級	頻繁にある	時々ある	めったにない	まったくない	無回答	合計
男性	15～19歳	2	10	20	23	1	56
		3.6%	17.9%	35.7%	41.1%	1.8%	100.0%
	20～29歳	10	35	40	21	3	109
		9.2%	32.1%	36.7%	19.3%	2.8%	100.0%
	30～39歳	11	45	59	32	2	149
		7.4%	30.2%	39.6%	21.5%	1.3%	100.0%
	40～49歳	12	65	67	24	1	169
		7.1%	38.5%	39.6%	14.2%	0.6%	100.0%
50～59歳	18	61	73	29	1	182	
	9.9%	33.5%	40.1%	15.9%	0.5%	100.0%	
60～69歳	19	101	101	34	3	258	
	7.4%	39.1%	39.1%	13.2%	1.2%	100.0%	
70歳以上	26	114	108	39	8	295	
	8.8%	38.6%	36.6%	13.2%	2.7%	100.0%	
総数	98	431	468	202	19	1,218	
	8.0%	35.4%	38.4%	16.6%	1.6%	100.0%	
女性	15～19歳	2	15	28	20	1	66
		3.0%	22.7%	42.4%	30.3%	1.5%	100.0%
	20～29歳	11	36	43	23	1	114
		9.6%	31.6%	37.7%	20.2%	0.9%	100.0%
	30～39歳	13	48	57	33	0	151
		8.6%	31.8%	37.7%	21.9%	0.0%	100.0%
	40～49歳	21	57	70	37	2	187
		11.2%	30.5%	37.4%	19.8%	1.1%	100.0%
50～59歳	21	66	77	28	1	193	
	10.9%	34.2%	39.9%	14.5%	0.5%	100.0%	
60～69歳	31	141	90	28	8	298	
	10.4%	47.3%	30.2%	9.4%	2.7%	100.0%	
70歳以上	38	183	85	31	14	351	
	10.8%	52.1%	24.2%	8.8%	4.0%	100.0%	
総数	137	546	450	200	27	1,360	
	10.1%	40.1%	33.1%	14.7%	2.0%	100.0%	

図-3-2 睡眠の質の状況（性・年齢階級別）



(IV) ストレスの状況について

ストレスを感じた者の割合は、男55.0%、女性64.9%であった。

男性では40歳代、女性では20～50歳代の者のおおよそ7割の者がストレスを感じていた。

※「ストレスを感じた者」とは

アンケート調査において、「最近1ヶ月間にストレスを感じたことがありますか」の問いに「大いにある」「多少ある」と回答した者とした。

図-4-1 ストレスを感じた者の割合（性・年齢階級別）

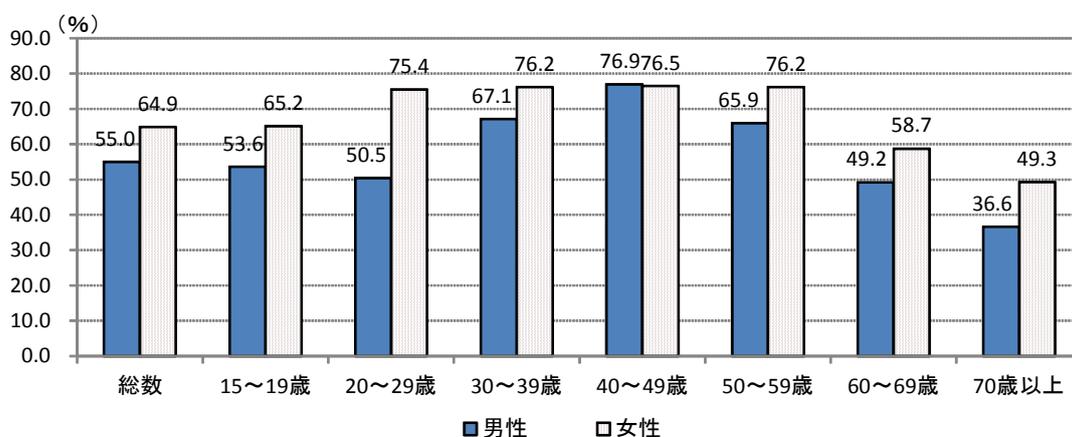
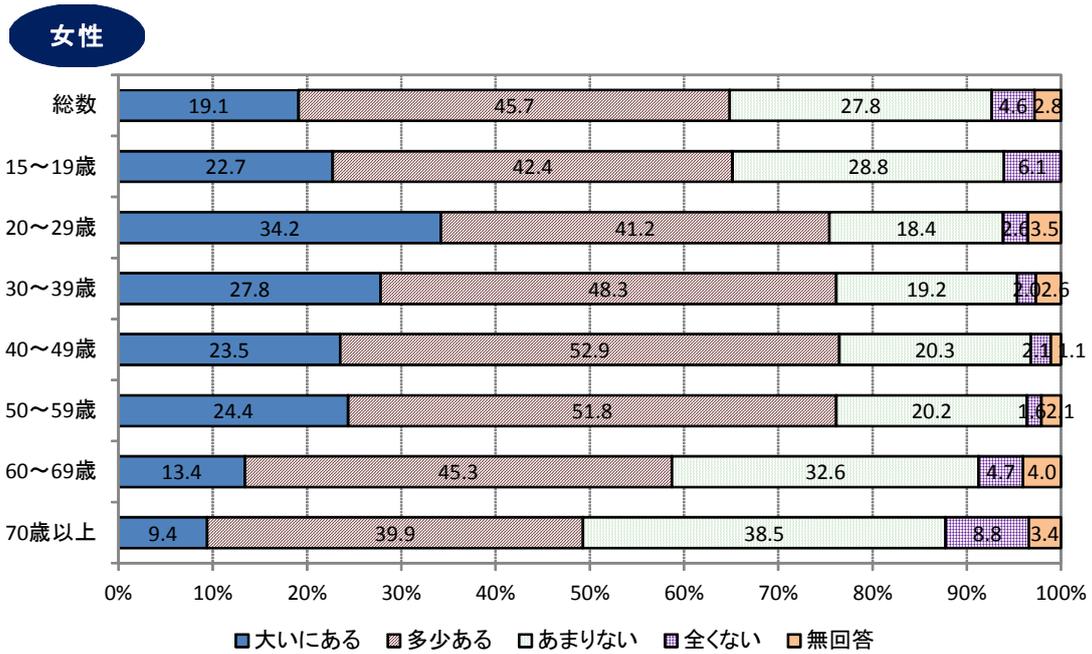
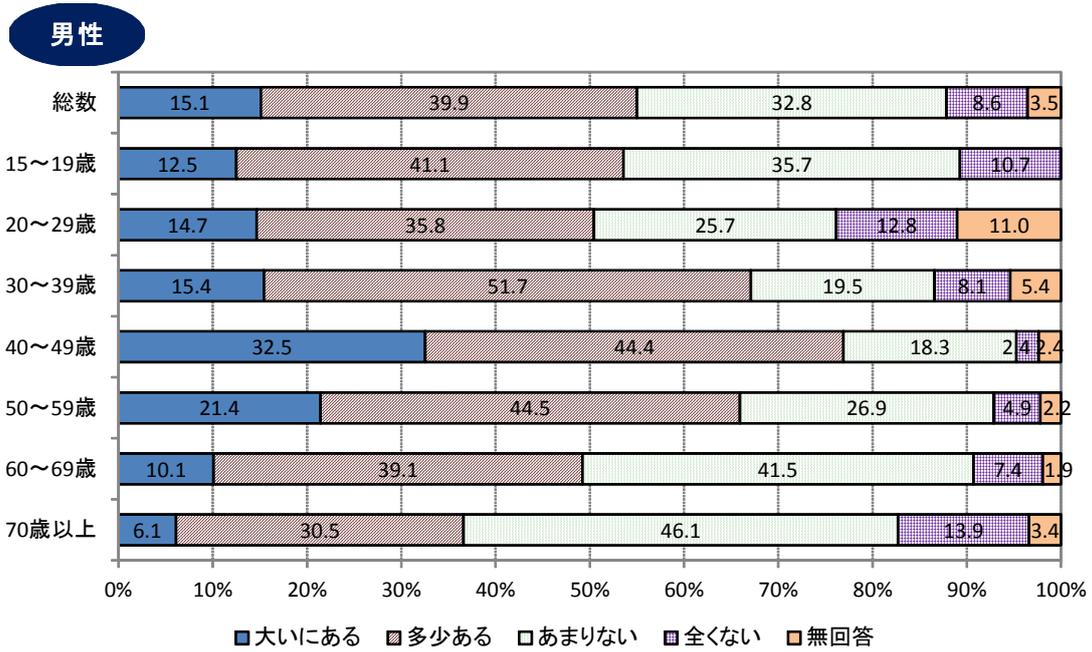


表-4-1 ストレスの状況（性・年齢階級別）

性	年齢階級	ストレスを感じた者			あまりない	全くない	無回答	合計
			大いにある	多少ある				
男性	15～19歳	30	7	23	20	6	0	56
		53.6%	12.5%	41.1%	35.7%	10.7%	0.0%	100.0%
	20～29歳	55	16	39	28	14	12	109
		50.5%	14.7%	35.8%	25.7%	12.8%	11.0%	100.0%
	30～39歳	100	23	77	29	12	8	149
		67.1%	15.4%	51.7%	19.5%	8.1%	5.4%	100.0%
	40～49歳	130	55	75	31	4	4	169
		76.9%	32.5%	44.4%	18.3%	2.4%	2.4%	100.0%
50～59歳	120	39	81	49	9	4	182	
	65.9%	21.4%	44.5%	26.9%	4.9%	2.2%	100.0%	
60～69歳	127	26	101	107	19	5	258	
	49.2%	10.1%	39.1%	41.5%	7.4%	1.9%	100.0%	
70歳以上	108	18	90	136	41	10	295	
	36.6%	6.1%	30.5%	46.1%	13.9%	3.4%	100.0%	
総数	670	184	486	400	105	43	1,218	
	55.0%	15.1%	39.9%	32.8%	8.6%	3.5%	100.0%	
女性	15～19歳	43	15	28	19	4	0	66
		65.2%	22.7%	42.4%	28.8%	6.1%	0.0%	100.0%
	20～29歳	86	39	47	21	3	4	114
		75.4%	34.2%	41.2%	18.4%	2.6%	3.5%	100.0%
	30～39歳	115	42	73	29	3	4	151
		76.2%	27.8%	48.3%	19.2%	2.0%	2.6%	100.0%
	40～49歳	143	44	99	38	4	2	187
		76.5%	23.5%	52.9%	20.3%	2.1%	1.1%	100.0%
50～59歳	147	47	100	39	3	4	193	
	76.2%	24.4%	51.8%	20.2%	1.6%	2.1%	100.0%	
60～69歳	175	40	135	97	14	12	298	
	58.7%	13.4%	45.3%	32.6%	4.7%	4.0%	100.0%	
70歳以上	173	33	140	135	31	12	351	
	49.3%	9.4%	39.9%	38.5%	8.8%	3.4%	100.0%	
総数	882	260	622	378	62	38	1,360	
	64.9%	19.1%	45.7%	27.8%	4.6%	2.8%	100.0%	

図-4-2 ストレスの状況（性・年齢階級別）



(V) 喫煙の状況について

習慣的に喫煙している者の割合は、男26.9%、女性6.5%であった。

最も割合が高いのは、男性では30歳代の36.9%、女性では20歳代の10.5%であった。

※「習慣的に喫煙している者」とは

アンケート調査において、「これまで通算して合計100本以上、または6か月以上たばこを吸っている（吸っていた）」と回答した者のうち、「毎日または時々吸う」と回答した者とした。

図-5-1 習慣的に喫煙している者の割合（性・年齢階級別）

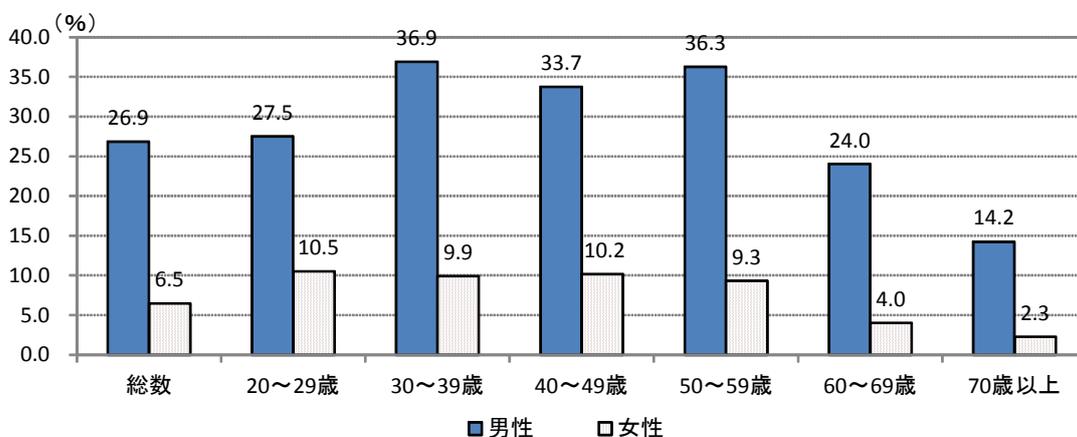


表-5-1 習慣的な喫煙の状況（性・年齢階級別）

性	男性			女性		
	習慣的喫煙者	習慣的喫煙者でない	合計	習慣的喫煙者	習慣的喫煙者でない	合計
20～29歳	30	79	109	12	102	114
	27.5%	72.5%	100.0%	10.5%	89.5%	100.0%
30～39歳	55	94	149	15	136	151
	36.9%	63.1%	100.0%	9.9%	90.1%	100.0%
40～49歳	57	112	169	19	168	187
	33.7%	66.3%	100.0%	10.2%	89.8%	100.0%
50～59歳	66	116	182	18	175	193
	36.3%	63.7%	100.0%	9.3%	90.7%	100.0%
60～69歳	62	196	258	12	286	298
	24.0%	76.0%	100.0%	4.0%	96.0%	100.0%
70歳以上	42	253	295	8	343	351
	14.2%	85.8%	100.0%	2.3%	97.7%	100.0%
総数	312	850	1,162	84	1,210	1,294
	26.9%	73.1%	100.0%	6.5%	93.5%	100.0%

【参考】

きょうと健やか21における指標における「喫煙者」は、アンケート調査において、「たばこを吸います(吸っていました)か」の問いに「毎日または時々吸う」と回答した者であり、その割合は、男性30.1%、女性7.7%であった。最も高かったのは、男性では30歳代の40.9%、女性では20歳代及び40歳代の12.3%であった。

図-5-2 喫煙の状況(性・年齢階級別)

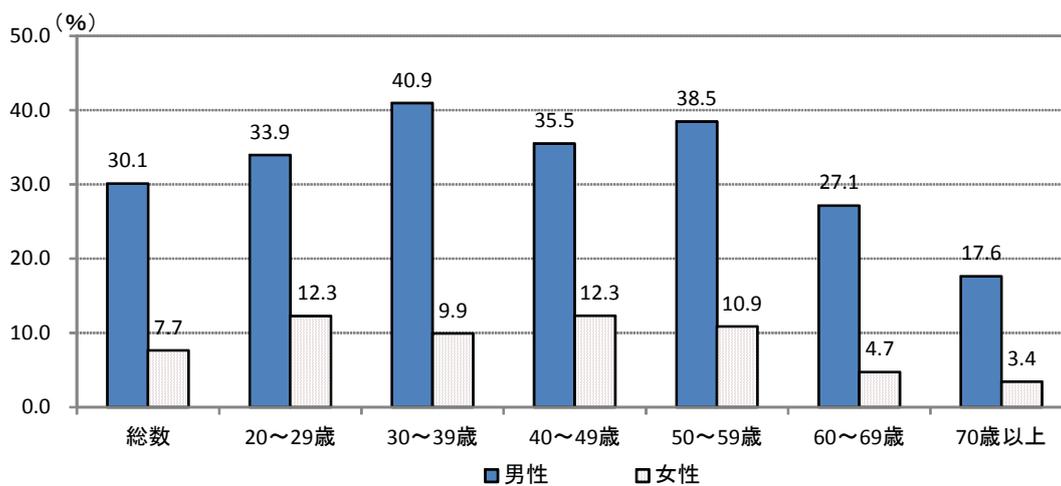


表-5-2 喫煙の状況（性・年齢階級別）

性	年齢階級	喫煙者			以前は吸っていたがやめた	以前から吸わない	無回答	合計
		毎日吸う	時々吸う					
男性	20～29歳	37 33.9%	34 31.2%	3 2.8%	7 6.4%	64 58.7%	1 0.9%	109 100.0%
	30～39歳	61 40.9%	60 40.3%	1 0.7%	25 16.8%	61 40.9%	2 1.3%	149 100.0%
	40～49歳	60 35.5%	52 30.8%	8 4.7%	55 32.5%	53 31.4%	1 0.6%	169 100.0%
	50～59歳	70 38.5%	66 36.3%	4 2.2%	77 42.3%	35 19.2%	0 0.0%	182 100.0%
	60～69歳	70 27.1%	65 25.2%	5 1.9%	123 47.7%	61 23.6%	4 1.6%	258 100.0%
	70歳以上	52 17.6%	47 15.9%	5 1.7%	165 55.9%	70 23.7%	8 2.7%	295 100.0%
	総数	350 30.1%	324 27.9%	26 2.2%	452 38.9%	344 29.6%	16 1.4%	1,162 100.0%
	女性	20～29歳	14 12.3%	13 11.4%	1 0.9%	7 6.1%	87 76.3%	6 5.3%
30～39歳		15 9.9%	15 9.9%	0 0.0%	21 13.9%	114 75.5%	1 0.7%	151 100.0%
40～49歳		23 12.3%	22 11.8%	1 0.5%	18 9.6%	146 78.1%	0 0.0%	187 100.0%
50～59歳		21 10.9%	18 9.3%	3 1.6%	21 10.9%	150 77.7%	1 0.5%	193 100.0%
60～69歳		14 4.7%	13 4.4%	1 0.3%	17 5.7%	259 86.9%	8 2.7%	298 100.0%
70歳以上		12 3.4%	6 1.7%	6 1.7%	12 3.4%	303 86.3%	24 6.8%	351 100.0%
総数		99 7.7%	87 6.7%	12 0.9%	96 7.4%	1,059 81.8%	40 3.1%	1,294 100.0%

(VI) 飲酒の状況について

飲酒習慣のある者の割合は、男33.1%、女性6.3%であった。

最も割合が高いのは、男性では50歳代の46.2%、女性では40歳代の13.9%であった。

※「飲酒習慣のある者」とは

アンケート調査において、「週に3日以上飲酒し、飲酒日1日当たり1合以上飲酒する」と回答した者とした。

図-6-1 飲酒習慣のある者の割合（性・年齢階級別）

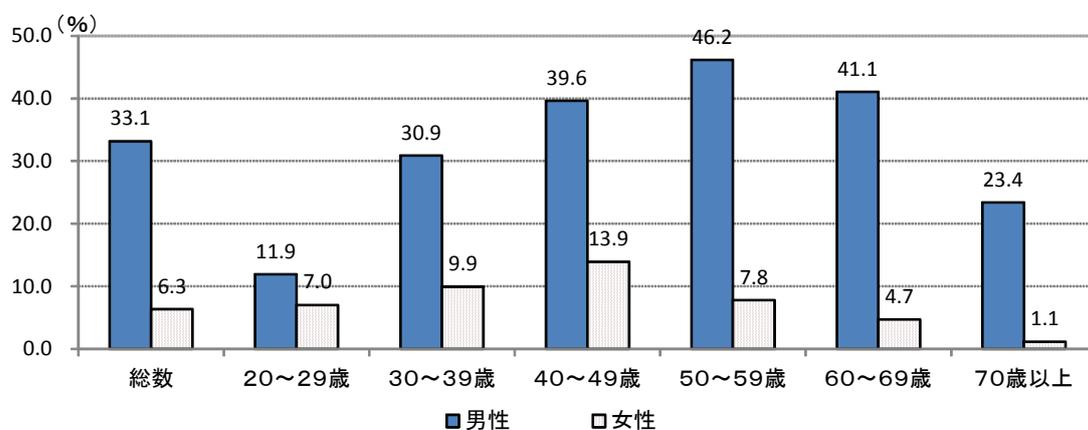


表-6-1 飲酒習慣の状況（性・年齢階級別）

年齢階級	男性			女性		
	飲酒習慣のある者	飲酒習慣のない者	合計	飲酒習慣のある者	飲酒習慣のない者	合計
20～29歳	13	96	109	8	106	114
	11.9%	88.1%	100.0%	7.0%	93.0%	100.0%
30～39歳	46	103	149	15	136	151
	30.9%	69.1%	100.0%	9.9%	90.1%	100.0%
40～49歳	67	102	169	26	161	187
	39.6%	60.4%	100.0%	13.9%	86.1%	100.0%
50～59歳	84	98	182	15	178	193
	46.2%	53.8%	100.0%	7.8%	92.2%	100.0%
60～69歳	106	152	258	14	284	298
	41.1%	58.9%	100.0%	4.7%	95.3%	100.0%
70歳以上	69	226	295	4	347	351
	23.4%	76.6%	100.0%	1.1%	98.9%	100.0%
総数	385	777	1,162	82	1,212	1,294
	33.1%	66.9%	100.0%	6.3%	93.7%	100.0%

【参考】

きょうと健やか21における指標における「多量飲酒者」は、飲酒する者の1週間における飲酒の頻度と1日あたりに飲む量を把握し、それらから1日平均のアルコール摂取量が約60gを超える者とした。具体的にはアンケート調査の回答において次のいずれかに該当する者とした。

- ① 飲酒日1日当たりの飲酒量が5合以上
- ② 飲酒日1日当たりの飲酒量が4合以上5合未満で、飲酒の頻度が週5日以上
- ③ 飲酒日1日当たりの飲酒量が3合以上4合未満で、飲酒の頻度が毎日

図-6-2 多量飲酒者の状況（性・年齢階級別）

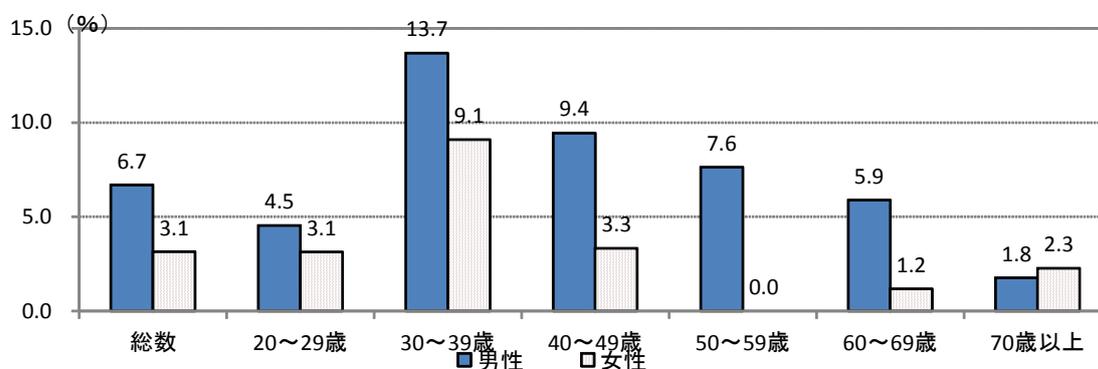


表-6-2 多量飲酒者の状況（性・年齢階級別）

年齢階級	男性			女性		
	多量飲酒者	多量飲酒者でない	合計	多量飲酒者	多量飲酒者でない	合計
20~29歳	3	63	66	2	62	64
	4.5%	95.5%	100.0%	3.1%	96.9%	100.0%
30~39歳	13	82	95	6	60	66
	13.7%	86.3%	100.0%	9.1%	90.9%	100.0%
40~49歳	12	115	127	3	87	90
	9.4%	90.6%	100.0%	3.3%	96.7%	100.0%
50~59歳	10	121	131	0	65	65
	7.6%	92.4%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%
60~69歳	11	176	187	1	84	85
	5.9%	94.1%	100.0%	1.2%	98.8%	100.0%
70歳以上	3	168	171	1	43	44
	1.8%	98.2%	100.0%	2.3%	97.7%	100.0%
総数	52	725	777	13	401	414
	6.7%	93.3%	100.0%	3.1%	96.9%	100.0%

(Ⅶ) 外食の状況について

外食しない（または週2回未満外食）者の割合は、男性68.3%、女性80.2%であった。

最も低いのは、男女とも20歳代で、それぞれ33.9%、52.6%であった。

男性は、20～50歳代において外食する割合が高かった。

図-7-1 外食しない者の割合

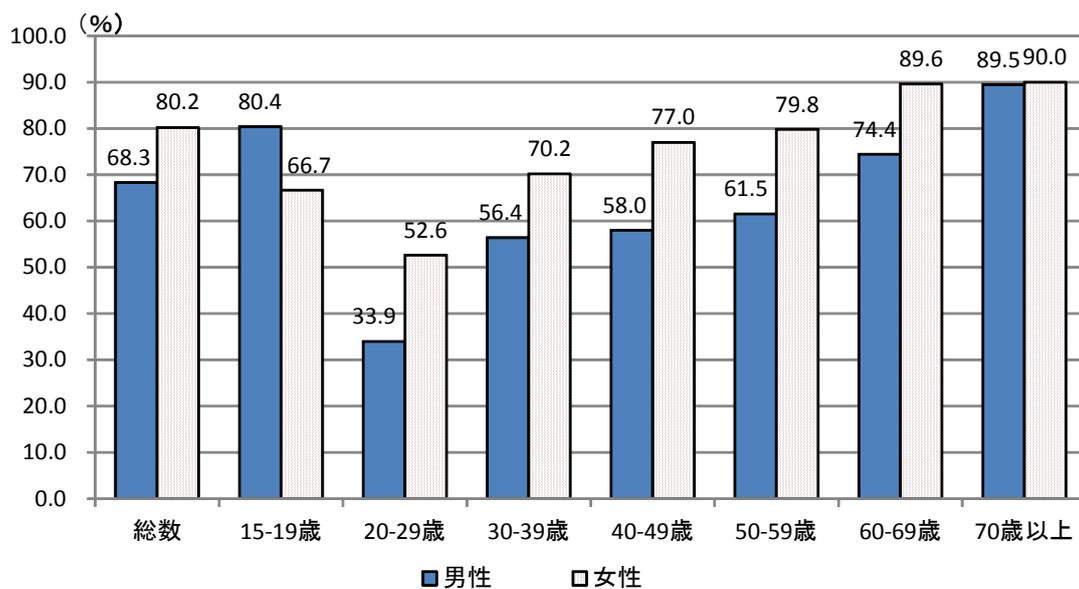
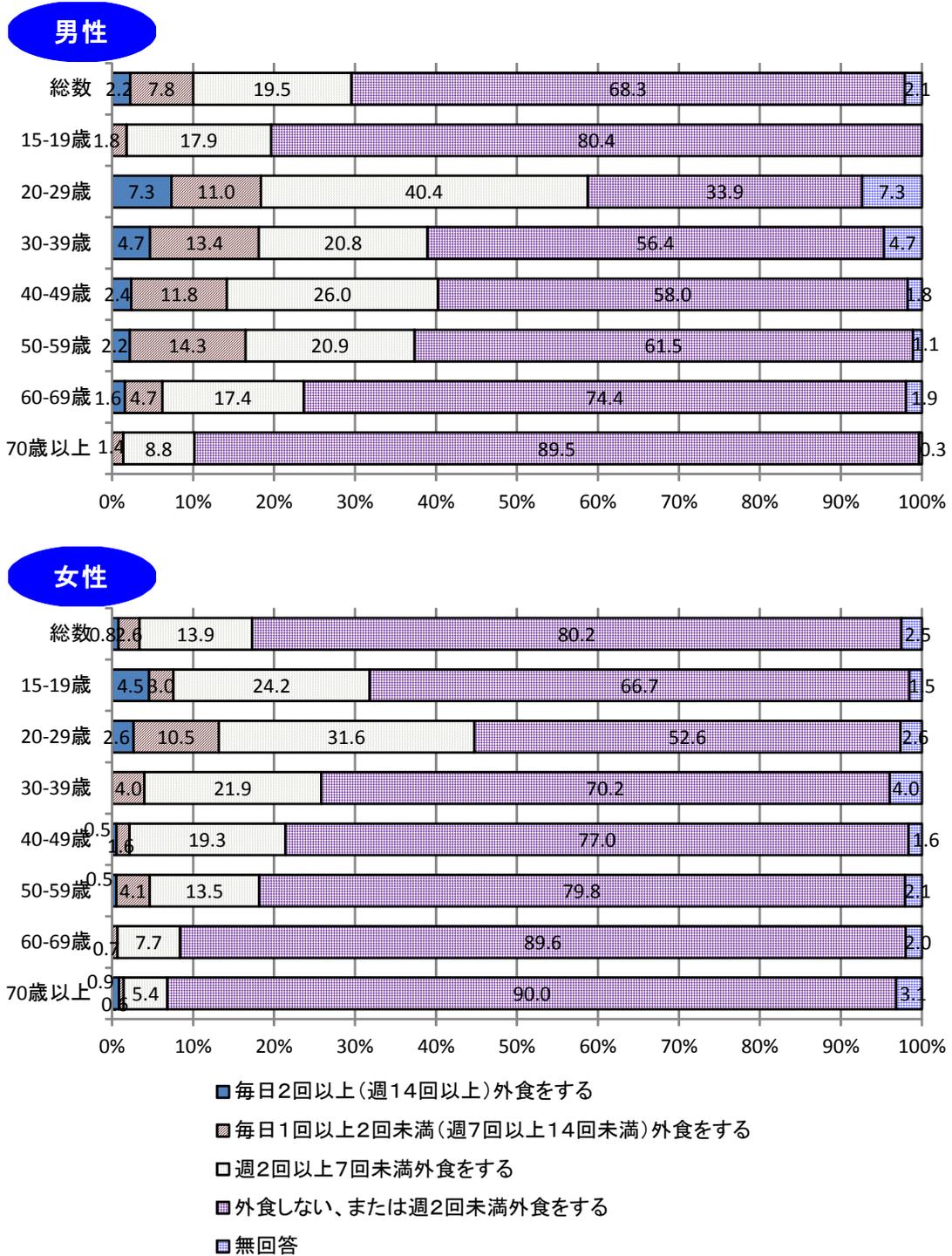


表-7 外食の状況

性別	年齢	毎日2回以上(週14回以上)外食をする	毎日1回以上2回未満(週7回以上14回未満)外食をする	週2回以上7回未満外食をする	外食しない、または週2回未満外食をする	無回答	合計
男性	15～19歳	0 0.0%	1 1.8%	10 17.9%	45 80.4%	0 0.0%	56 100.0%
	20～29歳	8 7.3%	12 11.0%	44 40.4%	37 33.9%	8 7.3%	109 100.0%
	30～39歳	7 4.7%	20 13.4%	31 20.8%	84 56.4%	7 4.7%	149 100.0%
	40～49歳	4 2.4%	20 11.8%	44 26.0%	98 58.0%	3 1.8%	169 100.0%
	50～59歳	4 2.2%	26 14.3%	38 20.9%	112 61.5%	2 1.1%	182 100.0%
	60～69歳	4 1.6%	12 4.7%	45 17.4%	192 74.4%	5 1.9%	258 100.0%
	70歳以上	0 0.0%	4 1.4%	26 8.8%	264 89.5%	1 0.3%	295 100.0%
	合計	27 2.2%	95 7.8%	238 19.5%	832 68.3%	26 2.1%	1,218 100.0%
	女性	15～19歳	3 4.5%	2 3.0%	16 24.2%	44 66.7%	1 1.5%
20～29歳		3 2.6%	12 10.5%	36 31.6%	60 52.6%	3 2.6%	114 100.0%
30～39歳		0 0.0%	6 4.0%	33 21.9%	106 70.2%	6 4.0%	151 100.0%
40～49歳		1 0.5%	3 1.6%	36 19.3%	144 77.0%	3 1.6%	187 100.0%
50～59歳		1 0.5%	8 4.1%	26 13.5%	154 79.8%	4 2.1%	193 100.0%
60～69歳		0 0.0%	2 0.7%	23 7.7%	267 89.6%	6 2.0%	298 100.0%
70歳以上		3 0.9%	2 0.6%	19 5.4%	316 90.0%	11 3.1%	351 100.0%
合計		11 0.8%	35 2.6%	189 13.9%	1,091 80.2%	34 2.5%	1,360 100.0%

図-7-2 外食の状況について



(Ⅷ) 栄養成分表示の認知状況について

栄養成分表示を見たことがある者の割合は、男性40.1%、女58.1%であった。全世代において、男性より女性のほうが見たことがある者の割合が高く、40歳代女性は79.7%であった。

また、栄養成分表示を見たことがある者のうち、その表示を参考にしてメニュー等を選ぶ者の割合は、男性53.4%、女性77.6%であり、30～40歳女性が高く、それぞれ83.0%、80.5%であった。

図-8-1 栄養成分表示を見たことがある者の割合

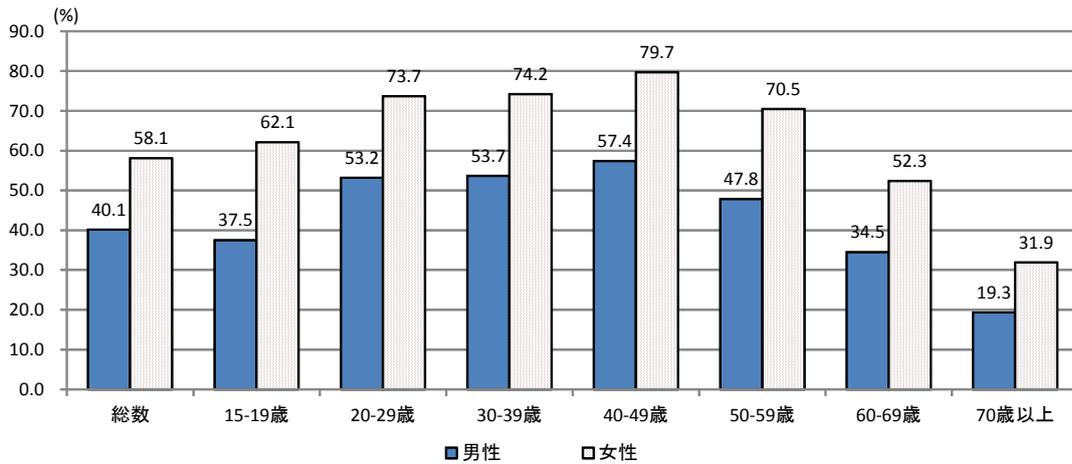


図-8-2 栄養成分表示を見たことがある者のうち、参考にしてメニュー等を選ぶ者の割合

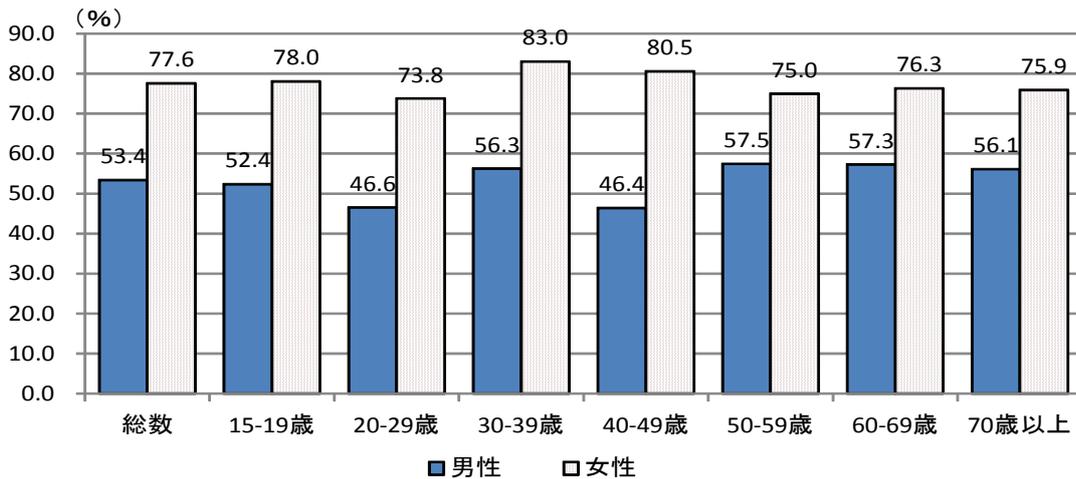


表-8-1 栄養成分表示を見たことがある者の割合

性別	年齢	ある	ない	わからない	無回答	合計
男性	15～19歳	21	23	12	0	56
		37.5%	41.1%	21.4%	0.0%	100.0%
	20～29歳	58	28	15	8	109
		53.2%	25.7%	13.8%	7.3%	100.0%
	30～39歳	80	51	10	8	149
		53.7%	34.2%	6.7%	5.4%	100.0%
	40～49歳	97	56	13	3	169
		57.4%	33.1%	7.7%	1.8%	100.0%
50～59歳	87	77	14	4	182	
	47.8%	42.3%	7.7%	2.2%	100.0%	
60～69歳	89	145	20	4	258	
	34.5%	56.2%	7.8%	1.6%	100.0%	
70歳以上	57	214	22	2	295	
	19.3%	72.5%	7.5%	0.7%	100.0%	
合計	489	594	106	29	1,218	
	40.1%	48.8%	8.7%	2.4%	100.0%	
女性	15～19歳	41	16	8	1	66
		62.1%	24.2%	12.1%	1.5%	100.0%
	20～29歳	84	20	7	3	114
		73.7%	17.5%	6.1%	2.6%	100.0%
	30～39歳	112	28	6	5	151
		74.2%	18.5%	4.0%	3.3%	100.0%
	40～49歳	149	29	7	2	187
		79.7%	15.5%	3.7%	1.1%	100.0%
50～59歳	136	48	5	4	193	
	70.5%	24.9%	2.6%	2.1%	100.0%	
60～69歳	156	123	15	4	298	
	52.3%	41.3%	5.0%	1.3%	100.0%	
70歳以上	112	190	37	12	351	
	31.9%	54.1%	10.5%	3.4%	100.0%	
合計	790	454	85	31	1,360	
	58.1%	33.4%	6.3%	2.3%	100.0%	

表-8-2 栄養成分表示を参考にする者の割合

性別	年齢	いつも参考にして選ぶ	時々参考にして選ぶ	ほとんど参考にしない	無回答	合計
男性	15～19歳	2	9	10	0	21
		9.5%	42.9%	47.6%	0.0%	100.0%
	20～29歳	6	21	30	1	58
		10.3%	36.2%	51.7%	1.7%	100.0%
	30～39歳	8	37	35	0	80
		10.0%	46.3%	43.8%	0.0%	100.0%
	40～49歳	2	43	50	2	97
		2.1%	44.3%	51.5%	2.1%	100.0%
	50～59歳	5	45	37	0	87
		5.7%	51.7%	42.5%	0.0%	100.0%
60～69歳	11	40	38	0	89	
	12.4%	44.9%	42.7%	0.0%	100.0%	
70歳以上	8	24	24	1	57	
	14.0%	42.1%	42.1%	1.8%	100.0%	
合計	42	219	224	4	489	
	8.6%	44.8%	45.8%	0.8%	100.0%	
女性	15～19歳	10	22	9	0	41
		24.4%	53.7%	22.0%	0.0%	100.0%
	20～29歳	22	40	20	2	84
		26.2%	47.6%	23.8%	2.4%	100.0%
	30～39歳	16	77	19	0	112
		14.3%	68.8%	17.0%	0.0%	100.0%
	40～49歳	21	99	29	0	149
		14.1%	66.4%	19.5%	0.0%	100.0%
	50～59歳	12	90	34	0	136
		8.8%	66.2%	25.0%	0.0%	100.0%
60～69歳	22	97	37	0	156	
	14.1%	62.2%	23.7%	0.0%	100.0%	
70歳以上	15	70	27	0	112	
	13.4%	62.5%	24.1%	0.0%	100.0%	
合計	118	495	175	2	790	
	14.9%	62.7%	22.2%	0.3%	100.0%	

(Ⅸ) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知状況について

内容を知っている者の割合は、男性23.7%、女性20.2%、言葉を聞いたことがある者の割合は、男性31.7%、女性36.5%であった。

また、COPDに関する5つの項目について正しいと思っている者の割合は、症状として表れる3つの項目については約6割の者が正しいと思っていたが、そもそも「初期症状に乏しい」と思っている者は約3割であった。

図-9-1 COPDを認知している状況

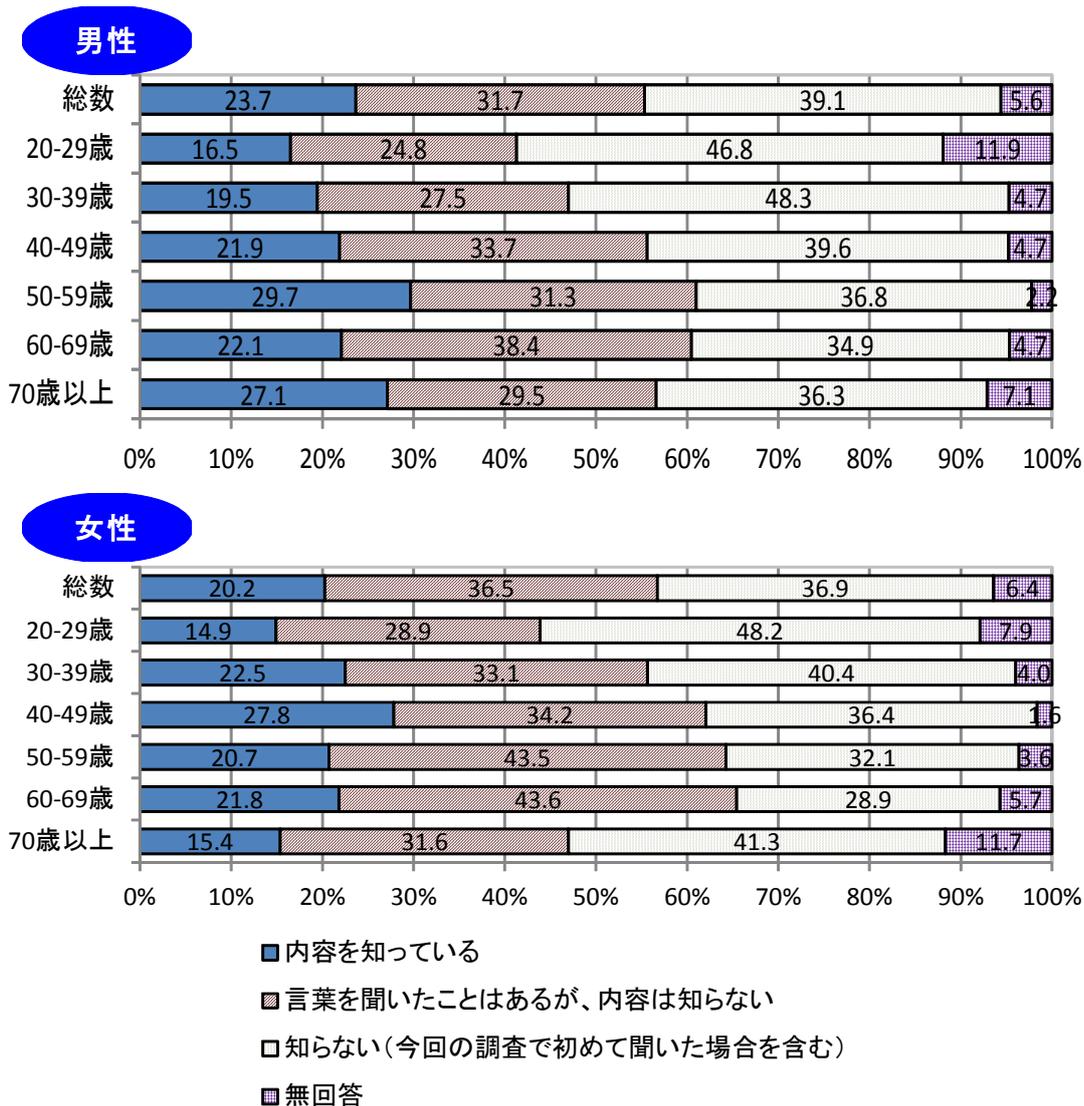


表-9-1 認知している状況

性別	年齢	内容を知っている	言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない(今回の調査で初めて聞いた場合を含む)	無回答	合計
男性	20～29歳	18	27	51	13	109
		16.5%	24.8%	46.8%	11.9%	100.0%
	30～39歳	29	41	72	7	149
		19.5%	27.5%	48.3%	4.7%	100.0%
	40～49歳	37	57	67	8	169
		21.9%	33.7%	39.6%	4.7%	100.0%
	50～59歳	54	57	67	4	182
		29.7%	31.3%	36.8%	2.2%	100.0%
	60～69歳	57	99	90	12	258
		22.1%	38.4%	34.9%	4.7%	100.0%
	70歳以上	80	87	107	21	295
		27.1%	29.5%	36.3%	7.1%	100.0%
	合計	275	368	454	65	1,162
		23.7%	31.7%	39.1%	5.6%	100.0%
女性	20～29歳	17	33	55	9	114
		14.9%	28.9%	48.2%	7.9%	100.0%
	30～39歳	34	50	61	6	151
		22.5%	33.1%	40.4%	4.0%	100.0%
	40～49歳	52	64	68	3	187
		27.8%	34.2%	36.4%	1.6%	100.0%
	50～59歳	40	84	62	7	193
		20.7%	43.5%	32.1%	3.6%	100.0%
	60～69歳	65	130	86	17	298
		21.8%	43.6%	28.9%	5.7%	100.0%
	70歳以上	54	111	145	41	351
		15.4%	31.6%	41.3%	11.7%	100.0%
	合計	262	472	477	83	1,294
		20.2%	36.5%	36.9%	6.4%	100.0%

図-9-2 COPDについて認識している内容

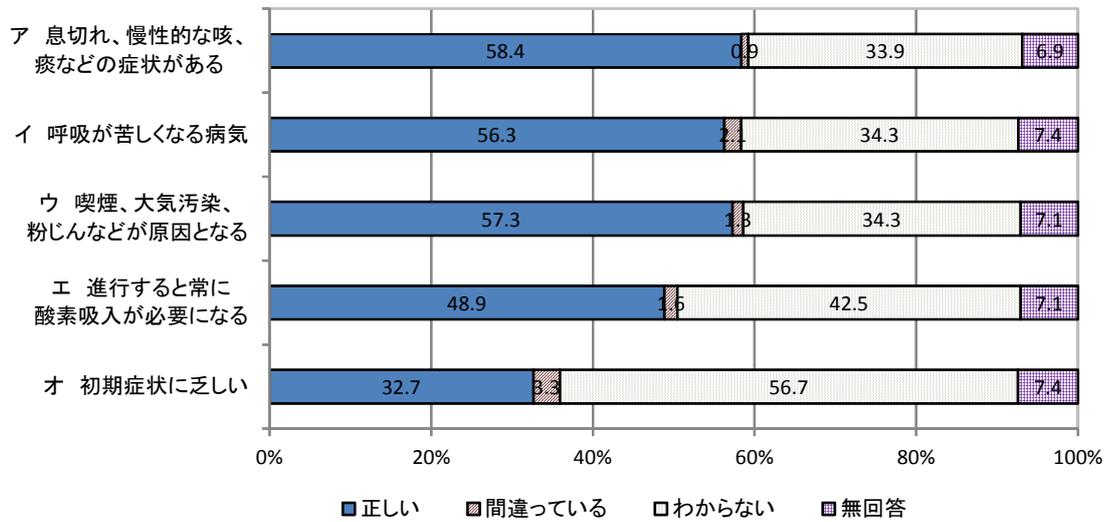


表-9-2 COPDについて認識している内容

ア 息切れ、慢性的な咳、痰などの症状がある						イ 呼吸が苦しくなる病気					
年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計	年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20~29歳	128	1	71	23	223	20~29歳	117	7	76	23	223
	57.4%	0.4%	31.8%	10.3%	100.0%		52.5%	3.1%	34.1%	10.3%	100.0%
30~39歳	187	3	93	17	300	30~39歳	176	10	97	17	300
	62.3%	1.0%	31.0%	5.7%	100.0%		58.7%	3.3%	32.3%	5.7%	100.0%
40~49歳	245	4	95	12	356	40~49歳	217	13	112	14	356
	68.8%	1.1%	26.7%	3.4%	100.0%		61.0%	3.7%	31.5%	3.9%	100.0%
50~59歳	242	6	114	13	375	50~59歳	250	4	108	13	375
	64.5%	1.6%	30.4%	3.5%	100.0%		66.7%	1.1%	28.8%	3.5%	100.0%
60~69歳	328	2	191	35	556	60~69歳	323	12	183	38	556
	59.0%	0.4%	34.4%	6.3%	100.0%		58.1%	2.2%	32.9%	6.8%	100.0%
70歳以上	304	5	268	69	646	70歳以上	299	5	266	76	646
	47.1%	0.8%	41.5%	10.7%	100.0%		46.3%	0.8%	41.2%	11.8%	100.0%
合計	1,434	21	832	169	2,456	合計	1,382	51	842	181	2,456
	58.4%	0.9%	33.9%	6.9%	100.0%		56.3%	2.1%	34.3%	7.4%	100.0%

ウ 喫煙、大気汚染、粉じんなどが原因となる

エ 進行すると常に酸素吸入が必要になる

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計	年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20～29歳	119	3	77	24	223	20～29歳	87	8	105	23	223
	53.4%	1.3%	34.5%	10.8%	100.0%		39.0%	3.6%	47.1%	10.3%	100.0%
30～39歳	189	2	91	18	300	30～39歳	138	11	134	17	300
	63.0%	0.7%	30.3%	6.0%	100.0%		46.0%	3.7%	44.7%	5.7%	100.0%
40～49歳	227	5	112	12	356	40～49歳	192	6	146	12	356
	63.8%	1.4%	31.5%	3.4%	100.0%		53.9%	1.7%	41.0%	3.4%	100.0%
50～59歳	244	9	109	13	375	50～59歳	219	4	138	14	375
	65.1%	2.4%	29.1%	3.5%	100.0%		58.4%	1.1%	36.8%	3.7%	100.0%
60～69歳	325	5	191	35	556	60～69歳	281	7	232	36	556
	58.5%	0.9%	34.4%	6.3%	100.0%		50.5%	1.3%	41.7%	6.5%	100.0%
70歳以上	303	8	263	72	646	70歳以上	283	3	288	72	646
	46.9%	1.2%	40.7%	11.1%	100.0%		43.8%	0.5%	44.6%	11.1%	100.0%
合計	1,407	32	843	174	2,456	合計	1,200	39	1,043	174	2,456
	57.3%	1.3%	34.3%	7.1%	100.0%		48.9%	1.6%	42.5%	7.1%	100.0%

オ 初期症状に乏しい

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20～29歳	72	12	116	23	223
	32.3%	5.4%	52.0%	10.3%	100.0%
30～39歳	100	10	172	18	300
	33.3%	3.3%	57.3%	6.0%	100.0%
40～49歳	153	14	177	12	356
	43.0%	3.9%	49.7%	3.4%	100.0%
50～59歳	150	11	200	14	375
	40.0%	2.9%	53.3%	3.7%	100.0%
60～69歳	171	18	330	37	556
	30.8%	3.2%	59.4%	6.7%	100.0%
70歳以上	156	15	397	78	646
	24.1%	2.3%	61.5%	12.1%	100.0%
合計	802	80	1,392	182	2,456
	32.7%	3.3%	56.7%	7.4%	100.0%

(X) 糖尿病に関する状況について

医師から糖尿病と言われたことのある者の割合は、男性13.5%、女性7.4%であり、男女とも高齢になるにつれ増加傾向であり、そのうち、現在治療していない者は、男性40.8%、女性33.3%であった。治療を中断またはしなかった理由について尋ねたところ、最も高かったのは「痛みなどの自覚症状や特別な症状がないため」で25.0%であった。

また、合併症の罹患状況で最も多いのは「網膜症」であった。

糖尿病に関する12の項目について正しいと思っている者の割合は、生活習慣との関係や3大合併症に関する項目については5割以上の者が正しいと思っていたが、他の疾患（の脳卒中や心筋梗塞、歯周病等）との関連について認識している者は約3割であった。

図-10-1 医師に糖尿病と言われたことがある者の割合

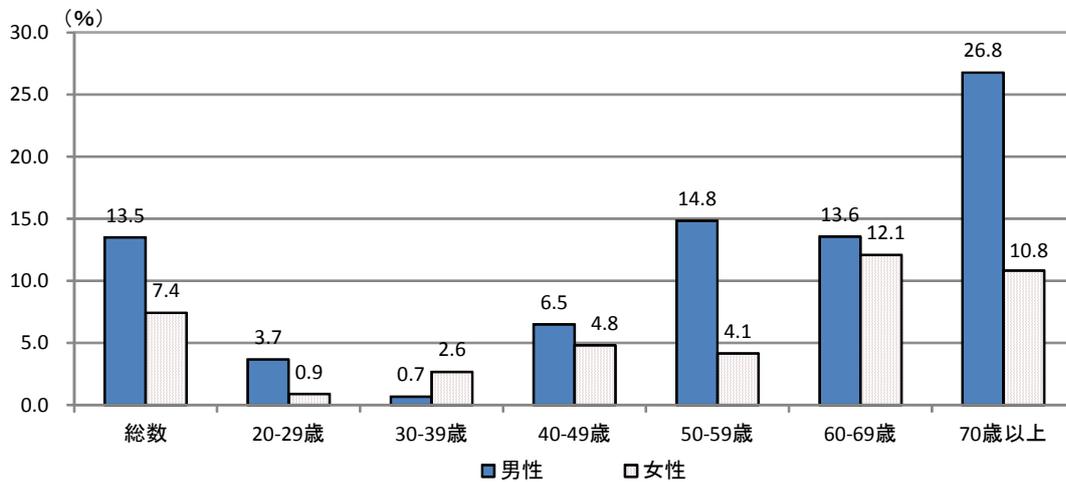
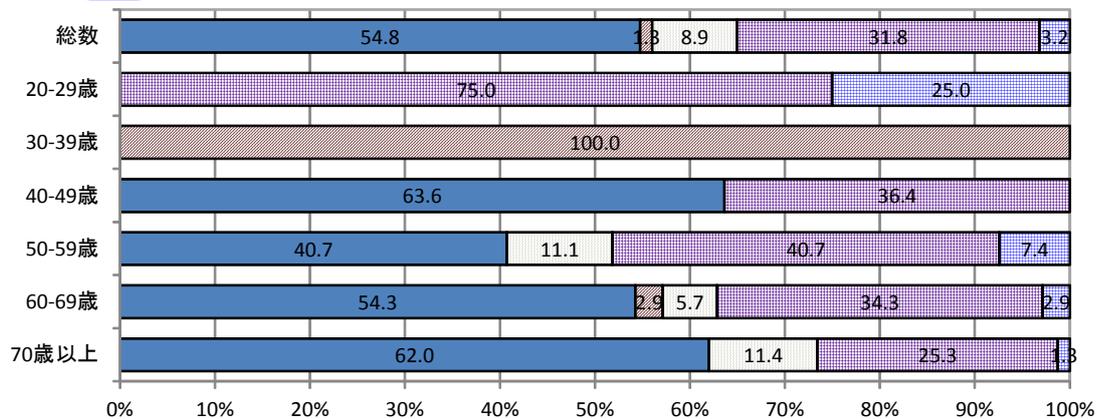


表-10-1 医師から糖尿病と言われたことがある者の割合

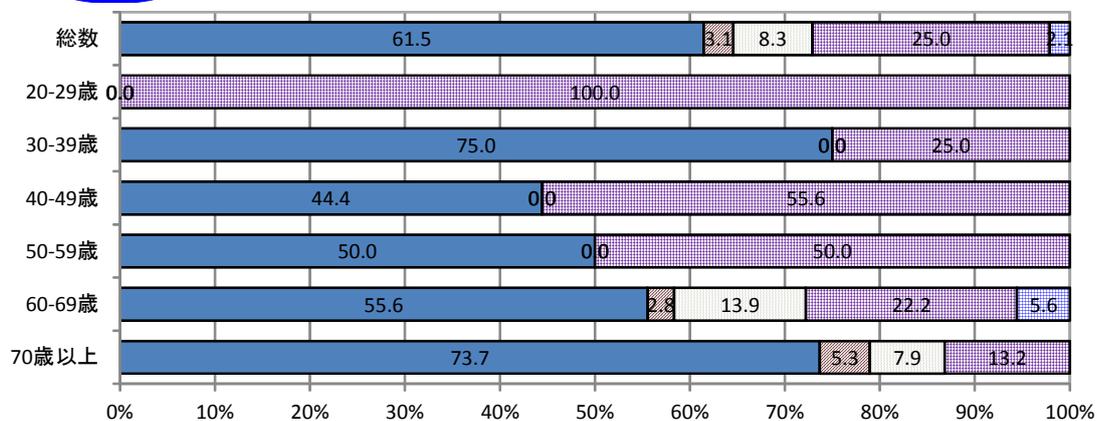
性別	年齢階級	あり	なし	無回答	合計
男性	20-29歳	4	104	1	109
		3.7%	95.4%	0.9%	100.0%
	30-39歳	1	146	2	149
		0.7%	98.0%	1.3%	100.0%
	40-49歳	11	156	2	169
		6.5%	92.3%	1.2%	100.0%
	50-59歳	27	155	0	182
		14.8%	85.2%	0.0%	100.0%
	60-69歳	35	218	5	258
		13.6%	84.5%	1.9%	100.0%
	70歳以上	79	207	9	295
		26.8%	70.2%	3.1%	100.0%
	総数	157	986	19	1,162
		13.5%	84.9%	1.6%	100.0%
女性	20-29歳	1	109	4	114
		0.9%	95.6%	3.5%	100.0%
	30-39歳	4	145	2	151
		2.6%	96.0%	1.3%	100.0%
	40-49歳	9	178	0	187
		4.8%	95.2%	0.0%	100.0%
	50-59歳	8	184	1	193
		4.1%	95.3%	0.5%	100.0%
	60-69歳	36	254	8	298
		12.1%	85.2%	2.7%	100.0%
	70歳以上	38	292	21	351
		10.8%	83.2%	6.0%	100.0%
	総数	96	1,162	36	1,294
		7.4%	89.8%	2.8%	100.0%

図-10-2 糖尿病と言われた者のうち、治療の状況

男性



女性



- 現在受けている
- 中断したことはあるが、現在は受けている
- 以前に受けたことがあるが、現在は受けていない
- ほとんど治療を受けたことがない
- 無回答

表-10-2 糖尿病と言われた者のうち、治療の状況

性別	年齢	現在受けている	中断したことはあ るが、現在は受け ている	以前に受けたこと があるが、現在は 受けていない	ほとんど治療を受 けたことがない	無回答	合計
男性	20～29歳	0	0	0	3	1	4
		0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%
	30～39歳	0	1	0	0	0	1
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	40～49歳	7	0	0	4	0	11
		63.6%	0.0%	0.0%	36.4%	0.0%	100.0%
	50～59歳	11	0	3	11	2	27
		40.7%	0.0%	11.1%	40.7%	7.4%	100.0%
60～69歳	19	1	2	12	1	35	
	54.3%	2.9%	5.7%	34.3%	2.9%	100.0%	
70歳以上	49	0	9	20	1	79	
	62.0%	0.0%	11.4%	25.3%	1.3%	100.0%	
合計	86	2	14	50	5	157	
	54.8%	1.3%	8.9%	31.8%	3.2%	100.0%	
女性	20～29歳	0	0	0	1	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	30～39歳	3	0	0	1	0	4
		75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%
	40～49歳	4	0	0	5	0	9
		44.4%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	100.0%
	50～59歳	4	0	0	4	0	8
		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
60～69歳	20	1	5	8	2	36	
	55.6%	2.8%	13.9%	22.2%	5.6%	100.0%	
70歳以上	28	2	3	5	0	38	
	73.7%	5.3%	7.9%	13.2%	0.0%	100.0%	
合計	59	3	8	24	2	96	
	61.5%	3.1%	8.3%	25.0%	2.1%	100.0%	

表-10-3 糖尿病の治療を中断または受けていない理由

年齢階級	自己負担の割合 が高いなど経済 的な理由のため	医療機関までの 距離が遠い、交 通の便が悪いな ど通院が困難な ため	仕事あるいは家 事が忙しいなど 時間的制約のため	痛みなどの自覚 症状や特別な症 状がないため	治療するのが面 倒だから	満足のいく治療 や指導が受けら れないため	その他	有効回答数
20-29歳	0	0	0	0	1	0	3	4
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	---
30-39歳	0	0	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	---
40-49歳	0	0	1	2	0	0	5	9
	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	55.6%	---
50-59歳	2	0	2	5	1	0	7	18
	11.1%	0.0%	11.1%	27.8%	5.6%	0.0%	38.9%	---
60-69歳	1	1	1	6	1	0	13	27
	3.7%	3.7%	3.7%	22.2%	3.7%	0.0%	48.1%	---
70歳以上	0	1	1	11	0	0	13	37
	0.0%	2.7%	2.7%	29.7%	0.0%	0.0%	35.1%	---
総数	3	2	5	24	3	0	42	96
	3.1%	2.1%	5.2%	25.0%	3.1%	0.0%	43.8%	---

図-10-3 糖尿病といわれたことがある者のうち、それぞれの合併症にかかっている者の割合

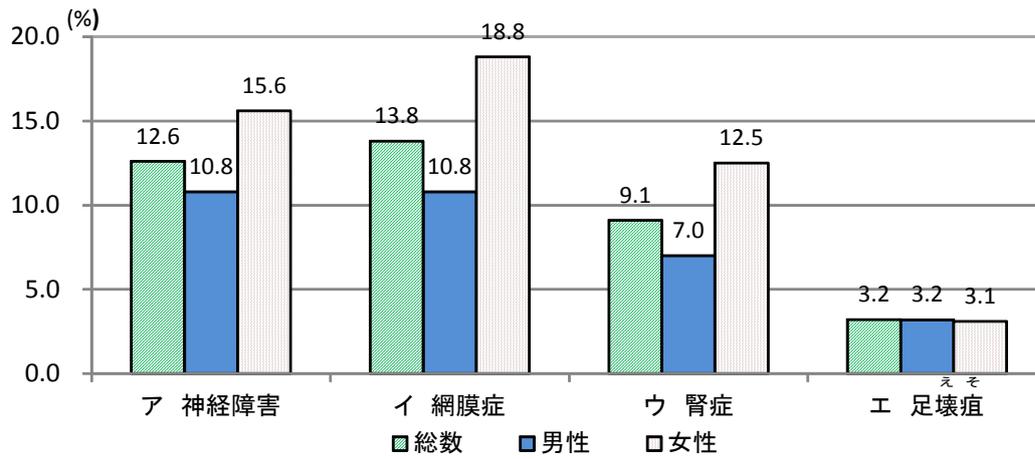


表-10-4 糖尿病といわれたことがある者のうち、それぞれの合併症にかかっている者の割合

性別	ア 神経障害	イ 網膜症	ウ 腎症	エ 足壊疽	糖尿病と言われた者
総数	32	35	23	8	253
	12.6%	13.8%	9.1%	3.2%	100.0%
男性	17	17	11	5	157
	10.8%	10.8%	7.0%	3.2%	100.0%
女性	15	18	12	3	96
	15.6%	18.8%	12.5%	3.1%	100.0%

図-10-4 糖尿病について認識している内容

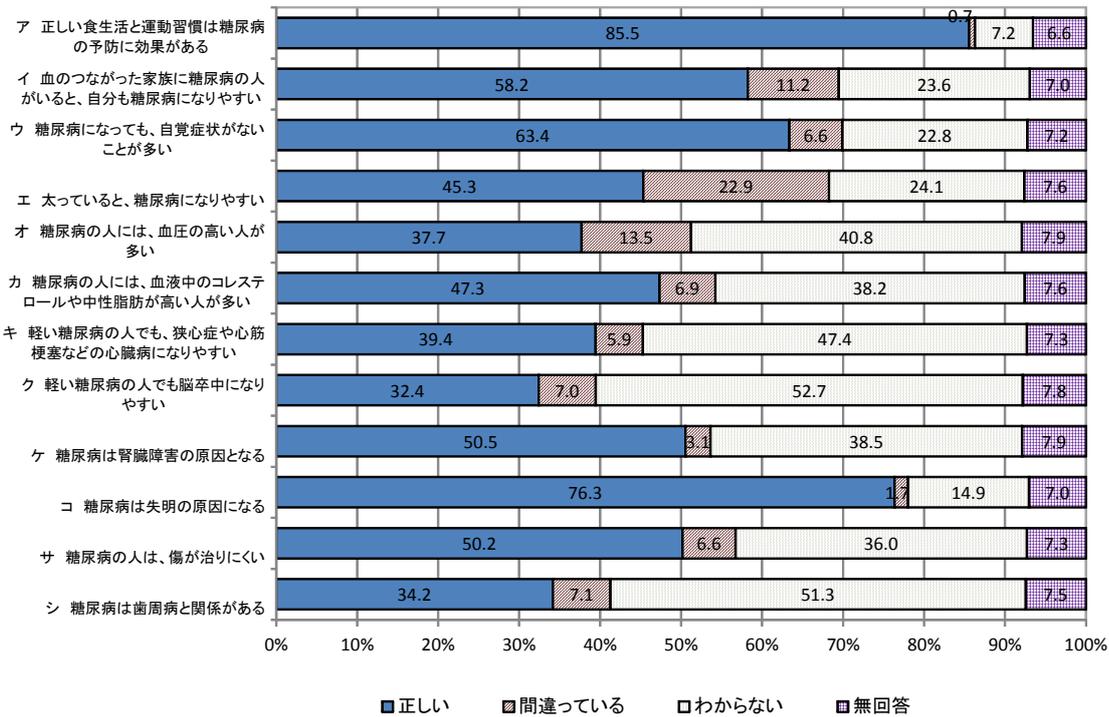


表-10-5 糖尿病について認識している内容

イ 血のつながった家族に糖尿病の人がいると、自分も糖尿病になりやすい

ア 正しい食生活と運動習慣は糖尿病の予防に効果がある

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20～29歳	176	7	19	21	223
	78.9%	3.1%	8.5%	9.4%	100.0%
30～39歳	254	2	25	19	300
	84.7%	0.7%	8.3%	6.3%	100.0%
40～49歳	324	1	17	14	356
	91.0%	0.3%	4.8%	3.9%	100.0%
50～59歳	340	2	17	16	375
	90.7%	0.5%	4.5%	4.3%	100.0%
60～69歳	499	2	27	28	556
	89.7%	0.4%	4.9%	5.0%	100.0%
70歳以上	508	4	71	63	646
	78.6%	0.6%	11.0%	9.8%	100.0%
総数	2,101	18	176	161	2,456
	85.5%	0.7%	7.2%	6.6%	100.0%

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20～29歳	123	33	45	22	223
	55.2%	14.8%	20.2%	9.9%	100.0%
30～39歳	169	44	67	20	300
	56.3%	14.7%	22.3%	6.7%	100.0%
40～49歳	241	40	61	14	356
	67.7%	11.2%	17.1%	3.9%	100.0%
50～59歳	246	43	72	14	375
	65.6%	11.5%	19.2%	3.7%	100.0%
60～69歳	340	55	131	30	556
	61.2%	9.9%	23.6%	5.4%	100.0%
70歳以上	311	61	203	71	646
	48.1%	9.4%	31.4%	11.0%	100.0%
総数	1,430	276	579	171	2,456
	58.2%	11.2%	23.6%	7.0%	100.0%

ウ 糖尿病になっても、自覚症状がないことが多い

エ 太っていると、糖尿病になりやすい

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計	年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20～29歳	140	12	49	22	223	20～29歳	124	33	44	22	223
	62.8%	5.4%	22.0%	9.9%	100.0%		55.6%	14.8%	19.7%	9.9%	100.0%
30～39歳	201	14	64	21	300	30～39歳	170	58	52	20	300
	67.0%	4.7%	21.3%	7.0%	100.0%		56.7%	19.3%	17.3%	6.7%	100.0%
40～49歳	253	25	63	15	356	40～49歳	177	112	51	16	356
	71.1%	7.0%	17.7%	4.2%	100.0%		49.7%	31.5%	14.3%	4.5%	100.0%
50～59歳	274	29	58	14	375	50～59歳	175	114	71	15	375
	73.1%	7.7%	15.5%	3.7%	100.0%		46.7%	30.4%	18.9%	4.0%	100.0%
60～69歳	354	42	123	37	556	60～69歳	235	138	150	33	556
	63.7%	7.6%	22.1%	6.7%	100.0%		42.3%	24.8%	27.0%	5.9%	100.0%
70歳以上	334	39	204	69	646	70歳以上	232	108	225	81	646
	51.7%	6.0%	31.6%	10.7%	100.0%		35.9%	16.7%	34.8%	12.5%	100.0%
総数	1,556	161	561	178	2,456	総数	1,113	563	593	187	2,456
	63.4%	6.6%	22.8%	7.2%	100.0%		45.3%	22.9%	24.1%	7.6%	100.0%

カ 糖尿病の人には、血液中のコレステロールや中性脂肪が高い

オ 糖尿病の人には、血圧の高い人が多い

人が多い

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計	年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20～29歳	100	23	77	23	223	20～29歳	114	14	73	22	223
	44.8%	10.3%	34.5%	10.3%	100.0%		51.1%	6.3%	32.7%	9.9%	100.0%
30～39歳	147	30	101	22	300	30～39歳	167	17	94	22	300
	49.0%	10.0%	33.7%	7.3%	100.0%		55.7%	5.7%	31.3%	7.3%	100.0%
40～49歳	156	55	129	16	356	40～49歳	193	27	120	16	356
	43.8%	15.4%	36.2%	4.5%	100.0%		54.2%	7.6%	33.7%	4.5%	100.0%
50～59歳	142	73	144	16	375	50～59歳	191	40	129	15	375
	37.9%	19.5%	38.4%	4.3%	100.0%		50.9%	10.7%	34.4%	4.0%	100.0%
60～69歳	187	87	244	38	556	60～69歳	251	42	229	34	556
	33.6%	15.6%	43.9%	6.8%	100.0%		45.1%	7.6%	41.2%	6.1%	100.0%
70歳以上	194	64	308	80	646	70歳以上	246	30	293	77	646
	30.0%	9.9%	47.7%	12.4%	100.0%		38.1%	4.6%	45.4%	11.9%	100.0%
総数	926	332	1,003	195	2,456	総数	1,162	170	938	186	2,456
	37.7%	13.5%	40.8%	7.9%	100.0%		47.3%	6.9%	38.2%	7.6%	100.0%

キ 軽い糖尿病の人でも、狭心症や心筋梗塞などの心臓病になり

やすい

ク 軽い糖尿病の人でも脳卒中になりやすい

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計	年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20~29歳	97	11	93	22	223	20~29歳	79	14	107	23	223
	43.5%	4.9%	41.7%	9.9%	100.0%		35.4%	6.3%	48.0%	10.3%	100.0%
30~39歳	132	7	141	20	300	30~39歳	113	12	152	23	300
	44.0%	2.3%	47.0%	6.7%	100.0%		37.7%	4.0%	50.7%	7.7%	100.0%
40~49歳	173	23	146	14	356	40~49歳	142	31	169	14	356
	48.6%	6.5%	41.0%	3.9%	100.0%		39.9%	8.7%	47.5%	3.9%	100.0%
50~59歳	160	32	169	14	375	50~59歳	139	36	186	14	375
	42.7%	8.5%	45.1%	3.7%	100.0%		37.1%	9.6%	49.6%	3.7%	100.0%
60~69歳	205	40	279	32	556	60~69歳	155	49	313	39	556
	36.9%	7.2%	50.2%	5.8%	100.0%		27.9%	8.8%	56.3%	7.0%	100.0%
70歳以上	201	31	337	77	646	70歳以上	168	31	368	79	646
	31.1%	4.8%	52.2%	11.9%	100.0%		26.0%	4.8%	57.0%	12.2%	100.0%
総数	968	144	1,165	179	2,456	総数	796	173	1,295	192	2,456
	39.4%	5.9%	47.4%	7.3%	100.0%		32.4%	7.0%	52.7%	7.8%	100.0%

ケ 尿病は腎臓障害の原因となる

コ 糖尿病は失明の原因になる

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計	年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20~29歳	108	9	83	23	223	20~29歳	125	17	58	23	223
	48.4%	4.0%	37.2%	10.3%	100.0%		56.1%	7.6%	26.0%	10.3%	100.0%
30~39歳	157	4	119	20	300	30~39歳	213	6	61	20	300
	52.3%	1.3%	39.7%	6.7%	100.0%		71.0%	2.0%	20.3%	6.7%	100.0%
40~49歳	202	15	125	14	356	40~49歳	297	5	40	14	356
	56.7%	4.2%	35.1%	3.9%	100.0%		83.4%	1.4%	11.2%	3.9%	100.0%
50~59歳	211	7	135	22	375	50~59歳	335	3	22	15	375
	56.3%	1.9%	36.0%	5.9%	100.0%		89.3%	0.8%	5.9%	4.0%	100.0%
60~69歳	288	18	212	38	556	60~69歳	457	7	61	31	556
	51.8%	3.2%	38.1%	6.8%	100.0%		82.2%	1.3%	11.0%	5.6%	100.0%
70歳以上	275	23	271	77	646	70歳以上	448	3	125	70	646
	42.6%	3.6%	42.0%	11.9%	100.0%		69.3%	0.5%	19.3%	10.8%	100.0%
総数	1,241	76	945	194	2,456	総数	1,875	41	367	173	2,456
	50.5%	3.1%	38.5%	7.9%	100.0%		76.3%	1.7%	14.9%	7.0%	100.0%

サ 糖尿病の人は、傷が治りにくい

シ 糖尿病は歯周病と関係がある

年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計	年齢	正しい	間違っている	わからない	無回答	合計
20～29歳	80	32	88	23	223	20～29歳	67	23	110	23	223
	35.9%	14.3%	39.5%	10.3%	100.0%		30.0%	10.3%	49.3%	10.3%	100.0%
30～39歳	140	16	124	20	300	30～39歳	105	19	155	21	300
	46.7%	5.3%	41.3%	6.7%	100.0%		35.0%	6.3%	51.7%	7.0%	100.0%
40～49歳	181	31	130	14	356	40～49歳	144	32	165	15	356
	50.8%	8.7%	36.5%	3.9%	100.0%		40.4%	9.0%	46.3%	4.2%	100.0%
50～59歳	227	27	106	15	375	50～59歳	146	28	186	15	375
	60.5%	7.2%	28.3%	4.0%	100.0%		38.9%	7.5%	49.6%	4.0%	100.0%
60～69歳	308	32	182	34	556	60～69歳	188	37	295	36	556
	55.4%	5.8%	32.7%	6.1%	100.0%		33.8%	6.7%	53.1%	6.5%	100.0%
70歳以上	296	23	254	73	646	70歳以上	189	35	349	73	646
	45.8%	3.6%	39.3%	11.3%	100.0%		29.3%	5.4%	54.0%	11.3%	100.0%
総数	1,232	161	884	179	2,456	総数	839	174	1,260	183	2,456
	50.2%	6.6%	36.0%	7.3%	100.0%		34.2%	7.1%	51.3%	7.5%	100.0%

(X I) 地域との関係について

地域の人々は、「お互い助け合っている」と思う者の割合は54.9%、「信頼できる」と思う者の割合は51.1%、「お互いにあいさつをしている」と思う者の割合は80.8%、「問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする」と思う者の割合は53.0%であった。

いずれの項目も、70歳以上において「思う」と回答した者の割合が高かった。

図-11-1 地域との関係の認識の状況

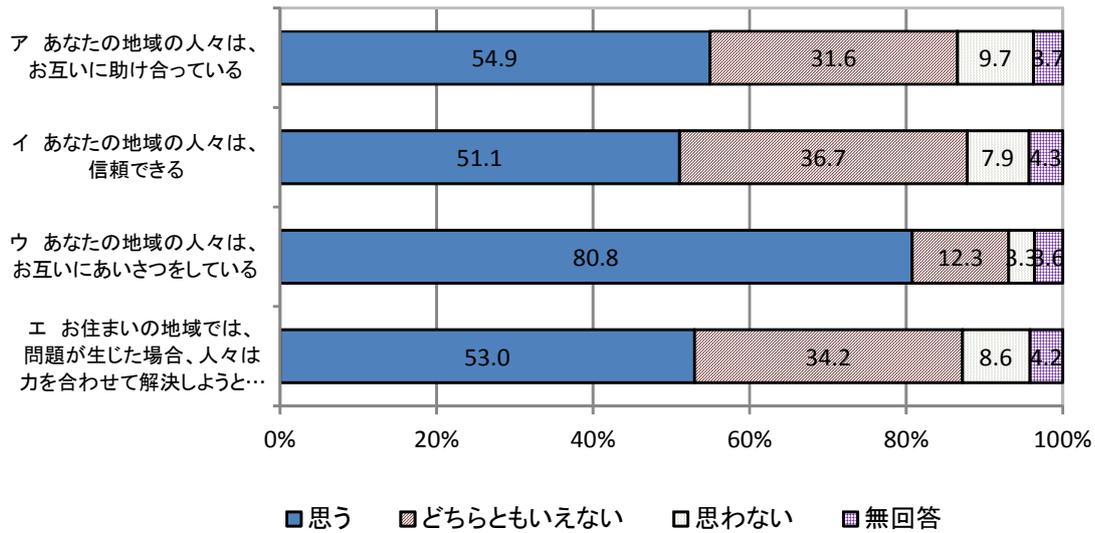


図-11-2 地域との関係の認識の状況

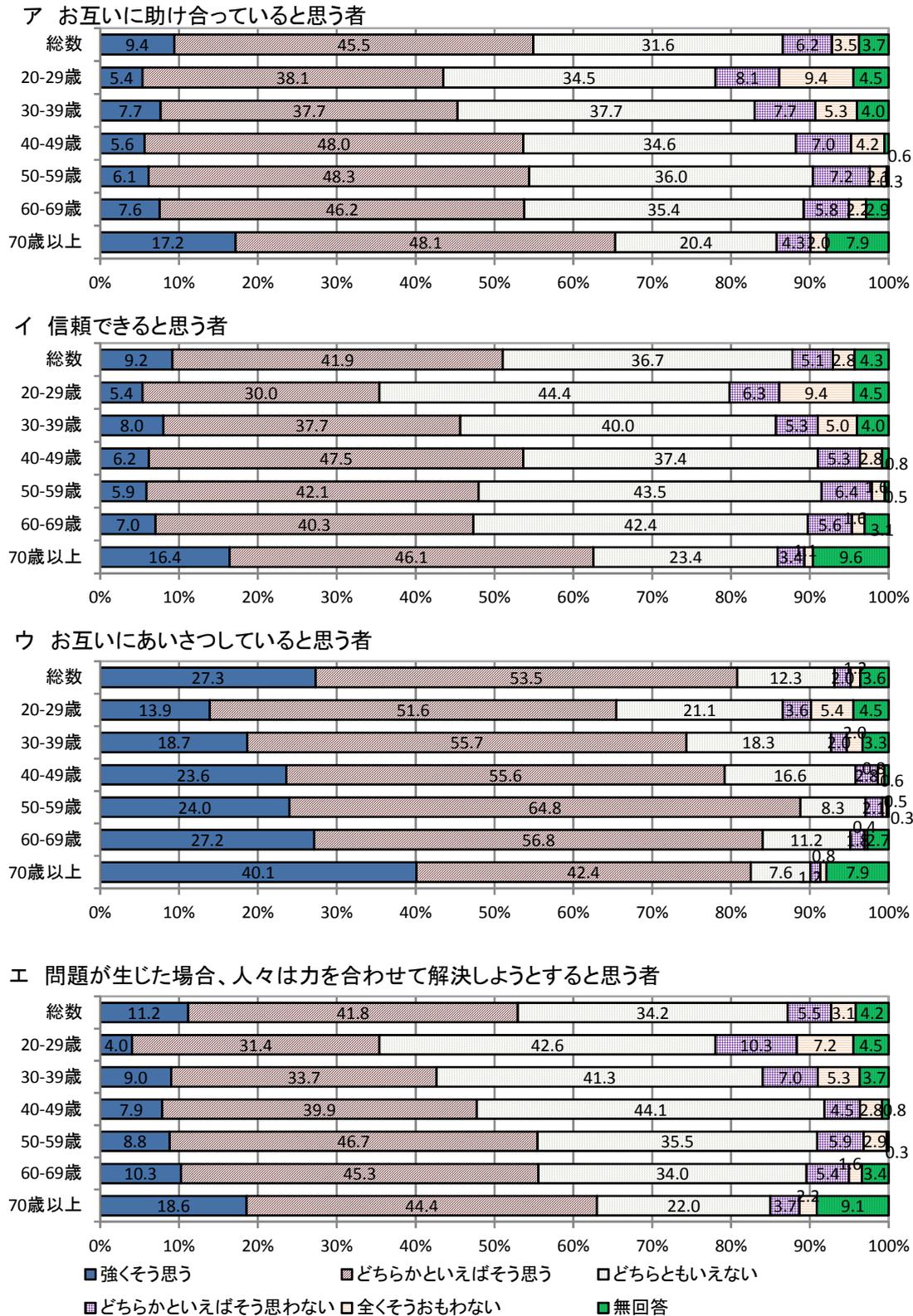


表11-1 地域との関係の認識の状況

ア あなたの地域の人々は、お互いに助け合っている

年齢	強くそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	全くそうおもわない	無回答	合計
20～29歳	12	85	77	18	21	10	223
	5.4%	38.1%	34.5%	8.1%	9.4%	4.5%	100.0%
30～39歳	23	113	113	23	16	12	300
	7.7%	37.7%	37.7%	7.7%	5.3%	4.0%	100.0%
40～49歳	20	171	123	25	15	2	356
	5.6%	48.0%	34.6%	7.0%	4.2%	0.6%	100.0%
50～59歳	23	181	135	27	8	1	375
	6.1%	48.3%	36.0%	7.2%	2.1%	0.3%	100.0%
60～69歳	42	257	197	32	12	16	556
	7.6%	46.2%	35.4%	5.8%	2.2%	2.9%	100.0%
70歳以上	111	311	132	28	13	51	646
	17.2%	48.1%	20.4%	4.3%	2.0%	7.9%	100.0%
合計	231	1,118	777	153	85	92	2,456
	9.4%	45.5%	31.6%	6.2%	3.5%	3.7%	100.0%

イ あなたの地域の人々は、信頼できる

年齢	強くそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	全くそうおもわない	無回答	合計
20～29歳	12	67	99	14	21	10	223
	5.4%	30.0%	44.4%	6.3%	9.4%	4.5%	100.0%
30～39歳	24	113	120	16	15	12	300
	8.0%	37.7%	40.0%	5.3%	5.0%	4.0%	100.0%
40～49歳	22	169	133	19	10	3	356
	6.2%	47.5%	37.4%	5.3%	2.8%	0.8%	100.0%
50～59歳	22	158	163	24	6	2	375
	5.9%	42.1%	43.5%	6.4%	1.6%	0.5%	100.0%
60～69歳	39	224	236	31	9	17	556
	7.0%	40.3%	42.4%	5.6%	1.6%	3.1%	100.0%
70歳以上	106	298	151	22	7	62	646
	16.4%	46.1%	23.4%	3.4%	1.1%	9.6%	100.0%
合計	225	1,029	902	126	68	106	2,456
	9.2%	41.9%	36.7%	5.1%	2.8%	4.3%	100.0%

ウ あなたの地域の人々は、お互いにあいさつをしている

年齢	強くそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	全くそうおもわない	無回答	合計
20～29歳	31	115	47	8	12	10	223
	13.9%	51.6%	21.1%	3.6%	5.4%	4.5%	100.0%
30～39歳	56	167	55	6	6	10	300
	18.7%	55.7%	18.3%	2.0%	2.0%	3.3%	100.0%
40～49歳	84	198	59	10	3	2	356
	23.6%	55.6%	16.6%	2.8%	0.8%	0.6%	100.0%
50～59歳	90	243	31	8	2	1	375
	24.0%	64.8%	8.3%	2.1%	0.5%	0.3%	100.0%
60～69歳	151	316	62	10	2	15	556
	27.2%	56.8%	11.2%	1.8%	0.4%	2.7%	100.0%
70歳以上	259	274	49	8	5	51	646
	40.1%	42.4%	7.6%	1.2%	0.8%	7.9%	100.0%
合計	671	1,313	303	50	30	89	2,456
	27.3%	53.5%	12.3%	2.0%	1.2%	3.6%	100.0%

エ お住まいの地域では、問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする

年齢	強くそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	全くそうおもわない	無回答	合計
20～29歳	9	70	95	23	16	10	223
	4.0%	31.4%	42.6%	10.3%	7.2%	4.5%	100.0%
30～39歳	27	101	124	21	16	11	300
	9.0%	33.7%	41.3%	7.0%	5.3%	3.7%	100.0%
40～49歳	28	142	157	16	10	3	356
	7.9%	39.9%	44.1%	4.5%	2.8%	0.8%	100.0%
50～59歳	33	175	133	22	11	1	375
	8.8%	46.7%	35.5%	5.9%	2.9%	0.3%	100.0%
60～69歳	57	252	189	30	9	19	556
	10.3%	45.3%	34.0%	5.4%	1.6%	3.4%	100.0%
70歳以上	120	287	142	24	14	59	646
	18.6%	44.4%	22.0%	3.7%	2.2%	9.1%	100.0%
合計	274	1,027	840	136	76	103	2,456
	11.2%	41.8%	34.2%	5.5%	3.1%	4.2%	100.0%

主要な医療事業の現状

1 リハビリテーション体制

(1) リハビリテーション科を標榜する医療機関数

二次医療圏	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
リハビリテーション科	10	41	13	292	50	16	422

資料:平成20年医療施設調査

(2) 回復期リハビリテーション病棟のある医療施設

圏域	病院名	リハ施設基準			病床数
		脳血管	運動器	呼吸器	
丹後	丹後中央病院	○	○	○	50
中丹	市立福知山市民病院	○	○	○	44
山城北	第二岡本総合病院	○	○		46
	六地藏総合病院	○	○		40
	京都きづ川病院	○	○		50
	田辺記念病院	○	○		38
市内	京都大原記念病院	○	○		172
	京都民医連第二中央病院	○	○	○	51
	洛陽病院	○	○	○	39
	脳神経リハビリ北大路病院	○	○		36
	京都民医連中央病院	○	○	○	42
	京都武田病院	○	○		60
	十条リハビリテーション病院	○	○	○	99
	洛和会音羽病院	○	○	○	50
	京都博愛会病院	○	○	○	30
	久野病院	○	○	○	42
	蘇生会総合病院	○	○	○	54

資料:京都府リハビリテーション支援センター調べ(平成24年3月現在)

(3) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の状況

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	従事者数	10万人対	従事者数	10万人対	従事者数	10万人対
京都府	1,060	40.2	599	22.7	165	6.3
全国	47,541	37.1	30,795	24.0	9,663	7.5

資料:平成22年病院報告

(注)数値は常勤換算

(4) リハビリテーション専門医

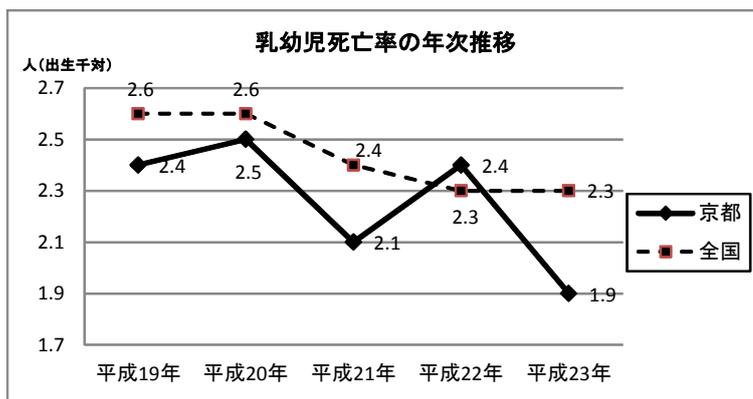
	日本リハビリテーション学会認定専門医
京都府	61人
全国	1,853人

資料:学会公表値(平成24年3月)

2 小児医療

(1) 乳児死亡数・率

◇ 京都府の乳児死亡数は年々減少しており、平成23年は40人となっています。それに伴い、乳児死亡率も減少傾向であり、平成23年の乳児死亡率は1.9と全国で8番目に低い値となっています。



(2) 小児の死亡数(死因別)

◇ 0歳～14歳の子どもの死亡の主な原因は、先天奇形及び染色体異常が最も多く、次いで、傷病及び死亡の外因(不慮の事故等)が多くなっております。

死因	先天奇形及び染色体異常	傷病及び死亡の外因(不慮の事故等)	神経系の疾患	呼吸器系の疾患	感染症及び寄生虫症(腸管感染症等)
死亡数	57	16	14	11	8

(平成23年人口動態統計)

(3) 医療体制

① 小児医師数

◇ 京都府の小児医師数は、全国よりも高い水準で推移していますが、二次医療圏別に見た場合、京都・乙訓地域に偏在しています。

小児医師数(※小児人口千対。小児科、小児外科の合計)

	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年
京都	1.2	1.0	1.2	1.2	1.3
全国	0.8	0.9	0.9	0.9	1.0

資料:平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査を基に独自計算

(注)計算に用いた小児人口は、近時の国勢調査人口

小児科医師数・二次医療圏別(※人口10万対)

丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
7.6	12.2	13.3	18.2	12.6	14.0

資料:平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査を基に独自計算

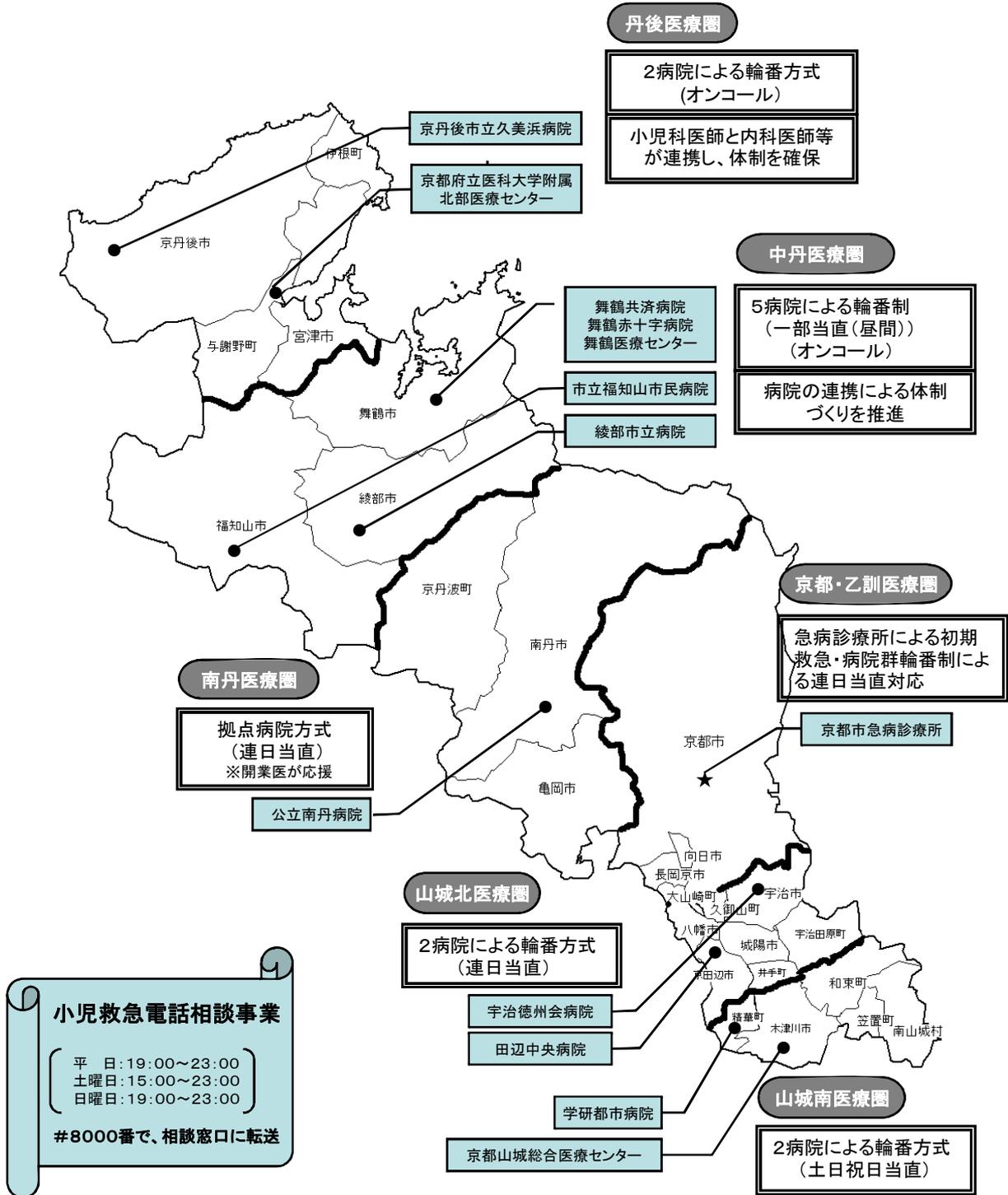
② 小児救急医療体制

◇ 丹後、中丹、南丹、京都・乙訓、山城北医療圏で全日実施しています。山城南医療圏については、一般救急や内科と小児科の連携の強化を図り、患者の状態に応じた診療を受けられるよう対処されています。

医療圏	体制
丹後	<ul style="list-style-type: none"> ・2病院による輪番方式(オンコール) ・小児科医、内科医等が連携し、体制を確保
中丹	<ul style="list-style-type: none"> ・5病院による輪番方式(オンコール及び一部当直) ・病院の連携による体制づくりを推進
南丹	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院方式(連日当直) ・開業医による応援
京都・乙訓	<ul style="list-style-type: none"> ・休日急病診療所による初期救急 ・病院群輪番制による連日当直対応
山城北	<ul style="list-style-type: none"> ・2病院による輪番方式(連日当直)
山城南	<ul style="list-style-type: none"> ・2病院による輪番方式(土日祝日当直)

京都府における小児救急医療体制

(平成25年4月1日現在)



小児救急電話相談事業

平日: 19:00~23:00
 土曜日: 15:00~23:00
 日曜日: 19:00~23:00

#8000番で、相談窓口へ転送

3 周産期医療

(1) 出生数

◇ 京都府の出生数は、減少傾向にあります。

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
総 数	21,597	21,842	21,058	21,234	20,707
丹 後	767	777	703	678	647
中 丹	1,824	1,879	1,801	1,821	1,783
南 丹	1,089	1,046	1,036	1,059	1,023
京都・乙訓	13,027	13,251	12,793	12,914	12,586
山 城 北	3,817	3,728	3,679	3,662	3,599
山 城 南	1,073	1,161	1,046	1,100	1,069

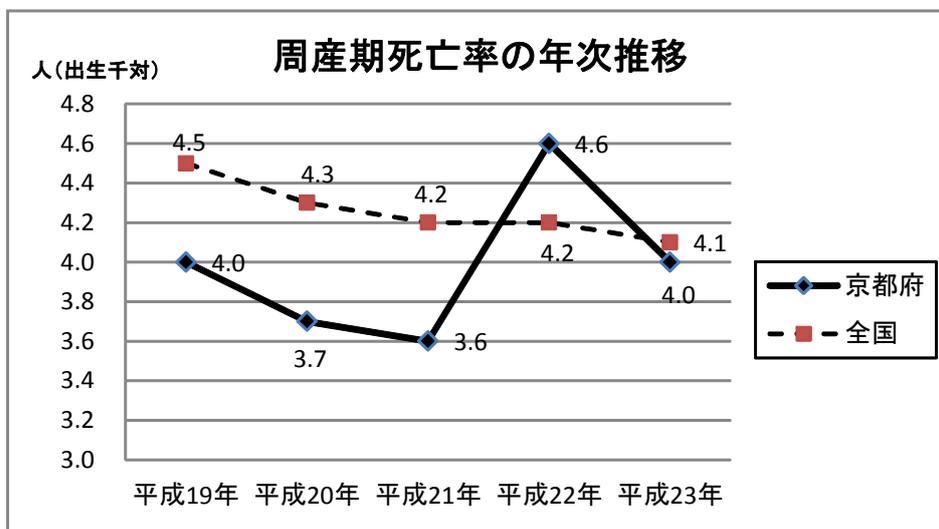
資料: 人口動態統計(単位:人)

(2) 周産期死亡数・死亡率

◇ 周産期死亡数は、減少傾向にあり、死亡率は全国とほぼ同様に推移しています。

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
京 都 府	86	80	77	97	83
全 国	4906	4720	4519	4515	4315

資料: 人口動態統計(単位:人)



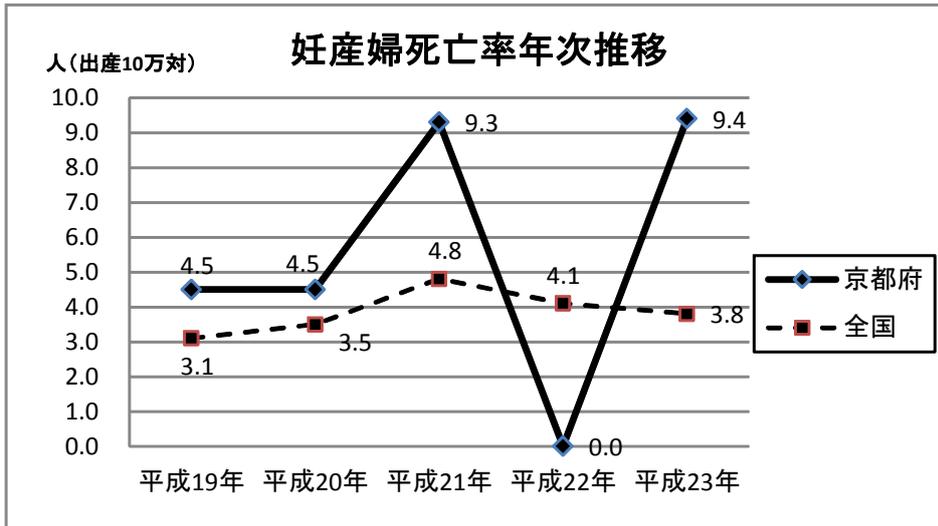
※周産期死亡＝妊娠満22週以後の死産と生後1週未満の早期新生児死亡をあわせたもの

(3) 妊産婦死亡数・死亡率

◇ 京都府の妊産婦死亡数は、近年0～2人で推移しており、死亡率は、件数が少ないこともあり大幅に変動しています。

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
京 都 府	1	1	2	0	2
全 国	35	39	53	45	41

資料：人口動態統計(単位:人)



京都府における周産期医療体制

(平成25年4月1日現在)

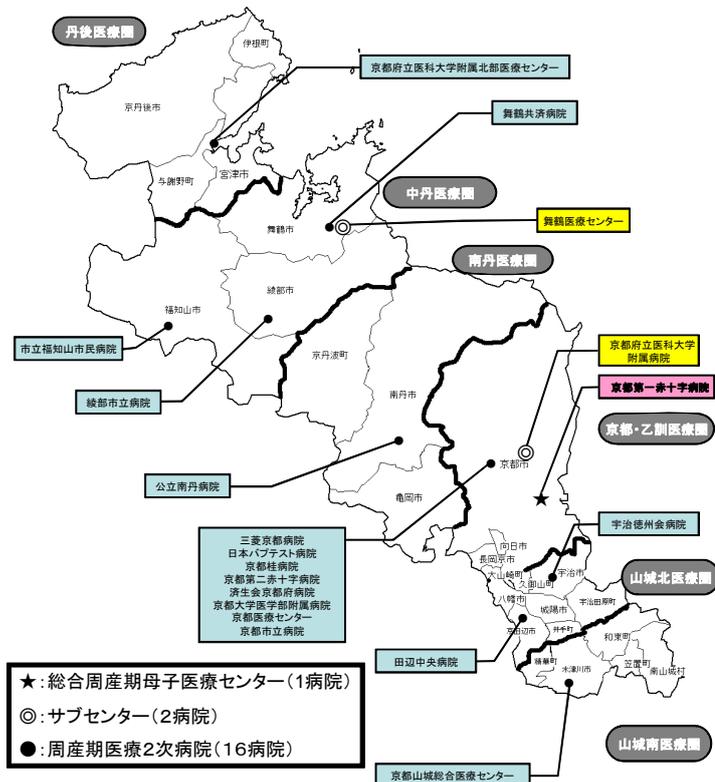
(4) 医療体制

① 周産期医療ネットワーク

◇ 総合周産期母子医療センター(第一赤十字病院)と周産期医療2次病院を中心とした搬送や受入を行っています。

② 周産期医療情報システム

◇ 総合周産期医療センター(第一赤十字病院)が、かかりつけ医からの連絡を受け、高度・専門的な医療を必要とする周産期の病態等に適切に対応できる医療機関への搬送・受入等の調整を実施しています。



③ 府県間広域搬送

◇ 「広域搬送調整拠点病院(京都第一赤十字病院)」による府県域を超えた搬送・受入の調整を実施しています。

④ 産科・産婦人科医師数

◇ 産科・産婦人科の医師数は、全国より高い水準で推移していますが、二次医療圏別に見た場合、京都・乙訓地域に偏在しています。

産科・産婦人科医師数(出生千対)

	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年
京 都 府	12.3	11.8	11.2	11.6	11.8
全 国	9.6	9.5	9.2	9.5	9.9

資料: 医師・歯科医師・薬剤師調査

産科・産婦人科医師数(人口10万対)・二次医療圏別

丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
5.7	9.3	4.9	11.6	5.2	5.2

資料: 平成22年度医師・歯科医師・薬剤師調査

(5) 周産期医療機関への搬送・受入状況

◇ 総合周産期母子医療センター及び周産期医療2次病院への搬送・受入は増加傾向にあります。

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
小 児	884	734	1005	853	936
母 体	300	280	245	265	368

資料: 京都府医療課調べ

4 救急医療

(1) 救急搬送の状況

① 救急搬送体制

	救急隊総数	救急隊員数	うち救命士 有資格者数	救急車 稼働台数	救命士が同乗している 救急車の割合
京都府	80	1,078	420	108	90.00%
全国	4,927	59,650	22,067	6,003	80.50%

資料：平成23年版救急・救助の現状

② 救急搬送人員数

- ◇ 救急搬送人員については、平成20年までは中等症・軽症患者数の減少に伴い減少傾向にありましたが、平成21年以降中等症・軽症患者数が増加に転じたことを受け、平成22年の合計は平成18年より増加しています。

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	構成比	増加率(対H18)
死亡	1,511	1,482	1,514	1,433	1,442	1.3%	-4.6%
重症	8,592	7,384	6,744	7,455	6,917	6.2%	-19.5%
中等症	33,605	33,261	32,093	31,803	33,996	30.6%	1.1%
軽症	66,213	67,511	64,066	65,132	68,825	61.9%	3.9%
その他	28	58	27	26	23	0.0%	-17.9%
合計	109,949	109,696	104,444	105,849	111,203	100%	1.1%

資料：京都府消防安全課調べ

- ◇ 医療圏別に見ますと、特に南部地域での搬送件数が増加しています。

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	構成比	増加率(対H18)
丹後	4,382	4,204	4,046	3,933	4,345	3.9%	-0.9%
中丹	8,079	7,867	7,569	7,595	7,955	7.2%	-1.6%
南丹	5,165	5,025	4,946	5,103	5,342	4.8%	3.4%
京都・乙訓	71,631	71,538	67,630	68,457	71,567	64.4%	-0.1%
山城北	16,761	17,111	16,513	16,957	17,918	16.1%	6.9%
山城南	3,931	3,951	3,740	3,804	4,076	3.7%	3.6%
合計	109,949	109,696	104,444	105,849	111,203	100%	1.1%

資料：京都府消防安全課調べ

③ 搬送時間

- ◇ 搬送時間に要する時間については、全国に比較して短い状況にあります。

	京都府	全国
救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した時間(分)	30.3	37.4
重症以上傷病者の搬送時 現場滞在時間が30分以上	件数	144
	割合	2.00%
重症以上傷病者の搬送時 医療機関に4回以上照会	件数	194
	割合	2.60%

資料：平成23年版救急・救助の現状

平成22年度中の救急搬送における医療機関の受入状況実態調査

④ 心肺機能停止患者の1ヶ月後の予後

	京都府	全国
心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率	10.80%	11.40%
心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後社会復帰率	5.70%	6.90%

資料：平成23年版救急・救助の現状

(2) 医療体制

① 救急告示医療機関

◇ 救急告示医療機関数は横ばいに推移しています。

救急告示医療機関数(二次医療圏別)

	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年
丹後	4	4	4	4
中丹	9	8	8	8
南丹	6	6	6	6
京都・乙訓	62	63	58	58
山城北	13	12	12	13
山城南	2	3	3	3
合計	96	96	91	92

資料：京都府医療課調べ(各年10月1日現在)

② 初期救急医療体制

目的	方法	実施体制
休日夜間における比較的軽症な急病患者の医療の確保	在宅当番医制	5地区(乙訓、福知山、舞鶴、与謝、北丹) 協力医療機関数 81 (一般診療所中、2.5%が参画)
	休日夜間急患センター	10ヶ所

(平成24年3月31日現在)

③ 二次救急医療体制

目的	方法	実施体制
休日夜間における入院治療等を必要とする救急患者の医療の確保	病院群輪番制 (二次医療圏単位で実施)	2医療圏 (京都・乙訓、山城北)
		参加医療機関数 72 (救急告示病院を含む)

(平成24年4月1日現在)

④ 三次救急医療体制

目的	方法
心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷、多発外傷等重篤救急患者の医療を24時間体制で確保	救命救急センター

救命救急センター指定病院一覧

医療機関名	年間救急患者数 (平成22年度)	充実度評価 Aの割合
京都第一赤十字病院	32,381	100%
京都第二赤十字病院	39,352	
国立病院機構京都医療センター	21,808	
洛和会音羽病院	25,120	※平成24年3月30日に指定されたため、充実度評価をまだ受けていない。
宇治徳洲会病院	77,898	
市立福知山市民病院	13,141	

資料:厚生労働省「救命救急センターの評価結果(平成23年度)について」

⑤ 救急医療情報システム

目的	方法	実施体制
救急医療機関から空床情報等の提供を受け、適切で迅速な医療提供体制を確保	インターネットにより府民、消防機関へ情報提供	端末設置機関数 137 医療機関数 118 消防機関数 15 医師会、地区医師会 2 京都府、情報センター 2

(平成24年7月1日現在)

⑥ ドクターヘリ

- ◇ 平成22年度から公立豊岡病院を基地病院として兵庫県北部、京都府北中部、鳥取県東部との3府県共同運航事業を実施。(平成23年度から関西広域連合へ移管)

平成23年度出動要請・キャンセル件数

医療圏	出動要請	うちキャンセル 搬送なし	府内 搬送先	同一 医療圏内
丹後	118	15	27	20
中丹	59	12	31	31
南丹	36	11	19	9
合計	213	38	77	60

資料:京都府医療課調べ

※ 同一医療圏内=要請消防本部と搬送先病院の所在医療圏が同一であった件数

⑦ 救急蘇生法・自動体外式除細動器(AED)の普及啓発

公立施設における一般市民が利用可能なAED設置台数

圏域	府立施設	市町村立施設	合計
丹後	22	155	177
中丹	24	98	122
南丹	21	151	172
京都・乙訓	129	167	296
山城北	25	233	258
山城南	12	82	94
合計	233	886	1,119

資料:京都府医療課調べ

救急蘇生法

	京都府	全国
住民の救急蘇生法講習の受講率	1.84%	1.16%
心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	13	1,298

資料：平成23年版救急・救助の現状

(3) メディカルコントロール体制

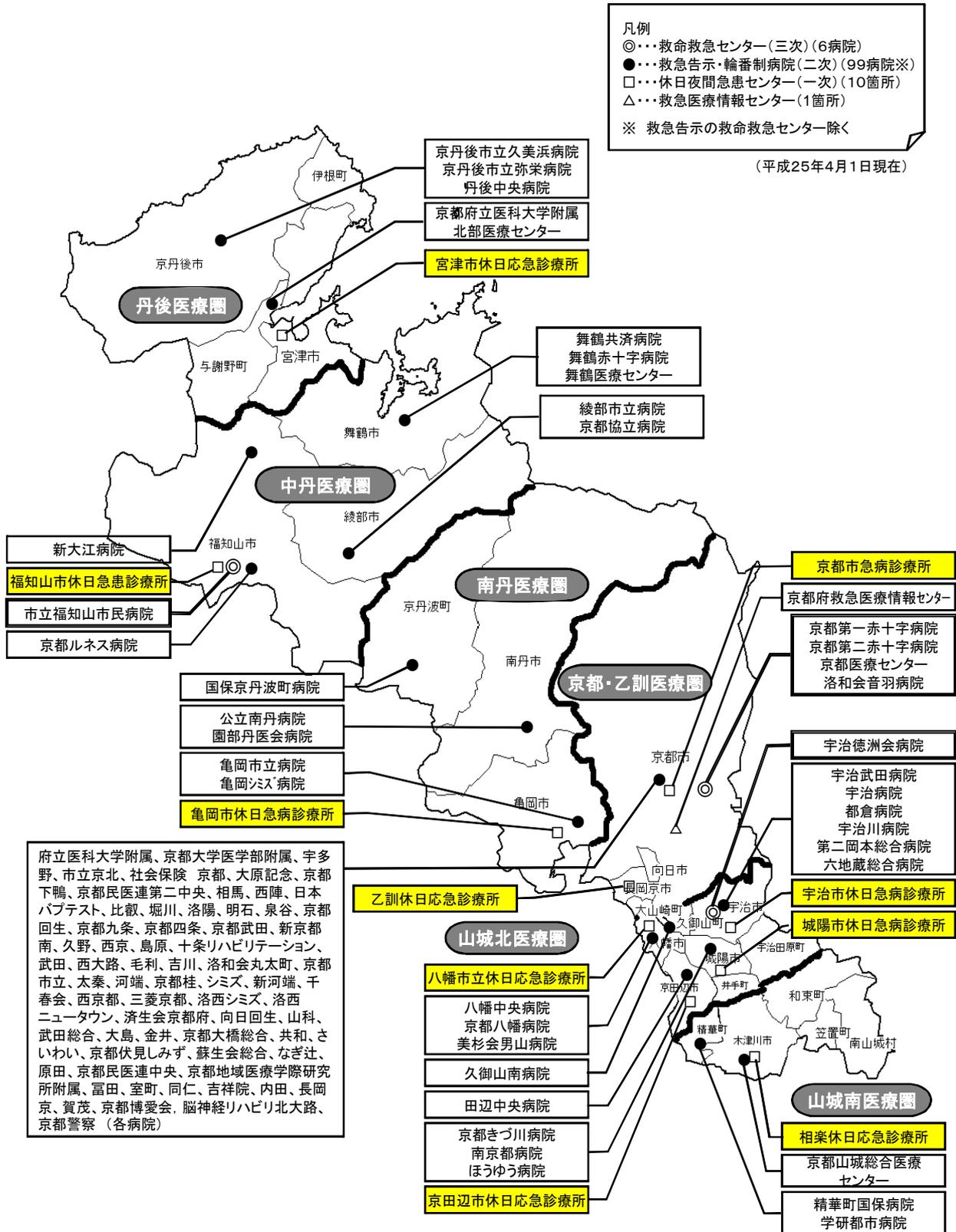
◇ 救急業務の高度化を推進するため、医学的観点から救急隊員が行う応急措置等の質の保障（メディカルコントロール）が行われています。

① メディカルコントロール協議会の状況

◇ 各二次医療圏を単位として、医療・消防・行政によるメディカルコントロール協議会を設置し、救急救命士の処置拡大やマニュアルの作成等、体制整備を図っています。

平成23年度開催回数 11回

京都府救急医療体制図



5 災害医療

(1) 災害の分類

- ◇ 京都府地域防災計画、国民保護計画に基づいた災害対策を進めています。
 - ・ 自然災害（地震・風水害）
 - ・ 事故（鉄道事故、航空機事故、油流出事故、大規模火災等）
 - ・ 原子力災害（原子力発電施設等での放射線の漏洩）
 - ・ 武力攻撃事態（テロ等）

(2) 医療・救護活動体制の基本的枠組

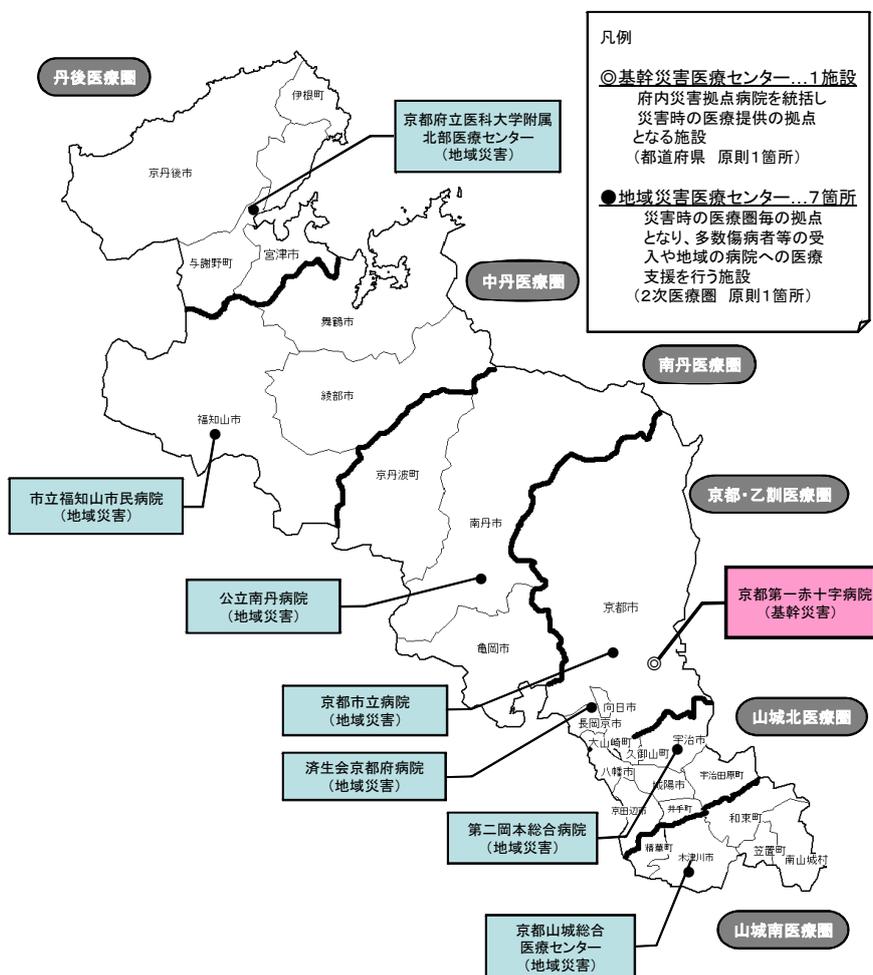
① 災害拠点病院

- ◇ 地震等の大規模災害時には、基幹災害拠点病院（京都第一赤十字病院）及び地域災害拠点病院（右図参照）を拠点に、DMAT及び救護班の編成、重症患者の後送、医療機関の調整等が行われます。

京都府では、平成24年3月に山城北医療圏域で、新たに1医療機関を地域災害拠点病院に指定し、二次医療圏域に少なくとも1箇所の災害拠点病院を置く体制が整備できました。

京都府における災害拠点病院

(平成25年4月1日現在)



② 緊急災害医療チーム（DMAT）

◇ 緊急災害医療チームは、災害急性期に、京都府の指示等により被災地や大規模事故現場に派遣され、現場での医療救護活動や被災地の災害対策本部での医療チームの派遣調整活動、災害拠点病院での傷病者の後方搬送業務などに当たることを想定された、京都府から指定を受けた特別の医療従事者のチームです。また、府内の医療機関のみで対応が困難な場合は、京都府は他府県のDMATに対し応援を要請します。京都府内のDMATの指定状況は下表のとおりです。

機能	医療機関名	チーム数	隊員数
基幹災害拠点病院	京都第一赤十字病院	3	17
地域災害拠点病院	府立与謝の海病院	1	8
地域災害拠点病院	市立福知山市民病院	2	7
地域災害拠点病院	公立南丹病院	2	10
地域災害拠点病院	京都市立病院	2	12
地域災害拠点病院	済生会京都府病院	1	5
地域災害拠点病院	第二岡本総合病院	1	5
地域災害拠点病院	公立山城病院	1	3
-	国立病院機構京都医療センター	2	10
-	京都大学医学部附属病院	3	14
-	京都府立医科大学附属病院	1	6
合 計		19	97

（平成24年4月1日現在）

これまでに、府内での活動実績はありませんが、平成23年3月の東日本大震災の被災地支援では、合計8病院8チーム42名（医師13名・看護師19名・10名）が活動に従事しました。

③ 救護班

◇ 救護班は、基幹災害拠点病院及び地域災害拠点病院、地区医師会単位で編成され、被災市町村へ派遣、負傷者の応急処置を行います。

京都府(保健所等)	18班	医師、薬剤師、看護師、 補助員、運転員1名ず つで1班
日赤京都府支部	15班	
京都府医師会	26班	

（平成24年3月末現在）

④ 救護所

◇ 救護活動の場として、被災地の最寄り保健所を救護所とする他、基幹災害拠点病院及び地域災害拠点病院の資機材による仮設救護所を設置、また、激甚災害時には小学校・公民館等の施設を救護所とすることとしています。

⑤ 医薬品・医療用品の供給

- ◇ 京都府薬剤師会や京都府医薬品卸売協会等との協定締結により、平常時から流通医薬品や医療用品の確保を行っており、災害時には被災地へ供給します。

<医薬品供給に係る協定一覧>

協定名	協定の相手	内容
災害時における医薬品等の取扱いに関する協定	(一社)京都府薬剤師協会	●京都府が設置する医薬品集積場所における医薬品の受入、仕分け、保管管理及び配分
災害時における医薬品等の供給に関する協定書	(一社)京都府薬剤師協会 (公社)京都府登録販売者協会	●災害用医薬品の確保、被災地への供給
災害時における医療用品等の供給に関する協定書	京都府医療品卸商組合	●災害用医療用品等の確保、被災地への供給
災害時における医療用ガス等の供給に関する協定書	日本医療ガス協会近畿地域本部 京都府支部	●災害用医療用ガス等の確保、被災地への供給
災害用医薬品備蓄及び供給等に関する委託契約	京都府医薬品卸協会	●災害用医薬品の流通備蓄及び供給

(3) 医療機関の耐震化等ハード対策の実施状況

- ◇ 医療施設は、自力で避難することが困難な利用者が多く、また、災害拠点病院をはじめとする医療機関は、多数の傷病者に対して迅速かつ適切な医療・救護活動を行うことが求められます。これらの活動の前提となる京都府内の医療機関のハード対策の状況は下表のとおりです。

指標名	数値	調査年月
全病院の耐震化率 (全てが新耐震基準である病院/回答病院数)	40.2% (71/177)	平成21年1月
全ての施設が耐震化された災害拠点病院の割合	62.5% (5/8)	平成24年4月
災害拠点病院のうち、災害に備えて医療資機材の備蓄を行っている病院の割合	87.5% (7/8)	平成24年4月
災害拠点病院のうち、受水槽の保有や、井戸設備の整備を行っている病院の割合	100% (8/8)	平成24年4月
災害拠点病院のうち、食料や飲料水、医薬品等を3日分程度備蓄している病院の割合	87.5% (7/8)	平成24年4月
災害拠点病院のうち、病院敷地内にヘリポートを有している病院の割合	87.5% (7/8)	平成24年4月

(4) 医療機関における被害状況の把握、訓練・研修の実施等ソフト対策の実施状況

- ◇ 地震等の災害時には、国の「広域災害・救急医療情報システム (EMIS)」と連動した「京都府救急医療情報システム」により、各医療機関の被害状況・患者受入可否状況を把握し、国、府、各市町村の災害対策本部や各医療機関相互間で傷病者の搬送調整等を行います。
- ◇ これらのシステムを活用して把握された情報に基づく、緊急災害医療チームや救護班の派遣調

整、傷病者の搬送調整、医療機関や救護所における治療優先順位の決定、被災現場での消防・警察・自衛隊等との連携活動は、平常時から訓練や研修等で実戦に備えていく必要があります。

これら京都府内の医療機関等におけるソフト対策の実施状況は下表のとおりです。

主な対象	指標名	数値	調査年月
府・市町村 ・医療機関	災害時の医療チーム等の受入を想定し、都道府県が派遣調整本部のコーディネート機能の確認を行う災害実働訓練実施回数	0回	平成24年4月
	災害時の医療チーム等の受入を想定し、保健所管轄区域や市町村単位等で地域災害医療対策会議コーディネート機能の確認を行う災害実働訓練実施箇所数及び回数	年間2回	平成24年4月
基幹災害拠点病院	基幹災害拠点病院が、地域災害拠点病院の職員に対して実施した災害医療研修(実施回数×人数等)	41 (1回×41名)	平成24年4月
	基幹災害拠点病院における県下の災害関係医療従事者を対象とした研修の実施回数	1回	平成24年4月
災害拠点病院	災害拠点病院のうち、傷病者が多数発生した場合を想定した災害実働訓練を実施した病院の割合	62.5% (5/8)	平成24年4月
	災害拠点病院のうち、食料や飲料水、医薬品等の物資の供給について、関係団体等と協定を結び優先的に供給される体制を整えている病院の割合	37.5% (3/8)	平成24年4月
全医療機関	災害対応マニュアル(業務継続計画を含む。)を策定している病院の割合	7/27締切照会中	平成24年7月
	広域災害・救急医療情報システム(EMIS)へ登録している病院の割合(母数：全救急病院)	95.2% (99/104)	平成24年3月
	EMISの操作等の研修・訓練を定期的に行っている病院の割合	7/27締切照会中	平成24年7月
	各地域における防災訓練に参加した医療従事者数	7/27締切照会中	平成24年7月
	災害時の通信手段を確保している病院の割合	7/27締切照会中	平成24年7月
	災害時の搬送先を確保している病院の割合	7/27締切照会中	平成24年7月

(5) 緊急被ばく医療

緊急被ばく医療機関

区分	圏域	医療機関名
初期	南丹	亀岡シミズ病院、亀岡市立病院、公立南丹病院、国保京丹波町病院
	中丹	市立福知山市民病院、京都ルネス病院、国民健康保険新大江病院、京都協立病院、綾部市立病院、国立病院機構舞鶴医療センター、舞鶴赤十字病院、舞鶴共済病院
	丹後	府立与謝の海病院、丹後中央病院、京丹後市立弥栄病院、京丹後市立久美浜病院
二次		国立病院機構京都医療センター
三次		放射線医学総合研究所、広島大学

安定ヨウ素剤

- ◇ 原子力災害が発生した場合、放射性ヨウ素が周辺に放出される可能性があり、人が放射性ヨウ素を吸入し、身体に取り込むと、甲状腺に選択的に集積するため、放射線の内部被ばくによる甲状腺がん等を発生させる可能性があります。

安定ヨウ素剤は、服用することで、放射性ヨウ素剤の甲状腺集積を防ぐことができ、甲状腺の被ばくを低減させる効果があります。

保管場所と保管量

場 所	丸 薬	粉 末	備 考
京都府緊急時放射線検査施設 (市立舞鶴市民病院敷地内)	171,000丸	1,500g	薬品計量器、調剤器具(スポイト等)を含む
綾部市立病院	1,000丸	-	

(平成24年6月1日現在)

6 へき地医療

(1) 無医地区等の現状

- ・無医地区等調査（平成21年10月）によると、府内に無医地区は8市町村13地区、無歯科医地区は8市町村17地区となっています。
- ・無医地区、無歯科医地区は、平成16年に比較し、無医地区は1地区減、無歯科医地区は3地区減少しています。

平成21年10月末現在(単位:地区)

二次医療圏	市町村名	無医地区	無歯科医地区
丹後	宮津市	1	1
	京丹後市	3	4
中丹	綾部市	2	4
	福知山市	1	1
南丹	京丹波町	1	1
	南丹市	2	3
山城北	宇治市	1	1
山城南	南山城村	2	2
合計		13	17
前回調査(平成16年)		14	20

【無医地区・無歯科医地区】

医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として概ね4kmの区域内に50人以上が居住している地域であって、かつ容易に医療機関を受診できない地区をいう。

【準無医地区・準無歯科医地区】

無医地区（無歯科医地区）には該当しないが、無医地区等に準じた医療の確保が必要な地区として、知事が厚生労働大臣と協議の上認めた地区をいう。

【へき地】

「へき地保健医療対策」において「へき地」とは、交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地、離島その他の地域のうち、医療の確保が困難であって、「無医地区」及び「無医地区に準じる地区」の要件に該当するものをいう。

【へき地診療所】

概ね4kmの区域内に他の医療機関がなく、区域内の人口が1,000人以上であり、かつ、最寄りの医療機関まで交通機関を利用して30分以上要する

資料:無医地区・無歯科医地区調査(厚生労働省)

○へき地の医療提供体制の現状

<へき地診療所>

市町村等により、府内に15箇所（うち歯科診療所2箇所）に設置。

<へき地医療拠点病院>

現在、府内10箇所の病院をへき地医療拠点病院として指定。

<へき地医療支援機構>

平成15年から府立与謝の海病院に設置。

○ドクターヘリ共同運航事業の実施

平成22年度から公立豊岡病院を基地病院として兵庫県（北部）、京都府（北中部）、鳥取県（東部）との3府県共同運航事業を実施。

（平成23年度から関西広域連合へ移管）

実績 H22 847件（うち府180件）H23 1,254件（うち府213件）

7 在宅医療

(1) 京都府の高齢化率の推移

京都府の65歳以上の高齢者人口及び高齢化率は605,709人、23.0%となっており、全国の高齢化率22.8%を上回っています。また、丹後圏域、中丹圏域及び南丹地域において高齢化率が高く、京都・乙訓圏域、山城北圏域及び山城南圏域では低くなっています。

圏域別の総人口と高齢者数の推移

単位：千人

		全 国	京 都 府						
			丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	
昭和 55年	総人口	117,060	2,527	134	222	135	1,611	364	62
	65歳以上 (9.1%)	10,647 (9.1%)	258 (10.2%)	20 (14.6%)	30 (13.4%)	16 (12.2%)	161 (10.0%)	24 (6.5%)	7 (11.7%)
昭和 60年	総人口	121,049	2,587	130	224	140	1,623	400	68
	65歳以上 (10.3%)	12,468 (10.3%)	290 (11.2%)	22 (16.5%)	33 (14.8%)	18 (13.1%)	178 (11.0%)	30 (7.4%)	8 (12.1%)
平成 2年	総人口	123,611	2,602	125	220	148	1,607	423	79
	65歳以上 (12.0%)	14,895 (12.0%)	327 (12.6%)	24 (19.2%)	38 (17.2%)	21 (14.3%)	197 (12.3%)	37 (8.8%)	10 (12.4%)
平成 7年	総人口	125,570	2,630	121	217	156	1,612	436	87
	65歳以上 (14.5%)	18,261 (14.5%)	387 (14.7%)	28 (22.7%)	45 (20.5%)	26 (16.4%)	230 (14.2%)	48 (10.9%)	12 (13.8%)
平成 12年	総人口	126,926	2,644	118	216	157	1,615	443	96
	65歳以上 (17.3%)	22,005 (17.3%)	459 (17.4%)	31 (26.0%)	50 (23.0%)	30 (19.0%)	274 (16.9%)	61 (13.8%)	15 (15.2%)
平成 17年	総人口	127,768	2,648	112	211	148	1,623	445	108
	65歳以上 (20.1%)	25,672 (20.1%)	530 (20.0%)	32 (28.9%)	53 (25.1%)	31 (21.2%)	319 (19.6%)	77 (17.3%)	18 (16.6%)
平成 22年	総人口	128,057	2,636	105	204	143	1,623	446	115
	65歳以上 (22.8%)	29,246 (22.8%)	606 (23.0%)	33 (31.7%)	56 (27.4%)	35 (24.4%)	362 (22.3%)	97 (21.7%)	22 (19.3%)

資料：各年の国勢調査

注意：() 内は高齢化率 65歳以上の人口／総人口

(2) 在宅患者の訪問診療を実施している医療機関数(病院・診療所)

	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
在宅診療実施医療機関	25	56	23	516	81	28	729

資料：京都健康医療よろずネット（平成24年8月現在）

(3) 在宅療養あんしん病院の指定状況

	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
在宅療養あんしん病院	6	13	8	85	19	3	134

資料：京都府医療課調べ（平成24年12月現在）

(4) 地域医療支援病院

医療機関名	病床数(床)	承認年月日
京都第二赤十字病院	680	平成18年4月1日
京都第一赤十字病院	745	平成18年12月27日
医療法人康生会武田病院	300	平成18年12月27日
京都府立与謝の海病院	295	平成18年12月27日
独立行政法人国立病院機構京都医療センター	600	平成20年8月19日
社会福祉法人恩賜財団済生会京都府病院	350	平成20年8月19日
独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	494	平成20年8月19日
独立行政法人京都市立病院機構京都市立病院	548	平成21年9月1日
社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院	585	平成23年10月1日
国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院	320	平成24年5月1日
社会医療法人岡本病院第二岡本総合病院	419	平成24年10月1日

資料：京都府医療課調べ（平成24年12月現在）

主要5疾病の現状

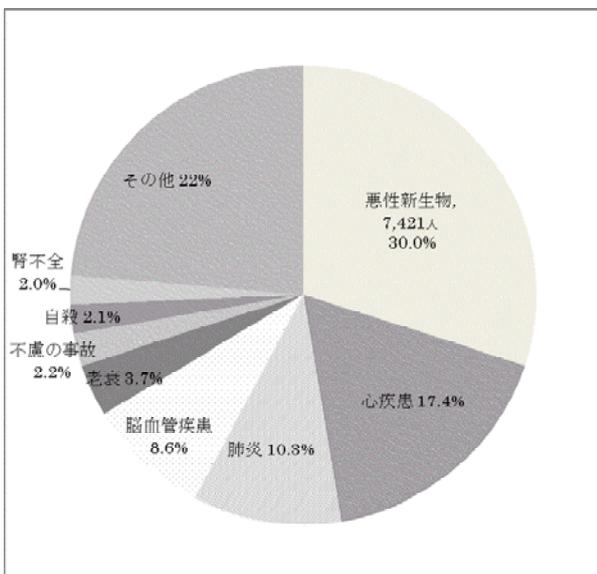
1 がん

(1) がんによる死亡者数・死亡率（主ながんの種類別）

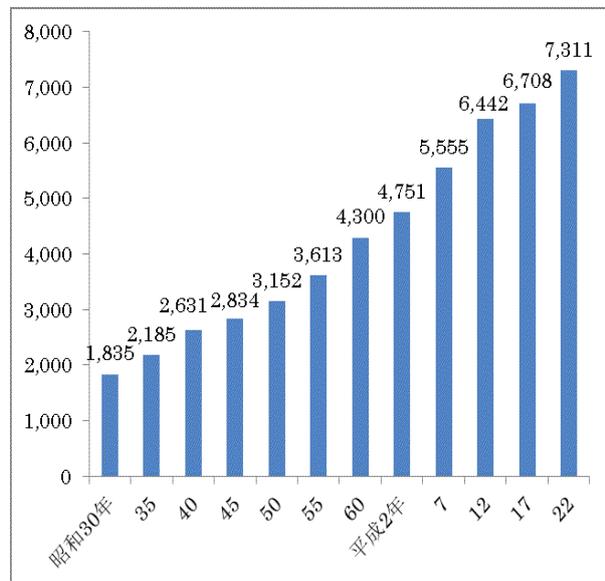
京都府の悪性新生物（以下「がん」）による死亡は、死亡者全体の3割を占め、死亡原因の第1位となっています。

また、がんによる死亡数は、年々増加を続け、平成23年（2011年）には7,421人となっています。

【図1】 京都府の死因別死亡割合
（平成23年（2011年））



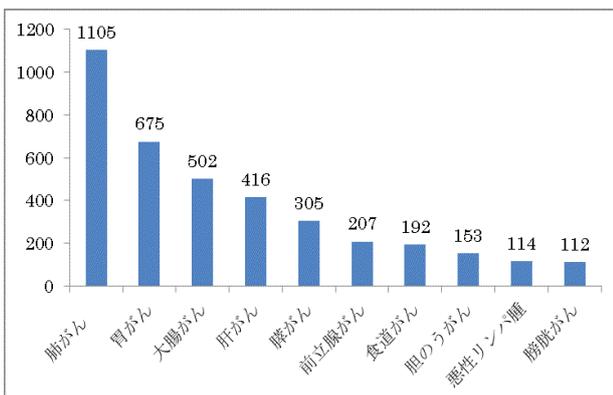
【図2】 京都府のがん死亡数の推移



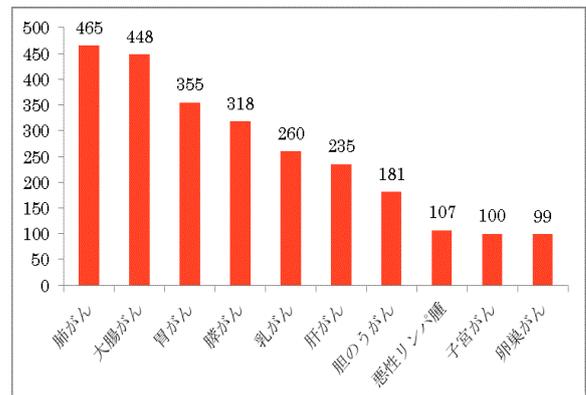
がんの部位別で死亡数をみると、男性では肺がんが最も多く、次いで胃がん、大腸がんの順であり、女性では肺がんが最も多く、次いで大腸がん、胃がんの順になっています。

【図3】 京都府の部位別死亡数 男女別（平成23年（2011年））

<男性>



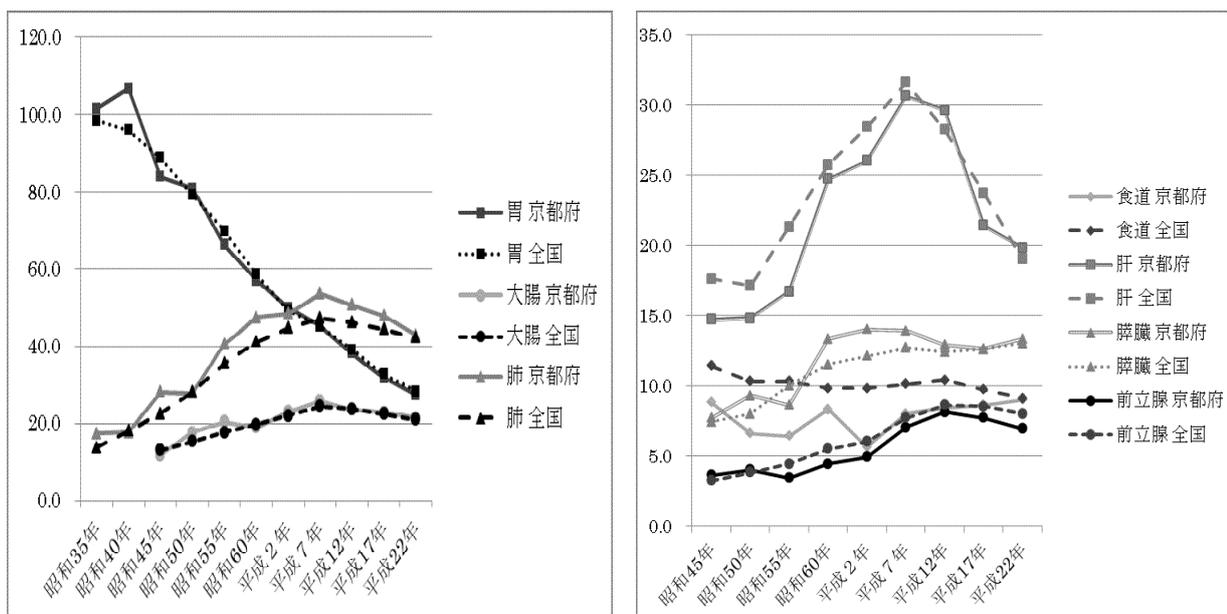
<女性>



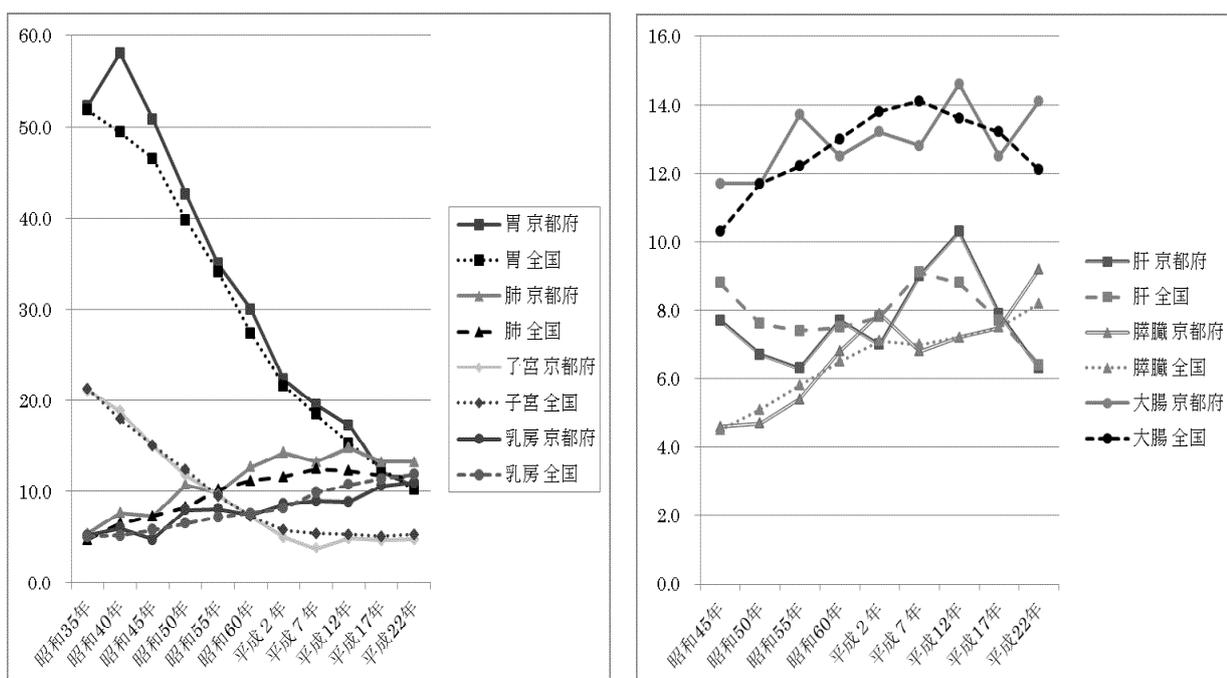
がんの部位別年齢調整死亡率の推移をみると、男性では胃がん、肺がん、肝がんが減少傾向にあり、大腸がん、前立腺がんも緩やかな減少傾向が見られますが、膵がん、食道がんに横ばい傾向がみられます。

また、女性では胃がん、子宮がん、肝がんが減少傾向にあります。大腸がん、乳がん、膵がんは緩やかな増加傾向がみられます。

【図4】 京都府および全国の部位別年齢調整死亡率の推移：男性



【図5】 京都府および全国の部位別年齢調整死亡率の推移：女性



また、がんの部位別の死亡率を全国と比較すると、男性では肺がん、大腸がんがやや高く、女性では肺がん、大腸がん、膵がんが全国より高くなっています。

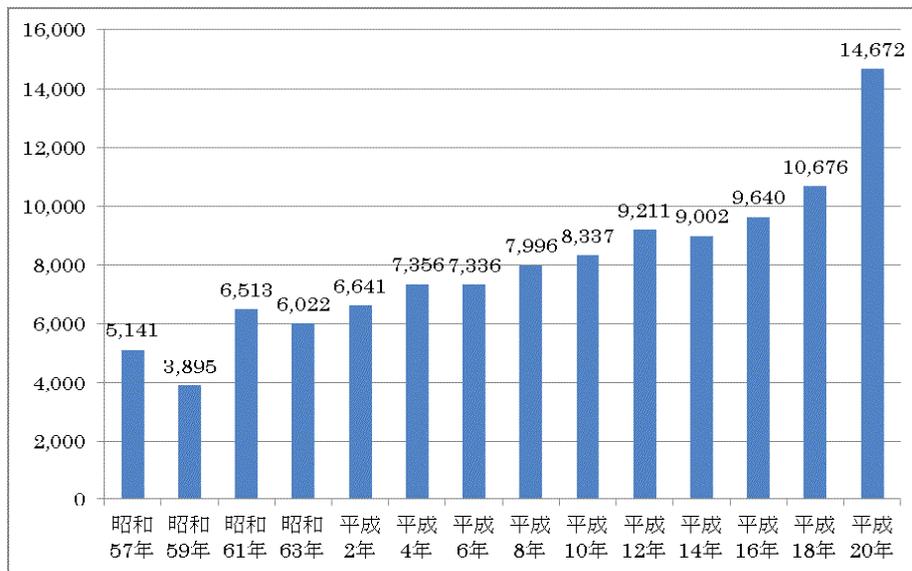
(2) 罹患の状況

地域がん登録※の集計結果によると、京都府のがん罹患数（新たにかんが発見された人）は年々増加しており、平成20年（2008年）では14,672人（男性8,198人、女性6,474人）となっています。

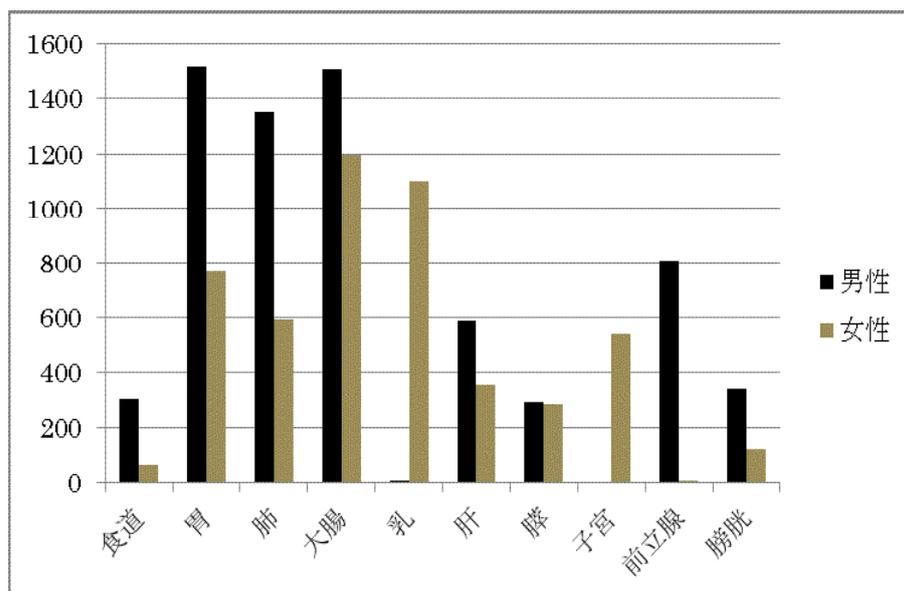
※ただし、近年、がん登録の届出数が飛躍的に増加していることから、本来のがん罹患数の増加以上に罹患数が増加している可能性があることに留意する必要があります。

がんの部位別では、男性では胃がん、大腸がん、肺がん、女性では大腸がん、乳がん、胃がんの順となっています。

【図6】 京都府のがん罹患数の推移（出典：京都府地域がん登録）



【図7】 京都府の部位別罹患数（平成20年（2008年））



(3) がんに関する因子の状況

○京都府における成人喫煙率は全国よりも低く、徐々に低下しています。

【表2】 京都府の喫煙率の推移（出典：国民生活基礎調査）

		平成13年	平成16年	平成19年	平成22年
男女計	全国	27.8%	26.1%	23.6%	19.5%
	京都	24.8%	24.5%	22.0%	17.7%
男	全国	43.9%	40.9%	36.3%	30.2%
	京都	34.7%	38.0%	33.1%	27.2%
女	全国	15.8%	12.5%	11.8%	9.6%
	京都	11.7%	12.6%	11.7%	9.1%

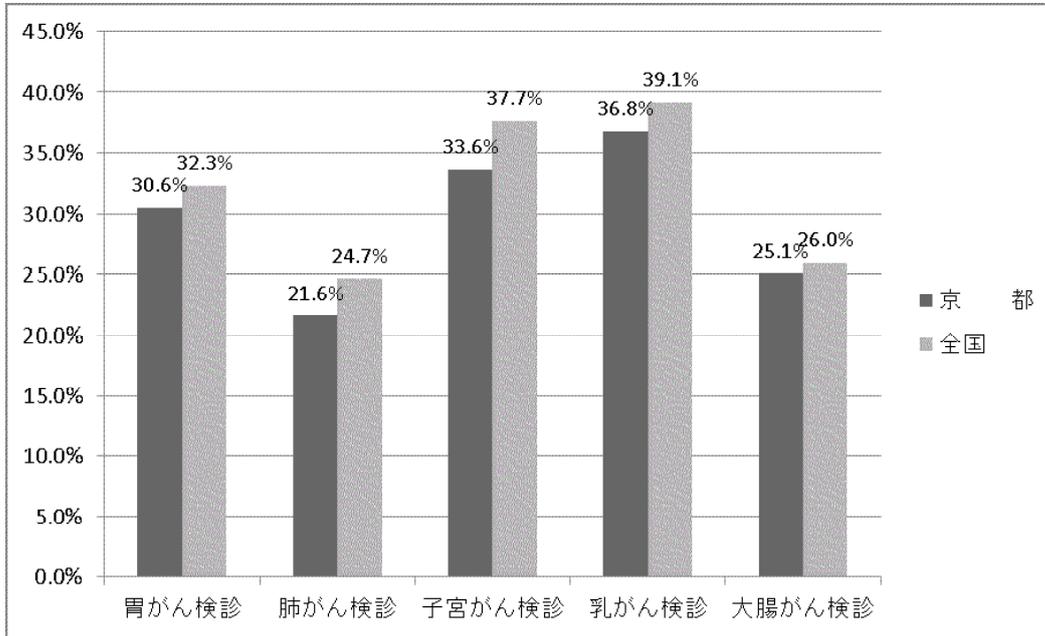
○禁煙治療を実施している医療機関数、敷地内禁煙等の受動喫煙防止措置を講じている医療機関数は徐々に増加しています。

		現状値
禁煙外来を行っている医療機関数 (出典：診療報酬施設基準届出状況)		287施設 (平成24年度)
がん拠点病院等の禁煙治療実施率 (京都府健康対策課とりまとめ)		52.4% (平成24年度)
敷地内禁煙をしている医療の割合 (出典：医療施設調査)	病院	53.1% (平成23年)
	診療所	28.8% (平成23年)

(4) がん検診の状況

○様々な形態のがん検診を合わせた受診率については、国民生活基礎調査による抽出調査の結果が出ていますが、20～30%台となっており、全国平均を下回っています。

【図12】 69歳以下の検診受診率 京都府と全国の比較 出典：国民生活基礎調査



(5) がん診療連携拠点病院等の指定状況

○府内のがん診療連携拠点病院、京都府がん診療連携病院・推進病院（以下「拠点病院等」）では、集学的治療を提供するとともに、がんの診療機能に係る機能強化を推進しており、府もそれらの取組を把握し、進行管理するとともに、人材育成に対する支援等を行っています。

＜拠点病院等における取組＞
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門医資格、認定薬剤師・看護師等の取得推進 ・ キャンサーボードの開催等、集学的治療の提供 ・ 院内クリティカルパス等、医療の標準化 ・ 化学療法等のチーム医療の実施 等

【表 5】 がん診療連携拠点病院等の役割と指定状況

指定の種類	役割等	指定数
都道府県がん診療 連携拠点病院	都道府県内の連携体制構築	2
地域がん診療連携拠点病院	地域（二次医療圏等）の 連携体制構築	7
京都府がん診療連携病院	がん診療連携拠点病院のない 二次医療圏での連携体制構築	5
京都府がん診療推進病院	上記病院等と連携し医療水準の 向上等に協力	7

(6) がん医療・緩和ケアの状況

①がん医療の状況

がんに対する主な治療方法としては、手術、放射線療法及び化学療法があります。がんの治療のためには、個々のがん患者の状況に応じて一番適切な治療方法を選ぶとともに、これらの治療法を効果的に組み合わせた集学的治療を行う必要があります。

【表 6】 がんの治療実施医療機関数

		全国	京都府
放射線治療を実施している医療機関数	放射線治療(体外照射)装置実施施設数	767	15
	人口100万人対	6.0	5.9
	放射線治療(腔内・組織内照射)実施施設数	187	3
	人口100万人対	1.5	1.2
	強度変調放射線治療(IMRT)実施施設数	213	4
	人口100万人対	1.7	1.6
外来化学療法を実施している医療機関数	外来化学療法を実施している一般診療所数	734	25
	人口10万人対	0.6	1.0
	外来化学療法室設置病院数	1,612	41
	人口10万人対	1.3	1.6
	外来化学療法加算1、2届出施設数	2,438	58
	人口10万人対	1.9	2.3

【表 7】 がんの治療実績数(平成23年9月)

		全国	京都府
悪性腫瘍手術の実施件数	一般診療所における悪性腫瘍手術実施件数	1,290	40
	人口10万人対	1.0	1.6
	病院における悪性腫瘍手術実施件数	50,739	950
	人口10万人対	39.9	37.2
放射線治療の実施件数	病院における放射線治療(体外照射)実施件数	239,489	5,264
	人口10万人対	188.5	206.3
	病院における放射線治療(腔内・組織内照射)実施件数	1,386	15
	人口10万人対	1.1	0.6
外来化学療法の実施件数	一般診療所における外来化学療法実施件数	11,898	535
	人口10万人対	9.4	21.0
	病院における外来化学療法室の取扱患者延数	197,815	4,727
	人口10万人対	155.7	185.2

【表 8】 専門的ながん診療を行う医療従事者

	全国	京都府
がん治療認定医数	11,267	324
人口10万人対	8.9	12.7
病理診断科医師数	1,717	38
人口10万人対	13.5	14.9

	京都府現状値
拠点病院等における がん薬物療法認定薬剤師の配置	11/21病院 (平成24年度)
拠点病院等における がん化学療法認定看護師の配置	13/21病院 (平成24年度)

②緩和ケアの状況

○がん患者やその家族が質の高い療養生活を送るためには、終末期における疼痛の緩和だけでなく、身体症状の緩和や精神心理的な問題への援助など、がんと診断されたときから、治療と並行して行われることが求められます。

【表9】緩和ケア関連施設数

		全国	京都府
緩和ケアチームのある医療機関数	緩和ケアチームを有する施設数	861	30
	人口100万人対	6.8	11.8
	緩和ケア診療加算の届出施設数	160	6
	人口100万人対	1.3	2.4
緩和ケア病棟を有する病院数・病床数	緩和ケア病棟を有する施設数	279	6
	人口100万人対	2.2	2.4
	緩和ケア病棟の病床数	5,122	142
	人口10万人対	4.0	5.6
医療用麻薬の処方を行っている医療機関数	一般診療所数	8,060	159
	人口10万人対	6.3	6.2
	病院数	5,475	117
	人口10万人対	4.3	4.6
末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	在宅末期医療総合診療料届け出施設数	11,372	273
	人口10万人対	9.0	10.7

【表10】緩和ケア医療実績数(平成23年9月)

		全国	京都府
緩和ケアの実施件数	緩和ケア病棟取扱患者延数	87,483	1,431
	人口10万人対	68.9	56.1
	病院における緩和ケアチームの患者数	23,374	325
	人口10万人対	18.4	12.7
医療用麻薬の消費量	モルヒネ・オキシコドン・フェンタニルの消費量のモルヒネ換算合計(g/千人)	41.424	38.201

- 緩和ケアを適切に提供していくためには、がんに携わる一般の医療従事者が緩和ケアの重要性を認識し、その知識や技術を習得する必要があります。
- 京都府では、全てのがん診療連携拠点病院、京都府がん診療連携病院が医師及び薬剤師、看護師等を対象に厚生労働省の指針に基づく緩和ケア研修会を実施しています。

【表11】 緩和ケア研修会 修了者数（京都府健康対策課調べ）

医療圏	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	合計
医師	202人	220人	222人	202人	846人
薬剤師・看護師等 その他の医療従事者	266人	-(※)	170人	174人	610人

※平成21年度の薬剤師・看護師等その他の医療従事者については未集計

- 緩和ケア病棟は、主として苦痛の緩和を必要とするがん患者等を入院させ、専門性の高い緩和ケアを提供するとともに、外来や在宅への円滑な移行も支援する病棟です。

【表12】 自宅で亡くなるがん患者の割合の推移（出典： 人口動態統計）

	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年
京都府	6.78	6.62	6.24	7.85	8.31	8.25	9.52
全国	5.80	5.68	6.21	6.72	7.27	7.39	7.78

③診療連携の状況

○がん診療に係る連携を強化する取組の一環として、拠点病院等で手術を終えて地域で経過観察を行う患者に切れ目なく質の高い医療を提供するため、府内統一の地域連携クリティカルパスが作成され、約670の医療機関が参加し運用を開始しました。

【表13】 府内統一地域連携クリティカルパスの参加医療機関（平成24年12月現在）

（出典： 京都府健康対策課調べ）

計画策定病院 (21)	がん診療連携拠点病院（9） 京都府がん診療連携病院（5） 京都府がん診療推進病院（7）
連携医療機関 (664)	胃がん届出医療機関（644）
	肺がん届出医療機関（568）
	大腸がん届出医療機関（639）
	乳がん届出医療機関（447）
	肝がん届出医療機関（605）
地域連携クリティカルパスの適用件数	199件/8ヶ月（平成24年）

④その他のがん医療の状況

○近年、医療の高度化や複雑化とニーズの多様化に伴い、専門医等の不足が指摘されています。こうした医師等への負担を軽減し、より質の高い医療を提供するため、がん領域でのリハビリテーションの実施など、多職種で医療にあたるチーム医療が求められるようになっていきます。

○また、患者が納得して治療を受けるためには、病状や治療内容、それに伴う副作用・合併症などについて説明を受け、十分に理解した上で治療方針を選択するための「インフォームド・コンセント」が重要となります。

【表14】 がんリハビリテーション、がん患者カウンセリング料の実施状況

		全国	京都府
がんリハビリテーションを実施する医療機関数	がん患者リハビリテーション料の届出施設数	329	10
	人口100万人対	2.6	3.9
がんリハビリテーションの実施件数	がん患者リハビリテーション料の算定件数	4480	77
	人口100万人対	3.5	3.0
がん患者に対してカウンセリングを実施している医療機関数	がん患者カウンセリング料の届出施設数	756	17
	人口100万人対	6.0	6.7

(7) がんに関する相談・患者支援の状況

- がんに関する情報は、がんと診断され治療を受ける中で、がん患者やその御家族が、がんを正しく理解し、不安を解消するのに役立ちます。
- 拠点病院等においては、患者や家族のがんに対する不安や疑問に適切に対応するための相談窓口として相談支援センターを設置し、社会福祉士や看護師などの専門職が相談に応じるとともに、セカンドオピニオンを実施しています。

< 相談支援センターの業務 >

- がんの病態，標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供
- 診療機能，入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など，地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集，提供
- セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- がん患者の療養上の相談
- 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集，提供
- アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
- HTLV-1 関連疾患であるATL に関する医療相談
- その他相談支援に関すること

※相談支援センターでは、患者や家族からのがんの治療や療養生活全般の質問や相談に対応し、さまざまな情報提供を行っています。相談は無料で、病院で診療を受けていない方でも利用できます。

目標項目	現状値
相談支援センターの相談件数 (京都府健康対策課調べ)	1,240件/月 (平成23年度)

(8) がん登録

○がん登録とは、がんの発生状況・治療の実態等を把握し、がん対策の策定・評価に役立てるために、がん患者の診断・治療等に関する情報を収集・分析する仕組みのことです。

＜がん登録で把握できる主な指標＞	
○罹患数	・・・がんにかかった人の数
	・どのような年代ががんに係りやすいか
	・がんに係る人は増えているのか、減っているのか
○進行度	・・・がんが見つかったときの進み具合
	・早期に見つかるのと、進行して見つかるのでは、治療後の生存率が違う。
	・がん検診が効果的に実施されているのかの手がかり
○生存率	・・・直りやすさの目安
	・例えば「5年生存率」は、がんと診断され、5年経過した時点で生存している人の割合。
	・治療方針を決める上で重要な情報の一つ

○がん登録は、医療機関が行う院内がん登録、自治体が行う地域がん登録、学会や研究会等が行う臓器がん登録があり、京都府でも、拠点病院等を中心に院内がん登録、京都府及び京都府医師会により地域がん登録が行われています。

○地域がん登録は、医療機関から提出された届出票等を集計・分析しており、登録率を高め、正確なデータを得るためには、医療機関の協力が不可欠です。平成22年（2010年）から、地域がん登録への届出は診療報酬上も評価され、登録精度は近年向上しています。

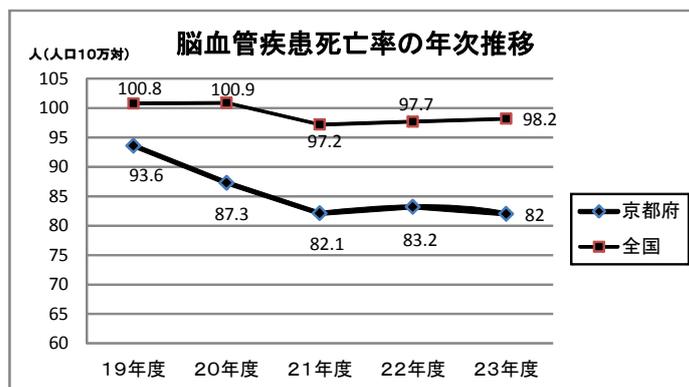
【表13】 京都府のがん登録の現状

	死亡数	罹患数	D C O 割合	I / D 比
平成15年	6,480	8,863	46.8	1.37
平成16年	6,770	9,640	44.4	1.45
平成17年	6,708	10,371	40.6	1.55
平成18年	6,997	10,677	38.7	1.53
平成19年	6,866	13,972	26.7	2.03
平成20年	7,176	14,672	23.4	2.04

2 脳卒中

(1) 脳血管疾患による死亡者数・死亡率

- ◇ 脳血管疾患（脳卒中（くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞）、その他の脳血管疾患を含む）は死亡原因の第3位であり、全死亡数の8.6%を占めています。
- ◇ 人口10万対死亡率は、平成19年度以降、低下傾向にあります。



- ◇ 京都府の人口10万対死亡率は、男女とも全国平均を下回っています。

		総数	男	女
京都府	死亡者数	2,125	963	1,162
	人口10万対死亡率	92.3	84.0	97.4
全国	死亡者数	123,867	59,616	64,251
	人口10万対死亡率	98.2	97.0	99.3

資料:平成23年人口動態統計

(2) 罹患の状況

- ◇ 平成23年の京都府内の脳血管疾患推計患者数は、2万4千人です。
- ◇ 人口10万対の平均在院日数は、全国より長い状況にあります。

	総患者数(人)	退院患者平均在院日数(日)
京都府	24,000	108.9
全国	1,235,000	97.4

資料:平成23年患者調査

- ◇ 人口千人当たりの推計総患者数は、増減を繰り返しています。

人口千人当たりの推計総患者数

	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年
京都府	9.5	10.3	6.8	9.1
全国	10.8	10.8	10.5	9.7

資料:平成23年患者調査

(3) 診療体制

① 脳神経外科、神経内科を標榜する医療機関数

二次医療圏	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
脳神経外科	3	13	4	55	15	2	92
神経内科	5	11	6	136	17	4	179

資料：平成20年医療施設静態調査、平成22年医療施設動態調査

② 専門医数

	循環器専門医 (日本循環器学会)	救急科専門医 (日本救急医学会)
京都府	331	64
全国	10,354	2,581

資料：学会公表値(平成19年4月1日現在)

③ 血栓溶解療法を24時間実施する医療機関数(二次医療圏別)

二次医療圏	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
機関数	1	1	1	13	5	1	22

資料：京都健康医療よろずネット調べ

(4) リハビリテーション体制

① リハビリテーション科を標榜する医療機関数

二次医療圏	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
リハビリテーション科	10	41	13	292	50	16	422

資料：平成20年医療施設調査

② 回復期リハビリテーション病棟のある医療施設

圏域	病院名	リハ施設基準			病床数
		脳血管	運動器	呼吸器	
丹後	丹後中央病院	○	○	○	50
中丹	市立福知山市民病院	○	○	○	44
山城北	第二岡本総合病院	○	○		46
	六地藏総合病院	○	○		40
	京都きづ川病院	○	○		50
	田辺記念病院	○	○		38
市内	京都大原記念病院	○	○		172
	京都民医連第二中央病院	○	○	○	51
	洛陽病院	○	○	○	39
	脳神経リハビリ北大路病院	○	○		36
	京都民医連中央病院	○	○	○	42
	京都武田病院	○	○		60
	十条リハビリテーション病院	○	○	○	99
	洛和会音羽病院	○	○	○	50
	京都博愛会病院	○	○	○	30
	久野病院	○	○	○	42
	蘇生会総合病院	○	○	○	54

資料: 京都府リハビリテーション支援センター調べ(平成24年3月現在)

③ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の状況

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	従事者数	10万人対	従事者数	10万人対	従事者数	10万人対
京都府	1,060	40.2	599	22.7	165	6.3
全国	47,541	37.1	30,795	24.0	9,663	7.5

資料: 平成22年病院報告

(注) 数値は常勤換算

④ リハビリテーション専門医

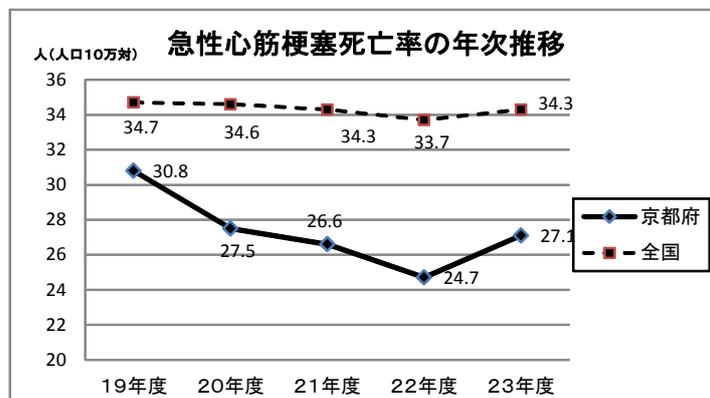
	日本リハビリテーション学会認定専門医
京都府	61人
全国	1,853人

資料: 学会公表値(平成24年3月)

3 急性心筋梗塞

(1) 急性心筋梗塞による死亡者数・死亡率

◇ 急性心筋梗塞による人口10万対死亡率は、年々緩やかに低下していましたが近年は微増傾向にあります。



◇ 人口10万対死亡率は、女とも全国を下回っています。

		総数	男	女
京都府	死亡者数	701	367	334
	人口10万対死亡率	27.1	29.5	24.8
全国	死亡者数	43,265	23,966	19,299
	人口10万対死亡率	34.8	39.0	29.8

(出典:平成23年人口動態統計)

(2) 罹患の状況

◇ 平成23年の京都府内の急性心筋梗塞推計総患者数は、3万4千人です。

	総患者数(人)	退院患者平均在院日数(日)
京都府	34,000	16.0
全国	1,612,000	21.6

資料:平成23年患者調査

◇ 心疾患(※)の平均在院日数は全国よりも短くなっています。

※急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患、慢性リウマチ性心疾患、慢性非リウマチ性心内膜疾患、心筋症、不整脈・伝導障害、心不全、その他の心疾患)

◇ 人口千人当たりの推計総患者数は、全国より多い状況となっています。

人口千人当たりの推計総患者数

	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年
京都府	15.6	14.1	14.8	12.9
全国	13.2	13.2	12.1	12.6

資料:平成23年患者調査

(3) 診療体制

① 循環器科、心臓血管外科を標榜する医療機関数

二次医療圏	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
循環器内科	6	21	8	160	23	6	224
心臓血管外科	0	5	1	17	2	0	25

資料:平成20年医療施設静態調査、平成22年医療施設動態調査

② 専門医数

	循環器専門医 (日本循環器学会)	心臓血管外科専門医 (心臓血管専門医認定機構)	救急科専門医 (日本救急医学会)
京都府	851	49	115
全国	12,472	1,816	3,613

資料:学会公表値(平成24年)

(4) リハビリテーション体制

① リハビリテーション科を標榜する医療機関数

二次医療圏	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	京都府計
リハビリテーション科	10	41	13	292	50	16	422

資料:平成20年医療施設調査

② 回復期リハビリテーション病棟のある医療施設

圏域	病院名	リハ施設基準			病床数
		脳血管	運動器	呼吸器	
丹後	丹後中央病院	○	○	○	50
中丹	市立福知山市民病院	○	○	○	44
山城北	第二岡本総合病院	○	○		46
	六地藏総合病院	○	○		40
	京都きづ川病院	○	○		50
	田辺記念病院	○	○		38
市内	京都大原記念病院	○	○		172
	京都民医連第二中央病院	○	○	○	51
	洛陽病院	○	○	○	39
	脳神経リハビリ北大路病院	○	○		36
	京都民医連中央病院	○	○	○	42
	京都武田病院	○	○		60
	十条リハビリテーション病院	○	○	○	99
	洛和会音羽病院	○	○	○	50
	京都博愛会病院	○	○	○	30
	久野病院	○	○	○	42
	蘇生会総合病院	○	○	○	54

資料: 京都府リハビリテーション支援センター調べ(平成24年3月現在)

③ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の状況

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	従事者数	10万人対	従事者数	10万人対	従事者数	10万人対
京都府	1,060	40.2	599	22.7	165	6.3
全国	47,541	37.1	30,795	24.0	9,663	7.5

資料: 平成22年病院報告

(注) 数値は常勤換算

④ リハビリテーション専門医

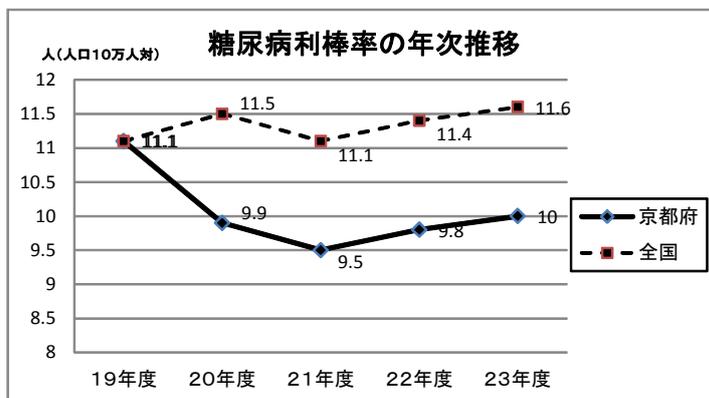
	日本リハビリテーション学会認定専門医
京都府	61人
全国	1,853人

資料: 学会公表値(平成24年3月)

4 糖尿病

(1) 糖尿病による死亡者数・死亡率

- ◇ 糖尿病による死亡数は、全死亡数の1.1%を占めています。死亡率は全国より低く推移していましたが、平成19年度以降全国値をした回る状況が続いています。



- ◇ 人口10万対死亡率を全国と比較した場合、男性は全国平均より低く、女性は全国と同率となっています。

		総数	男	女
京都府	死亡者数	260	128	132
	人口10万対死亡率	10.0	10.3	9.8
全国	死亡者数	14,664	7,738	6,926
	人口10万対死亡率	11.6	12.6	10.7

資料:平成23年人口動態統計

(2) 罹患の状況

- ◇ 平成23年の京都府内の糖尿病推計患者数は、5万4千人です。
- ◇ 平均在院日数は、全国より大幅に短い状況にあります。

	総患者数(人)	退院患者平均在院日数(日)
京都府	54,000	28.3
全国	2,700,000	35.1

資料:平成23年患者調査

- ◇ 人工透析患者数は年々増加しており、平成19年度から平成23年度にかけて15%以上増加しています。

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
京都府	5,224	5,789	5,846	5,913	6,023
全国	275,119	282,622	290,675	297,126	304,592

資料：日本透析医会調べ

(3) 診療体制

① 人工透析装置を有する医療機関・透析装置数

二次医療圏	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
機関数	4	6	3	43	9	3
装置数	69	125	84	1474	254	71

資料：京都府健康福祉部医療課調べ(平成23年度)

② 専門医数

	糖尿病専門医 (日本糖尿病学会)	透析専門医 (日本透析医学会)
京都府	170	132
全国	4,743	4,823

資料：学会公表値(平成24年)

5 精神疾患

I. 精神疾患

(1) 罹患の状況

- ◇ 平成20年の京都府内の精神疾患推計患者数は、11万2千人です。
- ◇ 人口10万対の受療率は、入院では全国平均より低いですが、外来では全国平均より高くなっています。精神病床の平均在院日数は全国平均よりも長くなっています。

		患者数(人)		受療率[精神及び行動障害] (人口10万対)	精神病床 平均在院日数(日)
京都府	入院	112,000	8,900	214	323.1
	外来		103,100	215	
全国	入院	3,233,000	333,000	236	298.1
	外来		2,900,000	182	

資料:平成20年患者調査、平成23年病院報告

- ◇ 精神疾患患者の疾患別の内訳については、入院では統合失調症と認知症で半数以上を占める一方で、外来ではうつ病等の気分障害が多くなっています。

<精神疾患入院患者の疾患別内訳(人)>

	総数	統合失調症	アルツハイマー型 認知症	血管性及び詳細 不明の認知症	その他
京都府	8,900 (100.0%)	3,000 (33.7%)	1,200 (13.5%)	1,400 (15.7%)	3,300 (37.1%)
全国	333,000 (100.0%)	185,300 (55.6%)	22,700 (6.8%)	28,800 (8.7%)	96,200 (28.9%)

資料:平成20年患者調査

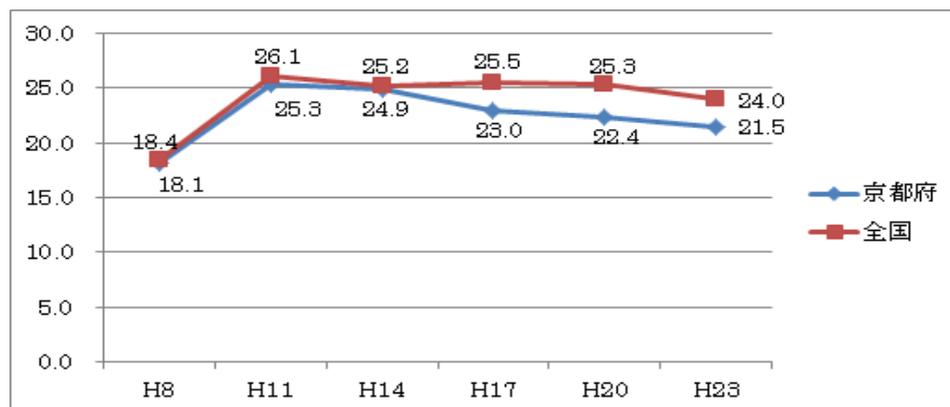
<精神疾患外来患者の疾患別内訳(人)>

	総数	気分障害	統合失調症	神経症性障害	その他
京都府	103,100 (100.0%)	30,500 (29.6%)	15,000 (14.6%)	21,900 (21.2%)	35,700 (34.6%)
全国	2,900,000 (100.0%)	1,012,300 (34.9%)	607,600 (21.0%)	584,100 (20.1%)	696,000 (24.0%)

資料:平成20年患者調査

- ◇ 京都府における自殺死亡率(人口10万対自殺者数)は、平成23年には21.5であり、平成11年以来最も低い水準となっています。

<人口10万人対自殺者数(警察庁統計)>



(2) 診療体制

① 精神科を標榜する医療機関数（施設）

	北部地域			南部地域			京都府計
	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	
病院	2	6	2	33	7	0	50
診療所	1	6	7	121	12	3	150

資料：病院は平成22年病院医療施設動態調査、診療所は平成20年医療施設静態調査

② 精神保健指定医数

	精神保健指定医数(人)
京都府	358
全国	14,005

資料：平成24年3月30日現在厚生労働省調べ

③ 精神科救急医療体制

	精神科救急基幹病院 (常時対応施設)	輪番施設
北部地域	舞鶴医療センター	東舞鶴医誠会病院、もみじヶ丘病院
南部地域	洛南病院	いわくら病院、宇治おうばく病院、川越病院、北山病院、京都大学医学部附属病院、京都博愛会病院、京都府立医科大学附属病院、醍醐病院、第二北山病院、長岡病院、西山病院

④ 精神保健体制

	精神保健福祉センター		保健所	
京都府	京都府精神保健福祉総合センター	地域における精神保健福祉の中核機関として、企画立案、技術指導及び技術援助、教育研修、普及啓発、調査研究、資料の収集、分析及び提供、精神保健福祉相談、組織の育成、精神医療審査会の審査に関する事務、自立支援医療(精神通院医療)及び精神障害者保健福祉手帳の判定等を実施	7所(1分室)	精神保健福祉相談員、保健師等が精神保健福祉相談(面接、電話)、精神医学的指導、訪問指導、危機介入、地域づくり等を実施
京都市	京都市こころの健康増進センター		11所(3支所 1出張所)	

II. 認知症

(1) 認知症キャラバンメイトと認知症サポーター数

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守るための役割を担う「認知症サポーター」や、認知症サポーター養成講座で講師となる「認知症キャラバンメイト」の養成を行っています。

【キャラバンメイトと認知症サポーター数の推移】

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
キャラバンメイト	138	509	1,293	1,810	2,445	2,726	3,035	3,542
サポーター	-	6,388	15,093	26,225	42,938	57,009	74,676	86,653

資料：京都府高齢者支援課調べ（平成24年12月現在）

(2) 認知症疾患医療センターの指定状況

病 院 名	類 型	
独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	基幹型	認知症の専門医療相談及び認知症医療に関する地域連携の中核となり、身体合併症など救急・急性期医療に対応できる医療機関
京都府立医科大学附属病院		
一般財団法人療道協会 西山病院	地域型	認知症の専門医療相談及び認知症医療に関する地域連携の中核となる医療機関
京都府立洛南病院		
医療法人栄仁会 宇治おうばく病院		

(3) 京都高齢者あんしんサポート企業の登録状況

薬局や銀行、スーパー等の民間事業者を「京都高齢者あんしんサポート企業」として登録し、買い物等で訪れる高齢者への声かけや買い物支援、必要に応じて相談窓口を紹介するなどの取組を行っています。

【京都高齢者あんしんサポート企業登録数】

	23年度	24年度	計
事業所数	341	419	760
サポーター数	660	3,434	4,094

資料：京都府高齢者支援課調べ（平成24年12月現在）

(4) かかりつけ医認知症対応力向上研修、認知症サポート医

「かかりつけ医」に、認知症診療の知識・技術、本人やその家族を支える知識と方法を習得する研修の実施や、かかりつけ医の相談役・アドバイザーとなる「認知症サポート医」の養成を行っています。

●かかりつけ医認知症対応力向上

研修修了者数 (人)

18年度	89
19年度	254
20年度	268
21年度	110
22年度	80
23年度	79
計	880

●認知症サポート医養成状況

(人)

18年度	5
19年度	5
20年度	7
21年度	4
22年度	3
23年度	4
計	28

資料：京都府高齢者支援課調べ